

ANNUAL REPORT

2019

THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART

新潟県立近代美術館

新潟県立万代島美術館

The Niigata **Bandaijima** Art Museum

年報



目次

平成31(令和元)年度の流れ	近代美術館	3
	万代島美術館	4
事業報告		
展覧会	近代美術館	常設展
		第1期 新潟の美術 小特集横山操
		第2期 平成29・30年度の新収蔵品
		夜景
		彫刻 ～素材の魅力～
		第3期 バード・サンクチュアリー鳥たちの造形
		静謐ー蕪木研爾の世界
		企画展 PIXARのひみつ展 いのちを生みだすサイエンス
		1964年 東京ー新潟
		共催展 第21回亀倉雄策賞受賞記念 色部義昭展/JAGDA新人賞展2019
		第47回芸展秀作展
		第22回新潟県立美術館 友の会作品展
		第50回新潟県ジュニア美術展覧会長岡展
		2019年度 こどもものづくり大賞作品展覧会
	万代島美術館	所蔵品展 コレナニ!?びじゅつ ～アートいろいろ 見かたイロイロ～
		企画展 ニューヨークが生んだ伝説 写真家 ソール・ライター展
		MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展
		乙女のデザイン 大正イマジユリィの世界
		タータン展 伝統と革新のデザイン
		THE ドラえもん展 NIIGATA 2020
教育普及	近代美術館	イベント
		再開館関連事業
		館外活動・地域との連携
		刊行物・鑑賞資料
		作品解説会
		団体の受入れ
		学校教育との連携
		観覧料免除
		博物館実習
	万代島美術館	イベント
		刊行物
		作品解説会
		団体の受入れ
		学校教育との連携
		観覧料免除
		サポートメンバー
		博物館実習
調査・研究	近代美術館	75
	万代島美術館	77
収集・保存	作品の収集	平成31・令和元年度収集作品
	作品の保存	美術品の修復
		美術品の燻蒸
	作品の貸出	美術品の貸出
管理・運営	開館及び入館状況	近代美術館
		万代島美術館
	施設の貸出	近代美術館
	アンケート集計	近代美術館
		万代島美術館
	組織及び業務	
	職員	
施設	近代美術館	98
	万代島美術館	100
審議会等	美術館協議会	102
	美術品収集委員会	105
	新潟県立美術館友の会	106
沿革		107

平成31(令和元)年度の流れ (新潟県立近代美術館)

2018年 7月	2日(月)	改修工事のため休館	
	3日(土)		長岡まつりわんぱくおまつり広場
2019年 8月	13日(金)	開館セレモニー	
	14日(土)	リニューアル・オープン コレクション展第1期開会 アートリンク主催リニューアル・オープン記念トークセッション	
	21日(土)	映画鑑賞会「天心」	
	28日(土)	美術鑑賞講座「新潟の地域と美術」	
	5日(土)	ワークショップ「野外彫刻探検ツアー〈一般向け〉」	
10月	11日(金)	企画展「PIXARのひみつ展」開場式	
	12日(土)	「PIXARのひみつ展」開会	
	13日(日)	台風19号通過の影響により午後から臨時休館	
	19日(土)	ワークショップ「野外彫刻探検ツアー〈親子向け〉」	
	22日(火)	即位礼正殿の儀に伴う慶祝事業(コレクション展観覧料無料)	
	26日(土)	共催展「第21回亀倉雄策賞受賞記念 色部義昭展/JAGDA新人賞展2019」開会 亀倉雄策賞受賞記念展関連イベント「開催記念講演会」	
	1日(金)	PIXAR展関連イベント「東京フィルコミュニティコンサート 弦楽八重奏」	
11月	4日(月)	共催展「第21回亀倉雄策賞受賞記念 色部義昭展/JAGDA新人賞展2019」閉会	
	24日(日)	企画展「PIXARのひみつ展」閉会	
	30日(土)	美術鑑賞講座「大光コレクションの岸田劉生」	
	7日(土)	美術鑑賞講座「ナビ派に親しむ」	
12月	8日(日)	コレクション展第1期閉会	
	12日(木)	コレクション展第2期開会	
	14日(土)	映画鑑賞会「グレン・ミラー物語」	
	21日(土)	ワークショップ「大理石(?)を磨く！」	
	29日(日)	年末年始の休館	
	3日(金)		
2020年 1月	4日(土)	共催展「第47回芸展 秀作展」開会	
	8日(水)	共催展「新潟県ジュニア美術展覧会」開会	
	11日(土)	映画鑑賞会「いわさきちひろ～27歳の旅立ち～」	
	12日(日)	共催展「第47回芸展 秀作展」閉会	
	16日(木)	共催展「新潟県ジュニア美術展覧会」閉会	
	18日(土)	美術鑑賞講座「彫刻台座 奥深き世界」	
	25日(土)	企画展「1964年 東京—新潟」開会	
	26日(日)	1964年展関連イベント「ギャラリートーク」	
	2月	1日(土)	美術鑑賞講座「1964年—現代美術の背景」
		9日(日)	1964年展関連イベント「ギャラリートーク」
15日(土)		美術鑑賞講座「長岡現代美術館賞と同時代美術」	
22日(土)		映画鑑賞会「シャレード」	
23日(日)		1964年展関連イベント「ギャラリートーク」	
27日(木)		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月15日までのイベント中止を告知	
29日(土)		3月2日～16日までの臨時休館を告知	
3月	2日(月)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館	
	13日(金)	3月31日までの臨時休館延長を告知	
	22日(日)	企画展「1964年 東京—新潟」閉会 コレクション展第2期閉会	
	27日(金)	4月1日からの再開館を告知	
	31日(火)		

平成31(令和元)年度の流れ (新潟県立万代島美術館)

4月	14日(日) ソール・ライター展関連イベント 学芸員によるギャラリートーク
5月	9日(木) 企画展「写真家ソール・ライター展」閉会
	10日(金)～24日(金) 展示替えの休館
	25日(土) 所蔵品展「コレナニ!?びじゅつ」開会
	26日(日) コレナニ!?びじゅつ関連イベント レクチャー&ギャラリートーク「見かたイロイロ 感想共有ノス、メ」
6月	1日(土) コレナニ!?びじゅつ関連イベント ワークショップ「カラダで描こう—星野真吾の〈人拓〉体験」
	16日(日) コレナニ!?びじゅつ関連イベント ギャラリートーク「美術でおしゃべり in BANBI」
	30日(日) コレナニ!?びじゅつ関連イベント ギャラリートーク「美術でおしゃべり in BANBI」 所蔵品展「コレナニ!?びじゅつ」閉会
7月	1日(月)～12日(金) 展示替えの休館
	12日(金) 企画展「人気絵本のひみつ展」開場式
	13日(土) 企画展「人気絵本のひみつ展」開会
	20日(土) 人気絵本のひみつ展関連イベント 島田ゆかサイン会
	28日(日) 人気絵本のひみつ展関連イベント 絵本の読み聞かせ
	31日(水) 人気絵本のひみつ展関連イベント 絵本の読み聞かせ
8月	25日(日) 人気絵本のひみつ展関連イベント なかやみわ トーク&サイン会
9月	15日(日) 人気絵本のひみつ展関連イベント 絵本の読み聞かせ
	23日(月・祝) 企画展「人気絵本のひみつ展」閉会
	24日(火)
10月	展示替えの休館
	4日(金)
	4日(金) 企画展「乙女のデザイン 大正イマジユリィの世界」開場式
	5日(土) 企画展「乙女のデザイン 大正イマジユリィの世界」開会 乙女のデザイン関連イベント ギャラリートーク
	22日(火・祝) 乙女のデザイン関連イベント 講演会/絵はがき鑑定会『新潟日報』連載「押し入れの中の文化財」あれこれ—絵はがきの楽しみ—
	26日(土) 乙女のデザイン関連イベント にいがたもようワークショップ
11月	10日(日) 乙女のデザイン関連イベント 乙女のためのギャラリートーク—キモノ・洋装で楽しくおしゃれに美術鑑賞—
	24日(日) 企画展「乙女のデザイン 大正イマジユリィの世界」閉会
	25日(金)
12月	展示替えの休館
	13日(金)
	13日(金) 企画展「タータン展」開場式
	14日(土) 企画展「タータン展」開会
	15日(日) タータン展関連イベント ワークショップ「パーソナルカラーで自分に似合うタータンを知ろう！」
	22日(日) タータン展関連イベント ワークショップ「タータン風ブローチを作ろう！」
	28日(土)
1月	展示替えの休館
	3日(金)
	5日(日) タータン展関連イベント ワークショップ「タータン風ブローチを作ろう！」
	19日(日) タータン展関連イベント ワークショップ「パーソナルカラーで自分に似合うタータンを知ろう！」
2月	16日(日) タータン展関連イベント ワークショップ「パーソナルカラーで自分に似合うタータンを知ろう！」
3月	1日(日) 企画展「タータン展」閉会
	2日(月)～19日(木) 展示替えの休館
	20日(金・祝)～31日(火) 企画展「THEドラえもん展 NIIGATA 2020」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

事業報告



常設展(コレクション展)

【趣旨】

当館の所蔵品による展示。

本年度は9月13日まで改修工事で休館しており、9月14日にコレクション展でリニューアル・オープンした。

第1期は、国民文化祭関連展示と当館の名品により代表的な所蔵品を展示。第2期は、3つの展示室にそれぞれテーマを設けて所蔵品を幅広く紹介した。

一方、3月2日より新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館し、第3期は開催中止となった。



【観覧料】

一般……………430円(340円)

大学・高校生……………200円(160円)

中学生以下無料

※ () 内は有料20名以上の団体料金

※同時期の企画展観覧券で観覧可

第1期 2019年9月14日(土)～12月8日(日)(74日間)

前期：9月14日(土)～10月27日(日)

後期：10月29日(火)～12月8日(日)

展示室1・2 新潟の美術 小特集 横山操

展示室3 近代美術館の名品

新潟の美術 小特集 横山操

【趣旨】

改修工事明け第1弾のコレクション展であるが、ちょうど本年度に新潟県で開催された「国民文化祭」と実施時期が合っていたため、本県出身の作家による展覧会が企画された。多くいる作家の中から物故作家だけを選び、出身地を明記して展示紹介した。また、当県吉田町出身の横山操が翌年生誕100周年を迎えることに配慮し、横山操の大型作品を中心に、5点ではあるがまとめて展示した。

【総括】

●評価すべき点

- ・新潟県出身作家をまとめて紹介する機会はしばらく無かったようで、普段展示することが少ない作品も展示できたことで、多くの地元からの来館者に喜んでいただくことができた。
- ・横山操のファンも多く、また生誕100年が近いこともあり方々から注目を集め、大型作品をまとめて展示することには意義があった。

●検討課題

- ・工事後の再開館にあたって数々の制約があり、地元の美術をより深く秩序立てて紹介することができなかった。

【関連記事】

●新聞

新潟日報 (9/13、9/14)

長岡新聞 (8/29、9/28)

NIC長岡通信 そいがあて (9/15)

●テレビ

新潟県政ナビ (9/15)

●ウェブサイト

な・ナガオカ (11/23)

担当 宮下東子



【出品リスト】

展示室1・2 新潟の美術 小特集 横山操

展示室 1		
作家名	作品名	制作年
伊藤 豊	杵	1971
原 直樹	鑄銅壺銘花苑	1965
市橋 敏夫	白銅置物・筋生	1977
鈴木学紡庵	越後上布 鼠地松竹梅山水風景経入絵羽掛文様着物	1976
佐々木恒春	鉄地桜破扇透金象嵌鐺	1981
小川 英鳳	銀製・波・花瓶	1969
内田 宗寛	黒塗大環	1974
内田 宗寛	黒塗中環	1982
岩淵 芳華	理科室	1940
柴田 武次	鍛鉄銀象嵌波瀾文香炉	昭和10年代
橋本 龍美	風之唄	1981
三浦 文治	佐渡のイカ干し	1938
白倉 嘉入	比叡山	1962
岩田 正巳	婦人抱琴図	不明
広川 操一	習志野の朝	1939
横尾深林人	伊豆の山にて	1955
小林 大幾	伊豆の七瀬	1976
村山 径	風紋	1960
中島 萬木	待春	1967
長谷部権次呂	女子警防団	1943
小島 丹濛	河口暮色	1956
長井 亮之	見学	1969
番場 春雄	残雪の椿園	1972
佐々木象堂	蠟型鑄銅獣装耳小花入	1959
三浦小平二	青磁飾り壺「シルクロード」	2003
【前期】		
土田 麦穂	山茶花	1933
小林 古径	雨	1917
【後期】		
土田 麦穂	春宵舞妓図	1923
小林 古径	飛鶴	1930

展示室 2		
作家名	作品名	制作年
横山 操	雪峡	1963
横山 操	港	1958
横山 操	炎炎桜島	1956
横山 操	十勝岳	1962
横山 操	親不知夜雨	1970
武石弘三郎	母	1917
小山正太郎	仙台の桜	1881
田中 本吉	仙台の桜摸写	1894*
高村 真夫	倦怠	1921
安宅安五郎	群蝶	1926
峰村リツ子	Y氏像	1929
相馬 其一	フランス郊外	1931
山脇 敏男	蕊	1970
牧野 虎雄	秋近き浜	1934
清水敦次郎	若草山	1943
富樫 寅平	農家	1943
矢部 友衛	わらを打つ	1951
佐藤 哲三	残雪	1952
千原 三郎	卓上風景	1957
末松 正樹	ボン・ポワイヤージュ	1962
宮 芳平	ユダの椅子	1966-70
小野 末	闘牛(猛進)	c1977
阪本 文男	カッコの入っている静物	1973
上野 省策	いずこえ	1975
富岡惣一郎	北アルプス信濃川源流	1976
三芳 佛吉	廃船の中で	1976
横尾 茂	春、肌さむき頃	1977
笹岡 了一	ウィリアム物語	1978
倉石 隆	イヴ	1982
小林 哲夫	サンサーラ	1985
渡辺 徹	水の精	1976
千野 茂	裸婦	1957
羽下 修三	鮭遊上	1953
島田 美晴	牙彫蓮置物	1942以前
岩野 勇三	にげ	1986

展示室3 近代美術館の名品

作家名	作品名	制作年
藤田 嗣治	私の夢	1947
M. ドニ	夕映えの中のマルト	1892
C-F. ドービニー	オワーズ河、イル・ド・ヴォーの夜明け	1869
C. コロー	ビプリ	1875
G. クールベ	エトルタ海岸、夕日	1869
C. モネ	コロンブの平原、霜	1873
山口 薫	林と動物	1958
脇田 和	あらそい	1955
梅原龍三郎	紫禁城	1942
児島善三郎	森と聚楽	1958
萬 鐘五郎	木の間風景	1918
佐伯 祐三	広告塔	1927
岸田 劉生	冬枯れの道路 原宿附近写生	1916
坂本繁二郎	牛	1915
イサム・ノグチ	女(リシ・ケシュにて)	1956
A.ロダン	考える人	1880
J-E.ミレイ	アリス・グレイの肖像	1859
【前期】		
藤田 嗣治	聖女	c1918*
【後期】		
藤田 嗣治	猫	1934
ロビー		
木村 忠太	桜樹のある村	1984
竹田 康宏	Under the leaves 98 AU "Let's stay right here"	1998
回廊		
竹田 康宏	Under the leaves	1994

*は寄託作品

第2期 2019年12月12日(木)～2020年3月22日(日) (予定83日間、実質65日間)

前期：12月12日(土)～2020年2月2日(日)

後期：2月4日(火)～3月22日(日)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月2日(月)より臨時休館

展示室1 平成29・30年度の新収蔵品

展示室2 夜景

展示室3 彫刻 ～素材の魅力～

平成29・30年度の新収蔵品

【趣旨】

平成28年度からの改修工事のため、一般に披露できなかった平成29、30年度の新収蔵品を展示し、美術館の収集活動を紹介する。

【総括】

- 評価すべき点
 - ・美術館の主要活動の一端を紹介することができた。
- 検討課題
 - ・既収蔵作品とともに今後の活用について、有効な活用法を考えた。

【関連行事】

- 新聞
 - 新潟日報 (1/18)

担当 松矢国憲

夜景

【趣旨】

陽光にあふれた明るい世界とは異なる趣を持ち、人々を惹きつけてきた夜景に焦点をあて、当館所蔵作品を展示。夜の静寂を感じさせる作品を「夜のしずけさ」、月夜の雅を題材にした作品や、月夜が見せる幻想・幻惑的な世界を扱った作品を「月の風情、夜の幻想」、街などに溢れる灯りが作り出す新たな夜の景観を描いた作品を「夜の街、夜のあかり」、夜明けの風景などをモチーフにした作品を「夜明け」、の4つのテーマで紹介した。

【総括】

- 評価すべき点
 - ・夜の景観を切り口に多様な作品を紹介することができた。
- 検討課題
 - ・展示スペースなどの問題で、紹介できない作品もあった。

担当 伊澤朋美

彫刻 ～素材の魅力～

【趣旨】

彫刻の素材に焦点をあて、所蔵品の中から石彫、木彫、金属、土等、素材の特長が感じられる彫刻作品を展示し、彫刻の魅力を別の視点で紹介した。

【総括】

- 評価すべき点
 - ・同じ作家で違う素材の作品を比較したり、各素材ごとに作品群をつくったりして、作品のフォルムや形態だけでなく、質感や量感、素材による表現の違いや魅力を感じられるような展示を心がけた。
 - ・制作に使用される加工前の石材や材木、使用される道具を紹介し、普段、馴染みのない彫刻に興味をもってもらう工夫をした。
 - ・作品キャプションや表示に素材の特長や魅力を紹介し、内容が伝わるようにした。
- 検討課題
 - ・3室はもとも狭い空間のため、量感のある彫刻及び展示ケースが並ぶと展示室内が窮屈に感じ、やや圧迫感があった。作品数をもっと絞ってもよかった。

担当 村山裕之

【出品リスト】

展示室1 平成29・30年度の新収蔵品

作家名	作品名	制作年
広川松五郎	蔬菜屏風	不明
広川松五郎	春秋軸	1932
広川松五郎	双篇	1941
広川松五郎	花	不明
武石弘三郎	今井藤七像	1926
良寛	和歌一首	江戸時代後期
佐藤哲三 他	『土塊』創刊号～第7号（7冊）	1928-29
江口 草玄	作品No.4	1955
江口 草玄	作品No.7	1955
中村 至男	個展の告知・出品ポスター	2016-17
渡邊 良重	洋菓子のパッケージデザイン「AUDREY」	2014-15
横山 操	網	1959
横山 操	潮来の夕	1960
横山 操	野の川	c1972
堀口 大學	詩集『堀口大學詩集』	1928
堀口 大學	自筆原稿「コクトオ口伝」	1936
堀口 大學	詩集『山麓の気』	1945
堀口 大學	詩集『あまい囁き』	1947
堀口 大學	堀口大學 隨筆集『詩と詩人』	1948
堀口 大學	詩集『夕の虹』限定版	1957
堀口 大學	詩集『ユモレスク』	1966
堀口 大學	詩集『富士山』	1979
堀口 大學	堀口久寛一著／堀口大學訳『長城詩抄』	1975
堀口 大學	アポリネール著／堀口大學訳『オノレ・シュブラック滅形』	1979
高村 真夫	倦怠	1921
【前期】		
江口 草玄	釋處默詩「聖果寺」	1951
江口 草玄	関	1967
江口 草玄	花のあわれ	1970
江口 草玄	喫茶去	2006
江口 草玄	怒を怨にす(る)ころ	2012
江口 草玄	人が人を殺す戦、戦はいや	2013
【後期】		
江口 草玄	坐睡	1993
江口 草玄	還愚	1996
江口 草玄	帰	1968
江口 草玄	てまりつく	1970
江口 草玄	露の世は露の世ながらさりながら	2009
江口 草玄	真っ赤だ真っ赤だななかまど てんでんと実をつける	2015
堅山 南風	鮮鯛	c1951

展示室2 夜景

作家名	作品名	制作年
〈夜のしずけさ〉		
柴田 長俊	やわらかき夜	1990
八田 哲	夜のカタドラル	1989
横山 操	流星	1960
大野 俊明	宵の星	1989
平松 礼二	ノルマンディの夢の季	1998
〈月の風情、夜の幻想〉		
白倉 嘉入	比叡山	1962
村山 径	薄暮	1974
広川 操一	阿佛尼	1940
宮田宏平(三代監堂)	終りのない物語 「月下独酌 唐・李白に捧ぐ」	1991
本間琢斎(三代)	端型鑄銅釣灯籠	1900
工藤 甲人	夜	1963
加山 又造	月と駱駝	1957
村山 径	月雲	1967
中野 嘉之	生命の讃歌-鹿(黒月)	2000
中野 嘉之	生命の讃歌-鹿(白月)	2000
栢森 義	夜の徘徊者と雪女	1977
〈夜の街、夜のあかり〉		
深澤 索一	新東京百景 柳ばし	1929
田中 道久	歓楽街	1963
鳥越 憂	雪の季節	1972
〈夜明け〉		
C-F. ドービニー	オワース川 イル・ド・ヴォーの夜明け	1869
三輪 晃久	曉霞	1984
西村 満	黎明	1991
新保兵次郎	雪の朝	不明
大矢十四彦	明けゆく	2001
山口 薫	夜明けの顔	1954

展示室3 彫刻 ～素材の魅力～

作家名	作品名	制作年
〈白のロダン、黒のロダン〉		
A.ロダン	考える人	1880
A.ロダン	疲れ	1887
〈石 彫〉		
武石弘三郎	裸婦浮彫	1939
明田川 孝	群像	1955
北村 四海	すみれ	1920
野上 公平	燦燦No.9	1996
〈鑄造(金属)〉		
渡邊 利雄	陽	1968
柳原 義達	風の中の鴉	1982※
柳原 義達	道標 鳩	1974*
A.ボモドーロ	予言	1983
イサム・ノグチ	女(リシ・ケシュにて)	1956
〈木 彫〉		
岩川 義雄	山羊	1951
羽下 修三	二千六百年を舞う	1940
〈象牙、土〉		
寒川 典美	くぐつ	1975
島田 美晴	牙彫置物蓮	1942以前

ロビー

猪熊弦一郎	犬とネクタイ	1991
竹田 康宏	Under the leaves 98 AU "Let's stay right here"	1998

回廊

竹田 康宏	Under the leaves	1994
-------	------------------	------

※は個人蔵
*は寄託作品

第3期 2020年3月26日(木)～3月31日(日)(5日間)

※3月2日から31日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館となり、開催を中止した。

展示室1 近代美術館の名品

展示室2 バード・サンクチュアリ ―鳥たちの造形―

展示室3 静謐 ― 蕪木研爾の世界

バード・サンクチュアリ ―鳥たちの造形―

【趣旨】

鳥というモチーフは、古今東西の人々に好まれ描かれてきた。野生の生態が描かれることもあり、飼い鳥が描かれることもあり、あるいは装飾的なパターンとして表現されることもある。鳥と他の陸生動物との大きな違いは、空を飛ぶことができ、境界を越える自由をもっていることであり、また美しい歌声をもつことから芸術を象徴する生きものでもあることだろう。彫刻家・柳原義達や日本画家・加山又造、グラフィックデザイナー・亀倉雄策など鳥に魅せられて優れた造形を残した作家は多い。今回の特集では、展示空間を鳥たちの聖域に見立てて、鳥を表した様々な分野の作品を紹介する。

担当 平石昌子

静謐―蕪木研爾の世界

【趣旨】

新潟県十日町市に生まれた蕪木研爾は、25歳の時に東京都中央区銀座に自身のフォトスタジオ、〈カブラギスタジオ〉を創設すると、ファッション写真の分野でめきめきと実力を発揮、わずか20年足らずの間に社員100名を超える、トップクラスのフォトスタジオの1つへと育てあげた。しかし、それは写真家ではなく経営者になることと同義語であり、57歳の時、代表取締役社長から引退を決意、再び写真家へと戻っていった。本展では静寂、かつ心の平和を意味する「静謐」をキーワードに、蕪木がいちアマチュアカメラマンに回帰し、極寒の大自然や池田満寿夫の陶芸を撮影した連作を、写真史を踏まえながら紹介する。また、蕪木20代の頃、カメラ雑誌に発表し注目されることになった掲載誌も併せて展示する。

担当 藤田裕彦

企画展



PIXARのひみつ展 いのちを生みだすサイエンス

【趣旨】

1995年に世界初の3Dコンピューター・グラフィック・アニメーション長編映画『トイ・ストーリー』を発表した映画会社ピクサー・アニメーション・スタジオ。本展はその映画作りを支える科学について学ぶ展覧会である。モデリングやリギング、レンダリングといった専門的な知識や技術を、『トイ・ストーリー』や『ファインディング・ニモ』などピクサーの人気キャラクターを使って体験する展覧会として企画された。2015年にボストンサイエンスミュージアムで開催されて以降、北米で8会場150万人を動員して注目を浴びる。日本では、東京について新潟が2番目の開催地となった。



【総括】

●評価すべき点

- ・家族連れを中心とする若い年齢層の来場者が多く見られた。ピクサー映画のアニメーションづくりの仕組みが誰にでも体験できるという教育的配慮が随所に工夫された内容であり、学校関係者や保護者から信頼を得た結果といえる。県内学校への広報・働きかけに力を入れたことも効果的だった。
- ・会場内ではイントロ映像以外のコンポーネントは撮影可能であり、「撮影可」「おしゃべり可」「触っても可」といった条件が、現代の来場者のニーズに合致し、幅広い層に受け入れられた。通常の美術展ではこうした運営は困難であるが、来場者心理に応えるという意味で示唆的なものがあった。
- ・メディアとの実行委員会形式で開催した展覧会として、広報面を特に重視した。通常の広報ツールに加えて、SNSの活用やオリジナルデザインによる団扇を夏場のイベントで配布するなど多様な展開を心がけた。

●検討課題

- ・本展は、本来は科学博物館等で開催する展覧会であり、学芸員が関われる要素は少なく、美術館が果たした役割は少なかった。しかし、遠近法や明暗法や人体デッサンなど芸術に重なる面も多く、受け入れ方（教育普及など）を工夫する余地もあったかも知れない。



【開催日・その他】

=2019年10月12日(土)~11月24日(日) (38日間)=

休館日：10月15日(火)、21日(月)、28日(月)、11月5日(火)、11日(月)、18日(月)

※台風19号の影響で信濃川の水位が氾濫危険水位を上回ったため、10月13日(日)11:57~17:00臨時休館

主 催：PIXARのひみつ展新潟実行委員会、新潟県立近代美術館、新潟日报社、BSN新潟放送

後 援：長岡市、長岡市教育委員会、新潟県小学校長会・中学校長会・特別支援学校長会、新潟県高等学校長協会、新潟県国公立幼稚園・こども園協会、(一社)新潟県私立幼稚園・認定こども園協会、新潟県保育連盟、新潟県私立保育園・認定こども園連盟、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FMながおか80.7

協 賛：株式会社 エヌ・シー・ティ、渡辺ドライ

開発制作：ポストンサイエンスミュージアム

企画制作：ドリームスタジオ

特別協力：ウォルト・ディズニー・ジャパン

観覧料：一般……………1,500円(1,300円)

大学・高校生……………1,300円(1,100円)

※中学生以下無料

※ () 内は有料20名以上の団体料金及び前売券料金

【関連行事】

・ミュージアムコンサート

「東京フィルコミュニティコンサート 弦楽八重奏」

11月1日(金) 15:00~16:00

第1ヴァイオリン (近藤 薫、坪井夏美)

第2ヴァイオリン (水鳥 路、榊原菜若)

ヴィオラ (高平 純、加藤大輔)

チェロ (服部 誠、黒川実咲)

〈プログラム〉

モーツァルト「ディヴェルティメントK.136より第1楽章」、J.S.バッハ「G線上のアリア」、メンデルスゾーン「弦楽八重奏曲より第1楽章」、映画「トイストーリー」より「君はともだち」、映画「リメンバー・ミー」より「リメンバー・ミー」、ホルスト「組曲「惑星」より木星」、ピアソラ「リベルタンゴ」

主 催：(公財)長岡市芸術文化振興財団

協 力：新潟県立近代美術館

参加者：200名



【関連記事】

●新聞

- 〈特集〉新潟日報「アニメ支えるCGを体験」(9/24)
- 〈特集〉新潟日報「アニメの舞台裏 楽しく」(10/5)
- 〈特集〉新潟日報「多彩キャラ不思議満載」(10/20)
- 〈連載〉新潟日報「のぞいてみよう PIXARのひみつ展」
(10/13、10/17、10/20、10/23、
10/24、10/25、10/27)

〈インタビュー〉

新潟日報「シニアマネジャー マレン・A・ジョーンズ氏
に聞く」(11/1)

〈ふむふむ〉

新潟日報「映画作り“裏側”探検」(9/24)

〈おとなプラス〉

新潟日報「楽しい製作の舞台裏」「読者のひろば」(11/7)

●その他

- 新潟日報 (4/22、6/26、7/11、8/28、9/28、10/12、
10/13、10/25、11/5、11/16)
- NICながおか通信「そいがあて」(8/15)
- 長岡新聞 (8/22、10/24)
- 十日町新聞 (9/26)
- 十日町タイムス (9/28)
- 妻有新聞 (10/5)

●雑誌

- 月刊いいがた 10月号
「ART FEATURED THIS MONTH」

●テレビ

- 10/12、11/10 (再放送) BSN
「チョコレートプラネットと行くPIXARのひみつ展」
- 10/19 BSN 「土曜ランチTV なじラテ。」

●ラジオ

- 10/11 BSN 「石塚かおりのゆうわく伝説」
- 11/6 BSN 「近藤丈靖の独占ごきげんアワー」
- 11/15 BSN 「マエカブナカシズカ」

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	26,525
	前売	15,169
無料観覧者数	招待	2,394
	無料	24,059
	免除	1,934
総観覧者数		70,081
有料率 (%)		59.49

担当 平石昌子



1964年 東京—新潟

【趣 旨】

「東京オリンピック」と「長岡現代美術館」を中心に、日本美術のひとつの転換期にあたるこの時代の美術の諸相を、当館と駒形十吉記念美術館の所蔵品を中心に展覧した。また、2020年春に取り壊しが決まっている長岡現代美術館（現・長岡商工会議所）の建物および移設される斎藤義重の壁面レリーフを記録として残し、ドキュメントとして併せて展示した。

【総 括】

●評価すべき点

- ・斎藤義重《大智浄光》を含む長岡商工会議所の建物を図録に掲載し、記録として残すことができた。
- ・新潟市美術館や長岡現代美術館時代の資料を借用し、また寄託の長岡現代美術館賞の作品を所蔵品とあわせて展示したことで、所蔵品の新たな側面を紹介する機会となった。
- ・寄託作品のまとまった展示や整理した亀倉資料の公開によって、収蔵作品や資料を有効活用できた。
- ・五泉ニット工業協同組合による亀倉雄策ポスターのニット作品の展示や、長岡市立中央図書館での関連図書コーナーの特設によって、美術に関心の無い人たちへの周知や事前学習の機会を提供できた。

●検討課題

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会期半ばで臨時休館、そのまま閉幕となったが、展示作品をHPに掲載するための著作権申請を事前に行っていれば、会場風景や動画などを即時にアップすることができたと思われる。今後はネットへの掲載申請を事前に行っておくことが重要であると考えられる。

【開催日・その他】

=2020年1月25日(土)～3月22日(日) (予定50日、実質32日)=
休館日：1月27日(月)、2月3日(月)、10日(月)、17日(月)、25日(火)、
3月2日(月)、9日(月)、16日(月)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月2日(月)より臨時休館

主 催：新潟県立近代美術館

後 援：長岡市、長岡市教育委員会、新潟日报社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、長岡新聞社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCT、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FMながおか80.7

協 力：新潟県立美術館友の会

観覧料：一般……………700円(600円)

大学・高校生……………500円(400円)

※ 中学生以下無料

※ () 内は有料20名以上の団体料金



【関連行事】

・美術鑑賞講座

「1964年－現代美術の背景」

2月1日(土) 14:00～15:30 当館講堂

講師：藤田裕彦（当館学芸課長）

参加者数：40名

「長岡現代美術館賞と同時代美術」

2月15日(土) 14:00～15:30 当館講堂

講師：濱田真由美（当館主任学芸員）

参加者数：48名

・担当学芸員によるギャラリートーク

1月26日(日)／2月9日(日)／2月23日(日)

14:00～ 企画展示室

参加者数：5名／12名／13名

※3月8日(日)／3月22日(日)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

・「ニットで編む 亀倉雄策名作ポスター」

公益財団法人日本グラフィックデザイナー協会（JAGDA）の設立40周年記念大会にあわせて、五泉ニット工業協同組合が制作した亀倉雄策ポスターのニット作品を展示。

1月25日(土)～3月1日(日) 企画展示室ロビー

【図録】

販売部数：68冊

仕様：25.7×18.2cm 60頁

編集：新潟県立近代美術館

執筆：伊澤朋美、濱田真由美、藤田裕彦、松矢国憲

印刷：吉原印刷株式会社

発行：新潟県立近代美術館

表紙デザイン：山下洋平（株式会社プロフィッツ）

内容：ごあいさつ

第1章 東京オリンピックと美術

〈コラム〉オリンピック開催記念催事のさまざま

第2章 同時代美術の諸相

第3章 新潟の新しい美術館：

長岡現代美術館とBSN新潟美術館

第4章 ドキュメント・長岡現代美術館

〈コラム〉斎藤義重の《大智浄光》について
1964年のキーワード

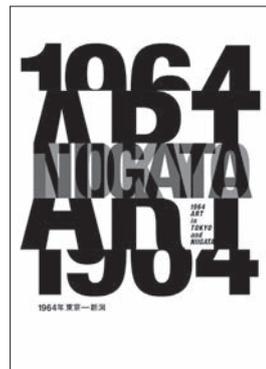
1964年の美術：地方からの逆襲／濱田真由美

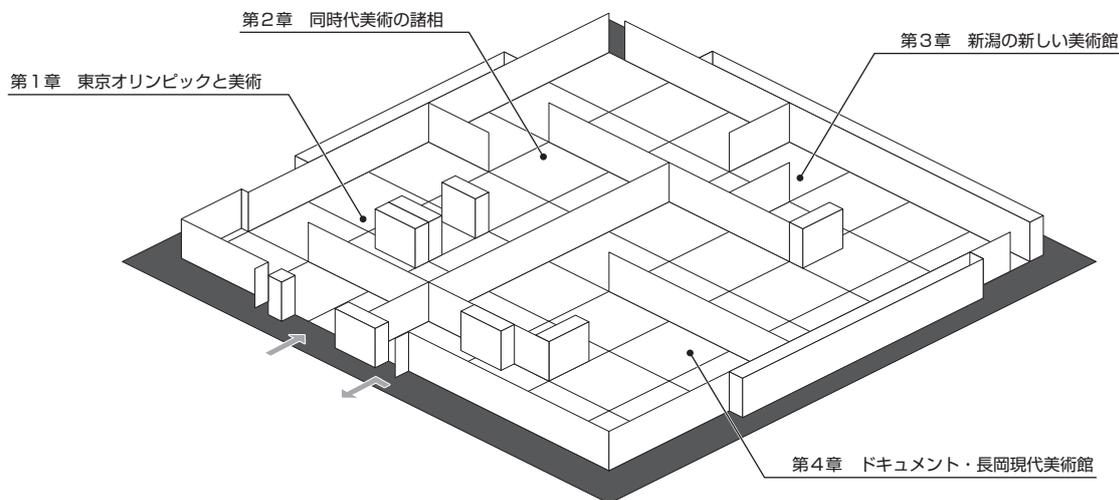
「1964年」という年／藤田裕彦

年表（1960年－1968年）

作家略歴

出品リスト





【関連記事】

●新聞

1月27日(月) 新潟日報(夕刊) おとなプラス
「現代美術で探る1964年」／河上進(ライター)

●その他

長岡新聞(1/9、2/1、2/22、2/27)
新潟日報(1/25、2/2、2/20、2/22、3/4)
十日町新聞(1/23)
読売新聞(1/24)
妻有新聞(1/25)
朝日新聞(1/30)
おとなプラス(2/7)
そいがあて2月号(2/15)
マイスキップ3月号(3/1)

●雑誌

カルチャーにいがた12-2月号(11/25)
ホットベッパー1月号(12/20)
月刊ジャックランド1月号(12/25)
ナジラビ1月号(1/1)
街角こんばす1月号(1/1)
月刊ウィンド1月号(1/1)
美術屋・百兵衛(1/12)
キャレル2月号(1/20)
月刊にいがた2月号(1/25)
月刊ジャックランド2月号(1/25)
ZERO・23 2月号(1/27)
月刊ウィンド2月号(2/1)
週刊ボイス(2/1)
365長岡3月(2/27)
月刊ウィンド3月号(3/1)

●テレビ

2月2日(日) NHK「日曜美術館アートシーン」

●ラジオ

1月28日(火) BSNラジオ「スナッピー日記」

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	910
	前売	なし
無料観覧者数	招待	260
	無料	179
	免除	123
総観覧者数		1,472
有料率(%)		61.8

担当 濱田真由美

【出品リスト】

作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵先
1. 東京オリンピックと美術				
横山 操	TOKYO	1968	紙本彩色	
亀倉雄策	東京国際スポーツ大会	1963	オフセット印刷	
亀倉雄策	19回国民体育大会 春季大会／新潟	1964	オフセット印刷	
亀倉雄策	東京放送 日本選手の活躍に焦点をあわせておくります	1964	シルクスクリーン印刷	
亀倉雄策	東京オリンピック 公式ポスター第1号	1961	グラビア印刷	
亀倉雄策	東京オリンピック 公式ポスター第2号	1962	グラビア印刷	
亀倉雄策	東京オリンピック 公式ポスター第3号	1963	グラビア印刷	
亀倉雄策	東京オリンピック 公式ポスター第4号	1964	グラビア印刷	
亀倉雄策、田中一光、 杉浦康平、河野鷹思、 稲垣行一郎、永井一正	東京オリンピックのシンボルマーク案	1960	印刷物	
早崎 治	聖火ランナー (第4号ポスター用ポジ)	1964	ポジフィルム	
	第3号ポスターの写真撮影風景	1963	写真	
亀倉雄策	オリンピックポスター、印刷原稿	1964	インク、紙	
亀倉雄策(表紙デザイン)	『第54次国際オリンピック委員会総会』	1958	印刷物	
亀倉雄策	『Tokyo Olympics 1964: Records of Sportsmanship』印刷見本	1964	印刷物	
亀倉雄策	XVIII Olympic Games, Tokyo, Oct. 10-24, 1964	1964	インク、紙	
亀倉雄策	シンボルマーク、印刷原稿	不明	インク、紙	
	亀倉雄策 写真アルバム (研究室六本木1962-63)	1962	写真、台紙	
	ポスターの前で働く亀倉雄策	1963頃	写真	
萩原正美	亀倉雄策 (中央)、早崎治 (左)、村越襄 (右)	1962	写真	
	インタビューを受ける亀倉、村越、早崎	1964	写真	
	オリンピック歓迎装飾、安田火災ビル	1964	写真	
亀倉雄策	オリンピック東京大会記念メダル	1964	金属製メダル、プラスチックケース	個人蔵
岡本太郎	オリンピック東京大会 国旗掲揚協力記念メダル	1964	金属製メダル、木箱	個人蔵
亀倉雄策	富士フィルム写真集『東京オリンピックイヤー』表紙印刷見本	1964	インク、紙	
亀倉雄策(表紙デザイン)	『世界各国オリンピックポスター集』	1964	印刷物	
河野鷹思	『TOKYO OLYMPICS オフィシャル・スーベニア』	1964	印刷物	
前田常作	日の丸 (東京オリンピック)	1964	油彩、キャンヴァス	新潟市美術館
田畔司朗	はりこ	1964	油彩、キャンヴァス	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
横山 操	高速四号線	1964	紙本彩色	
2. 同時代美術の諸相				
篠原有司男	コカコーラ・ブラン	1964/2002 (再制作)	ミクストメディア	
篠原有司男	花魁殺し	1965	油彩、キャンヴァス、アクリル板、金箔	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
赤瀬川原平	大日本零円札	1967	印刷物	新潟市美術館
小島信明	型をとりつけたボックス	1966	ラッカー、FRP、木製パネル	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
高松次郎	カーテンをあけた女の影	1965	油彩、キャンヴァス、木、石膏、カーテン、鏡	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
菊畑茂久馬	植物図鑑 (一)	1965	油彩、プラスチック、木、木製パネル	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
原 益夫	潮	1965	ブロンズ	
久保田成子 (編)	ハイレッド・センター イベント集	1965	印刷物	西山輝夫氏蔵
三木富雄	EAR (耳)	1965	アルミニウム合金	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
福岡道雄	ピンク・バルーン	1967/1994 (一部再成形)	ポリエステル	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
巖嘔	日本	1966	油彩、キャンヴァス、ヒートン、テグス、スコップ	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)

岡本太郎	顔	1965	油彩、アクリル絵具、キャンヴァス	
杉全直	きっこう	1960	ミクストメディア	相澤コレクション
難波龍起	森の詩	1960	油彩、キャンヴァス	
山口長男	段	1968	油彩、板	
末松正樹	歷程	1963	油彩、キャンヴァス	
富岡惣一郎	作品	1964	油彩、キャンヴァス	
阪本文男	作品ム-64-1	1964	油彩、キャンヴァス	
堀内正和	D氏の骨めきサイコロ (Dé désossé de Monsieur D)	1964	ブロンズ	新潟市美術館
佐善 明	祈祷師	1964	油彩、キャンヴァス	
笹岡了一	外川港の夕釣	1964	油彩、キャンヴァス	
鳥越 憂	機械船	1962	油彩、キャンヴァス	
倉石 隆	街裏	1959-63	油彩、キャンヴァス	
渡辺 徹	黒潮の詩	1964	ブロンズ	
三芳悌吉	聖像売りの女	1965	油彩、キャンヴァス	
安宅帛雄	黄色い服	1963	油彩、キャンヴァス	
八木一夫	環境の表裏	1967	黒陶	
渡邊利尙	門	1965	ブロンズ	
東山魁夷	森の静寂	1964	紙本彩色	
大矢黄鶴	はつなつの譜	1965	紙本彩色	
三輪晁勢	涛	1964	紙本彩色	
小島丹漾	待つ	1965	紙本彩色	
柳原義達	坐る	1960	ブロンズ	
村山 径	男と壁画	1965	紙本彩色	
藤田熊雄	狩人 (またぎ)	1960	紙本彩色	

3. 新潟の新しい美術館

高村真夫	春日野	1911	油彩、キャンヴァス	
浅井 忠	農人	1890	油彩、キャンヴァス	
小山正太郎	婦人	1891頃	油彩、キャンヴァス	
萬 鉄五郎	木の間風景	1918	油彩、キャンヴァス	
佐伯祐三	広告塔	1927	油彩、キャンヴァス	
安井曾太郎	読書	1942	油彩、キャンヴァス	
梅原龍三郎	紫禁城	1942	油彩、キャンヴァス	
藤田嗣治	私の夢	1947	油彩、キャンヴァス	
海老原喜之助	燃える	1957	油彩、キャンヴァス	
麻田鷹司	東尋坊	1962	紙本彩色	
高間惣七	海風	1959	油彩、キャンヴァス	
斎藤義重	作品I	1957	油彩、板	
桂 ゆき	異邦人	1961	油彩、コラージュ、キャンヴァス	
佐藤 敬	作品	1959	油彩、キャンヴァス	
元永定正	作品、ピンク・赤・91	1960	油彩、キャンヴァス	
田淵安一	輪舞	1961	油彩、キャンヴァス	
川端 実	作品	1963	油彩、キャンヴァス	
田中田鶴子	マイクロコスム	1961	油彩、キャンヴァス	
久野 真	鋼鉄による作品	1963	銅板	
岡本信治郎	インディアンが1人…… (10人のインディアンより)	1964	水彩、キャンヴァス	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
岡本信治郎	インディアンが2人…… (10人のインディアンより)	1964	水彩、キャンヴァス	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
岡本信治郎	インディアンが3人…… (10人のインディアンより)	1964	水彩、キャンヴァス	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
磯辺行久	作品 '64-63~87	1964	ミクストメディア	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)

中西夏之	作品	1964	油彩、キャンヴァス	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
玉置正敏	Euclid's Tears	1964	鉄、鉛	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
向井修二	作品	1965	油彩、板、キャンヴァス	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
田中敦子	作品 1963 Atsuko Tanaka	1963	合成樹脂エナメル塗料、キャンヴァス	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
山崎つる子	作品	1964	アクリル、キャンヴァス	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
森本紀久子	作品 I	1964	油彩、クレヨン、板	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
宮城輝夫	好色の鳥	1964	油彩、キャンヴァス	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
蔵本朝美	燎祭	1964	油彩、キャンヴァス	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
池田満寿夫	花嫁	1964	ルーレット、エッチング、ドライポイント	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
加納光於	Soldered Blue	1964	カラー・メタルプリント	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
深沢幸雄	記録	1964	色彩銅版画	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
三井永一	塔の周り	1964	リトグラフ	一般財団法人駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館寄託)
ルーチョ・フォンタナ	空間概念	1963	油彩、キャンヴァス	BSN新潟放送 (新潟市美術館寄託)
ジュゼッパ・カボグロッシ	SUPERFICIE No.539	1964	油彩、ボード、板	BSN新潟放送 (新潟市美術館寄託)
マリオ・デルイジ	G.G.28	1962	油彩、キャンヴァス	BSN新潟放送 (新潟市美術館寄託)
アントニオ・ヴァイルドツォ	作品	1962	油彩、紙	BSN新潟放送 (新潟市美術館寄託)
ピエロ・ドラツィオ	意識	1960	油彩、キャンヴァス	BSN新潟放送 (新潟市美術館寄託)
ガストーネ・ビチ	連続111	1964	油彩、キャンヴァス	BSN新潟放送 (新潟市美術館寄託)
マリオ・スキファノ	2-2B	1960	油彩、キャンヴァス	BSN新潟放送 (新潟市美術館寄託)
バスクワーレ・サントロ	抽象的なかたち	1965以前	鉄	BSN新潟放送 (新潟市美術館寄託)
ジュゼッパ・ウンチーニ	鉄と砂	1964	砂、鉄、紙	BSN新潟放送 (新潟市美術館寄託)
ハインツ・マック	作品	1963	グアッシュ、紙	BSN新潟放送 (新潟市美術館寄託)
オットー・ピーネ	赤と黄色の果物	1963	油彩、キャンヴァス	BSN新潟放送 (新潟市美術館寄託)
阿部展也	SCRITTURA IN ROSSO	1963	エンコースティック、板	
4. ドキュメント・長岡現代美術館				
後藤 充 (撮影)	長岡商工会議所 記録写真	2019	インクジェット印刷	
	長岡商工会議所開館記念テレホンカード	1987	テレホンカード	長岡商工会議所
	長岡現代美術館 設立趣旨パネル	1964	印刷、パネル	長岡商工会議所
	長岡現代美術館 入口看板	1964	プラスチックボード	
	長岡現代美術館 開館展示リスト、カタログ	1964	印刷物	
	長岡現代美術館賞展カタログ (全5回)	1964-68	印刷物	
	長岡現代美術館 開館記念セミナー、講演会、スライドショー	1964-68	スキャンデータ、モニター	
	長岡現代美術館 開館記念展会場風景		写真	
	長岡現代美術館時代の絵はがき、ラック	1964	印刷物、木製ラック	長岡商工会議所
	長岡現代美術館時代の作品輸送用クレート	不明	木製クレート	長岡商工会議所

※所蔵先の表記がない作品は新潟県立近代美術館・万代島美術館所蔵。

共 催 展

第21回亀倉雄策賞受賞記念
色部義昭展「目印と矢印」／
JAGDA新人賞展2019
赤沼夏希・岡崎智弘・小林一毅

【趣 旨】

JAGDA（公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会）初代会長の故亀倉雄策のコレクションを所蔵する館として、氏を讃えて創設された「亀倉雄策賞」の受賞作家作品展を継続開催することで、更なるグラフィックデザインの発展に寄与する。本年度も例年と同様に、公立大学法人長岡造形大学、新潟県立近代美術館、JAGDAによる三者主催で実施。

展示内容としては、第21回亀倉雄策賞受賞作となった、色部義昭の地下鉄のCI計画「OSAKA METRO」をはじめ、色部氏がこれまでに手がけた美術館等の公共的なプロジェクトを中心に、実物大パネルに再現して紹介。

また、「JAGDA新人賞」を受賞した赤沼夏希・岡崎智弘・小林一毅の3名の各受賞作品および近作を集めた展覧会を同時開催。デザインに関心のある若年層を中心に盛況であった。

【開催日・その他】

＝2019年10月26日(土)～11月4日(月・祝) (9日間)＝

会 場：新潟県立近代美術館 ギャラリー

主 催：公立大学法人長岡造形大学、新潟県立近代美術館、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会

協 力：クリエイションギャラリー G8、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会新潟地区（JAGDA新潟）

協 力（亀倉雄策賞）：山田写真製版所、亀倉雄策賞事務局

協 力（JAGDA新人賞）：福永紙工 平和紙業 精美堂 日光プロセス

観覧料：無料

来場者数：1,626名

【関連イベント】

開催記念講演

10月26日(土)

①11:00～12:00

講 師：赤沼夏希氏・小林一毅氏

※12:00より新人賞受賞者によるギャラリーツアー（約30分）

②14:00～15:30

講 師：色部義昭氏

会 場：講堂

参加者数：①119名 ②99名

担当 濱田真由美

第47回芸展秀作展

【趣旨及び総括】

新潟県美術家連盟主催の新潟県芸術美術展（通称芸展）での受賞作品について、平成26年度第43回分から5～6点ずつ当館で展示紹介していた。しかし、第46回に引き続き、第47回芸展の受賞作品についても、当館の改修工事による休館のためこれを実施できないことから、ギャラリーで一括の展示とした。日本画・洋画・彫刻・工芸・書道に新しく写真部門が加わり、展示を希望した作家24名の作家の作品を一堂に紹介した

【開催日・その他】

＝2020年1月4日(土)～12日(日) (8日間)＝

会 場：新潟県立近代美術館 ギャラリー

主 催：新潟県美術家連盟

共 催：新潟県立近代美術館

観覧料：入場無料

来場者数：255名

担当 宮下東子

第22回新潟県立美術館 友の会作品展

【趣旨及び総括】

友の会会員の制作した作品を募集し、会員の結束を図りながら、美術館の運営や活動に協力することを目的として、平成9年度に初めて企画して以来、開催を続けている。

第22回展では、会員の作品、および美術鑑賞旅行をはじめ友の会の活動の様子を近代美術館ギャラリーに展示した。

また、来場者にもワークショップとして作品を作成してもらい、楽しんでいただいた。

展示作業および来場者の対応は会員が中心となり、開催期間中に140名の来場者があった。

【開催日・その他】

＝2019年11月26日(火)～12月1日(日) (6日間)＝

会 場：新潟県立近代美術館 ギャラリー

主 催：新潟県立美術館友の会

共 催：新潟県立近代美術館

観覧料：無料

担当 佐藤夏代（友の会事務局）

第50回新潟県ジュニア 美術展覧会長岡展

2019年度 こどもものづくり大学校作品展覧会 ～こども×カタチ展～

【趣旨及び総括】

感性豊かな子どもの育成と美術振興をねらいとして、継続している全県規模のコンクールである。今回は、県内614の幼稚園・保育園、小・中学校、などから28,921点の応募があった。9名の審査員により選ばれた2,060点を新潟市、柏崎市、長岡市、上越市の4会場に巡回展示した。

長岡展会場である当館には、9日間の会期中に2,879名の入場があり、家族で美術鑑賞を楽しむ場となった。

【開催日・その他】

会場：新潟展 2019年11月30日(土)～12月12日(木)

新潟県民会館ギャラリーにて

長岡展 2020年1月8日(水)～1月16日(木)

新潟県立近代美術館にて

柏崎展 2020年1月21日(火)～1月26日(日)

柏崎市立図書館にて

上越展 2020年1月31日(金)～2月4日(火)

上越市民プラザにて

主催：新潟日報社、新潟県教育委員会、新潟県立近代美術館、新潟県美術教育連盟、新潟市教育委員会、長岡市教育委員会、上越市教育委員会、柏崎市教育委員会

後援：新潟日報美術振興財団

入場料：無料

審査員（敬称略）

幼稚園・保育園 加藤 修（千葉大学教授）
特別支援学校 安藤育子（秋田公立美術大学准教授）
小学校1年 五十嵐史帆（上越教育大学大学院准教授）
小学校2年 相田隆司（東京学芸大学教授）
小学校3年 高須賀昌志（埼玉大学教授）
小学校4年 山田 猛（東京造形大学教授）
小学校5年 林 耕史（群馬大学教授）
小学校6年 石上城行（埼玉大学准教授）
中学校1～3年 佐藤哲夫（新潟大学教授）

担当 村山裕之

【趣旨及び総括】

長岡造形大学主催事業「こどもものづくり大学校」は、ものづくりによって豊かな感性と創造力をはぐくみ、また日常生活では体験できない自由な発想の場の提供する、小学3～6年生を対象に行われる講座である。同大学のキャンパスを主な活動場所とし、4クラス104名の子どもが参加した。当館でもそのうちの1講座を学外ワークとして受け持ち、「〈夜の色〉で筆あと研究！」を2月2日及び16日に実施した。

この講座の成果を紹介するものとして本展覧会が3月14日(土)から22日(日)にかけて予定されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて中止となった。

担当 宮下東子

所蔵品展



コレナニ!?びじゅつ ～アートいろいろ 見かたイロイロ～

【趣旨】

県立近代美術館との共同企画により、当館所蔵品を中心とする現代美術約30点を展示した。作品を深く味わうための「問いかけ」を表示するなど新しい試みを行い、難解と思われがちな現代美術を誰もが楽しめるよう参加型の展示とした。

【総括】

●評価すべき点

- ・二館連携が円滑に進み、事業内容を質的に向上できた。
- ・問いかけ等の新しい展示方法が好評で、来館者満足度の向上につながり、所蔵品展として若い世代や親子連れの来館者を開拓することができた。

●検討課題

- ・学校へのアプローチがもう少し早い段階からできれば、学校団体の利用促進につながった。
- ・初の試みである教員向け説明会は、参加者数が非常に少なかった。
- ・学校への効果的なアプローチの時期や方法について、さらに検討していく。



【開催日・その他】

=2019年5月25日(土)～6月30日(日) (34日間)=

休館日：5月27日(月)、6月10日(月)、6月24日(月)

主催：新潟県立万代島美術館

企画協力：新潟県立近代美術館

後援：新潟市、新潟市教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、ケーブルテレビNCV、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエム角田山ぼかぼかラジオ、エフエムしばた、燕三条エフエム放送

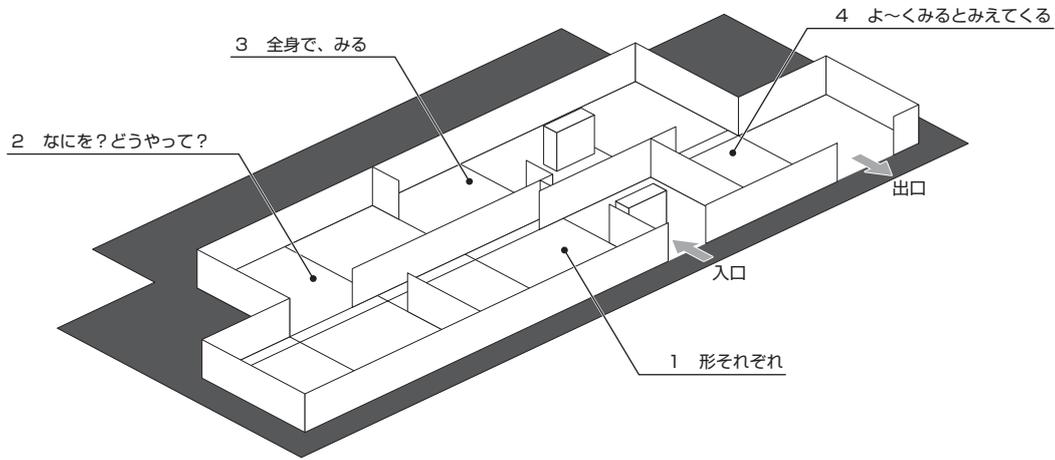
協力：新潟県立美術館友の会

観覧料：一般……………310円(250円)

大学・高校生……………150円(120円)

※中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金



【関連行事】

- ・レクチャー&ギャラリートーク「見かたイロイロ 感想共有 ノス、メ」
5月26日(日) 11:00~ 美術館ロビー・展示室
講 師：宮下東子（近代美術館専門学芸員）
参加者数：20名
- ・ギャラリートーク「美術でおしゃべり in BANBI」
①6月16日(日) ②6月30日(日) 11:00~ 展示室
講 師：①伊澤朋美（近代美術館主任学芸員）
②宮下東子（近代美術館専門学芸員）
参加者数：①12名 ②21名
- ・ワークショップ「カラダで描こうー星野真吾の〈人拓〉体験」
6月1日(土) 13:00~ 美術館ロビー・展示室
講 師：宮下東子（近代美術館専門学芸員）
村山裕之（近代美術館学芸課長代理）
参加者数：7名
- ・おしゃべり優先タイム
会期中毎日 10:00~13:00



【関連記事】

- 新聞
 - その他 新潟日報（5/25）
 - 新潟日報おとなプラス（6/20）
 - 朝日新聞（6/8）
 - 読売新聞（6/22）
- テレビ
 - 5月29日(水)NHK新潟
「新潟ニュース610」／長嶋圭哉
- ラジオ
 - 5月29日(水)BSN新潟放送
「近藤丈靖の独占ごきげんアワー」／長嶋圭哉
- 雑誌
 - 月刊ウインド 2019年8月号
「感想 万代島美術館所蔵品展 コレナニ!?びじゅつ」

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	2,318
	前売	なし
無料観覧者数	招待	458
	無料	354
	免除	389
総観覧者数		3,519
有料率 (%)		65.9

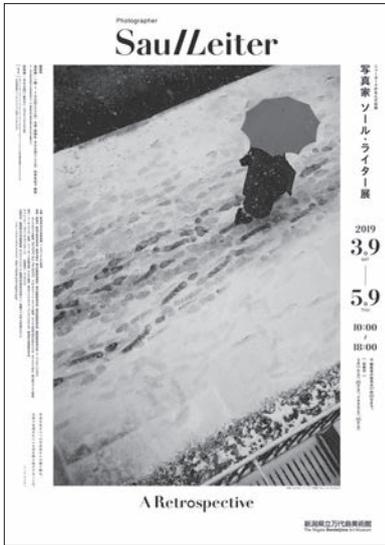
担当 長嶋圭哉、宮下東子（近代美術館）

【出品リスト】

No	作家名	作品名	制作年	素材・技法	所蔵先
1 形それぞれ					
1	舟越直木	Chuckwill's Widow	1993年	ブロンズ	
2	三木富雄	EAR (耳)	1965年	アルミニウム合金	一般財団法人駒形十吉記念美術館蔵 (新潟県立近代美術館寄託)
3	八木幾朗	魚図	1980年	紙、岩絵具など	
4	菅原健彦	円形のジャングルジム	1993年	紙、岩絵具など	
5	八木一夫	環境の表裏	1967年	黒陶	
6	キース・ヘリング	花I	1990年	紙、シルクスクリーン	
7	キース・ヘリング	花II	1990年	紙、シルクスクリーン	
8	キース・ヘリング	花III	1990年	紙、シルクスクリーン	
9	キース・ヘリング	花IV	1990年	紙、シルクスクリーン	
10	キース・ヘリング	花V	1990年	紙、シルクスクリーン	
11	岡村桂三郎	泉	2003年	杉板、岩絵具など	
2 なにを? どうやって?					
12	ロイ・リキテンスタイン	睡蓮と柳	1992年	ステンレス板、スクリーン・プリント	
13	伊藤 彬	山水一亡臆 I	2000年	紙、墨	
14	丸山直文	DHL	1992年	綿布、アクリル絵具	
15	丸山直文	kind	1994年	綿布、アクリル絵具	
16	宮崎 進	黄色い大地	2000年	合板、麻布、油絵具、木炭など	
17	熊井恭子	DRAPE・G	1989年	ステンレス・スチール	
18	熊井恭子	DRAPE・S	1989年	ステンレス・スチール	
19	星野真吾	消えてゆく	1987年	紙、岩絵具など	
3 全身で、みる					
20	千住 博	WATERFALL	2000年	紙、岩絵具など	
21	日高理恵子	空との距離	2002年	紙、岩絵具など	
22	伊藤 彬	山水一くするる2	1997年	紙、木炭、墨	
23	白木ゆり	Sonic (A)	1998年	紙、エッチング、ドライポイント	
24	白木ゆり	Sonic (B)	1998年	紙、エッチング、ドライポイント	
25	白木ゆり	Sonic (C)	1998年	紙、エッチング、ドライポイント	
26	白木ゆり	sound-40	2001年	紙、エッチング、ドライポイント	
27	竹内浩一	ぶどうに雨	2001年	紙、岩絵具など	
28	林 潤一	山百合(夏)	1998年	紙、岩絵具など	
4 よ〜くみるとみえてくる					
29	篠原有司男	スパイダーマン	1981年	キャンバス、油絵具	
30	米谷清和	街・朝	1986年	紙、岩絵具など	
31	アンディ・ウォーホル	花(10点組)	1970年	紙、スクリーンプリント	

※所蔵先の表記がない作品は新潟県立近代美術館・万代島美術館所蔵。





ニューヨークが生んだ伝説 写真家 ソール・ライター展

【趣旨】

ソール・ライター [1923-2013] は、米国の写真家・画家。商業写真から引退後、2006年、83歳で「カラー写真のパイオニア」として一躍注目を浴びると、以降世界各地で出版や展覧会開催が相次いでいる。日常の中で見過ごされがちな一瞬の美を天性の色彩感覚で捉える独特の視線は、近年再評価が進む。本展は、ニューヨークのソール・ライター財団所蔵の写真・絵画作品約200点とその他資料を紹介して反響を呼んだ東京展(2017)を巡回させたもの。東京、伊丹に次ぐ3会場目。

【総括】

●評価すべき点

- ・世界的に再評価の機運にある写真家の巡回展を国内3会場目で最後の巡回先として新潟に誘致できた。既に価値の定まった美術だけでなく、再評価されている作家や新しいものの見かた・価値観を紹介することも当館の役割であり、その点で開催意義のある展覧会であった。
- ・会期中に春休みや10連休が入り、県外からの来館者(≒当館初来館)も少なくなく、当館を周知させる契機となった。

●検討課題

- ・来館者数については見込みよりだいぶ厳しい結果になった。東京展が話題になったとはいえ、広く知名度がある写真家ではないため、広報の工夫がより望まれた。若者層や女性層に訴える方法を、例えばTwitter発信を強化するなど、今後さらに創意工夫を重ねていくしかない。

【開催日・その他】

=2019年4月1日(月)~5月9日(木) (37日間)=

※全体会期は3月9日(土)~5月9日(木) (58日間)

休館日：4月8日(月)、4月22日(月)

主催：新潟県立万代島美術館 / TeNYテレビ新潟

後援：新潟市 / 新潟市教育委員会 / 新潟日报社 / 朝日新聞新潟総局 / 毎日新聞新潟支局 / 読売新聞新潟支局 / 産経新聞新潟支局 / ケーブルテレビNCV / エフエムラジオ新潟 / FM PORT 79.0 / FM KENTO / ラジオチャット・エフエム新潟 / エフエム角田山ほかほカラジヲ / エフエムしばた / 燕三条エフエム放送

協力：ソール・ライター財団 / ニューヨーク市観光局 / デルタ航空 / 富士フイルムイメージングシステムズ / 新潟県立美術館友の会

キュレーター：ポリーナ・ヴェルマルル

企画協力：コンタクト

観覧料：一般……………1,100円(900円)〈900円〉

大学・高校生……………900円(700円)

※中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

※〈 〉は前売券料金



【関連行事】

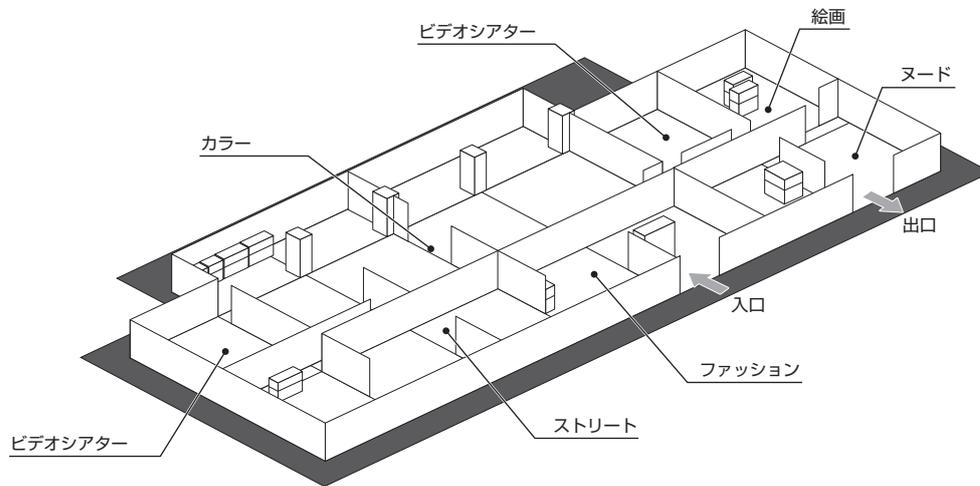
- ・ギャラリートーク（担当学芸員による）
- 4月14日(日) 14:00～ 展示室
- 参加者数：33名
- 4月28日(日) 14:00～ 展示室
- 参加者数：20名

【図録】

- 仕 様：210×149mm 312頁
- 執 筆：マーギット・アープ、ポリヌ・ヴェルマル、柴田元幸
- 編集協力：ソール・ライター財団、マーギット・アープ、ポリヌ・ヴェルマル、マイケル・バリーロ、テレビマンユニオン、大野留美
- 翻 訳：パメラ三木（三木アソシエイツ）、ジェックス
- 撮 影：マーギット・アープ、アニカ・グシック
- 企 画：佐藤正子（コンタクト）
- ブックデザイン：おおうちおさむ（ナノナグラフィックス）
- 編 集：鎌田恵理子（青幻舎）
- 印刷製本：山田写真製版所
- 発 行：株式会社青幻舎
- 内 容：図版
 - 「ソール・ライターの中にいる画家」マーギット・アープ
 - 「ニューヨークのナビ派」ポリヌ・ヴェルマル
 - 「うしろからあなたの左耳をくすぐる写真」柴田元幸
 - 英語原文・英訳
 - ソール・ライターの言葉 出典
 - ソール・ライター年譜（和英）
 - 会場会期
 - 奥付
 - *一般書籍『ソール・ライターすべて』（青幻舎、2017）として流通

【関連記事】

- 新聞
 - 4月13日(土) 朝日新聞
 - 「ニューヨーク 日常の1コマ／万代島美術館／「ソール・ライター展」
 - 4月25日(木) 新潟日報おとなプラス（読者投稿）
 - 「写真から伝わる情熱を堪能」（新潟市中央区）
 - 5月1日(水) 新潟日報（読者投稿）
 - 「ライター展訪れ学び多く」（長岡市）
- インターネット
 - 「シネウインド」ホームページ（編集部だより）
 - 「万代島美術館「写真家ソール・ライター展」に行ってきました！」



【観覧者数】

※4/1～5/9

有料観覧者数	当日	3,065
	前売	214
無料観覧者数	招待	783
	無料	168
	免除	248
総観覧者数		4,478
有料率 (%)		73.2

※全会期 (3/9～5/9)

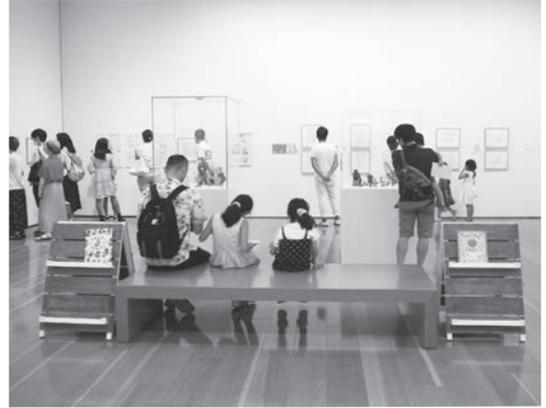
有料観覧者数	当日	4,571
	前売	384
無料観覧者数	招待	1,121
	無料	256
	免除	373
総観覧者数		6,705
有料率 (%)		73.9

※本展の出品リストは平成30年度版年報を参照のこと。

担当 桐原浩



企 画 展



MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展

島田ゆか 酒井駒子 ヒグチユウコ ヨシタケシンスケ なかやみわ

【趣 旨】

絵本に関する最新情報を発信してきた月刊雑誌「MOE」の創刊40周年を記念し、5人の人気作家一島田ゆか、酒井駒子、ヒグチユウコ、ヨシタケシンスケ、なかやみわの絵本原画約200点と、絵本制作に関わる資料やゆかりの品々を展示。幅広い年代に支持される5人の作家それぞれの魅力と世界観を紹介した。

【総 括】

●評価すべき点

- ・近年、子どもだけでなく大人のファンも増えている「絵本」であるが、親しみやすい分野を取り上げることで、美術館になじみの薄かった層にも興味をもていただけた。
- ・巡回展ではあったが、当館独自の工夫(小道具を加えたフォトロケやARフォトロケ、絵本コーナーやぬりえなど)により、美術の楽しさを共有できるような魅力的な会場を作ることができた。インスタグラムなどのSNSの拡散が広報面でも効果的であった。
- ・会期中、多彩なイベントの開催(作家のサイン会、絵本の読み聞かせ等)や、「おしゃべり優先タイム」の実施など、小さい子ども連れも気兼ねなく来館できる雰囲気づくりに努めた。県内図書館や出品作家など、館外の施設や人材からも協力を得ることができた。

●検討課題

- ・親しみやすい雰囲気を作り出す一方で、作品に触らない、など作品の保全に関わる注意事項を来館者にしっかり周知するため、監視スタッフとの十分な連携や、展示室内のレイアウトなどで引き続き工夫する必要がある。

【開催日・その他】

=2019年7月13日(土)~9月23日(月・祝)(69日間)=
休館日：7月22日(月)、8月5日(月)、8月19日(月)、9月9日(月)

主 催：新潟県立万代島美術館 / TeNYテレビ新潟 / MOE展
新潟実行委員会 / 白泉社

共 催：新潟日報社

協 力：偕成社 / 童心社 / PHP研究所 / 福音館書店 / ブロンズ新社 / 文溪堂 / 新潟県立美術館友の会

後 援：新潟市 / 新潟市教育委員会 / エフエムラジオ新潟 / FM PORT 79.0 / FM KENTO / ラジオチャット・エフエム新津 / エフエム角田山ぼかぼかラジオ / エフエムしばた / 燕三条エフエム放送 / ケーブルテレビ NCV

観覧料：一般……………1,100円(900円)〈700円〉

大学・高校生……………900円(700円)

※中学生以下無料

※ () 内は有料20名以上の団体料金

※ 〈 〉 内は前売券料金



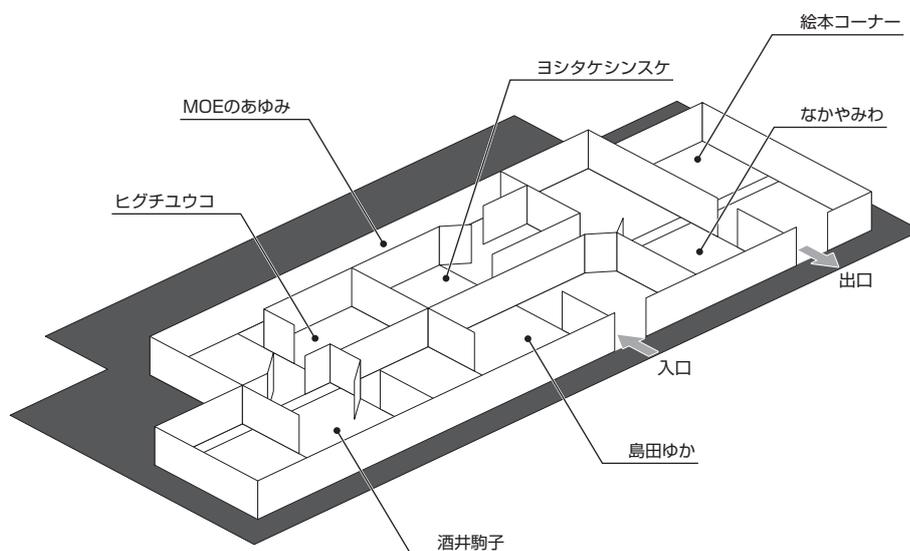
※A6サイズチラシ（5種中の2種）



【関連行事】

- ・島田ゆか サイン会
7月20日(土) 13:00~15:30~ (各回50名)
美術館ロビー 参加者数：100名
- ・なかやみわ トーク&サイン会
8月25日(日) 14:00~ 美術館ロビー
[トーク (申込不要、参加無料)] =参加者数：80名
[サイン会 (要事前申込)] =参加者数：50名
協力：新潟県立美術館友の会
- ・絵本の読み聞かせ
展示室内絵本コーナーにて/要観覧券/申込不要
協力：ほんぽーと新潟市立中央図書館
7月28日(日) 14:00~
読み手：TeNY 久保田紗也加アナウンサー
参加者数：80名
7月31日(水) 11:00~
読み手：ほんぽーと新潟市立中央図書館司書
参加者数：25名
9月15日(日) 11:00~
読み手：ほんぽーと新潟市立中央図書館司書
参加者数：70名
- ・ARフォトロケコーナー（展示室絵本コーナー内）
※各作家の原画をモチーフにした画像（5種）をスマートフォンアプリにて読み込み、写真を撮ることができるコーナー。新潟会場限定。
ARマーカ―が読み込まれた回数 7,902回（1日平均112.89回）

- ・「ぬりえにちょうせん！」（展示室絵本コーナー内）
会期中随時参加可能 絵柄は4作家（島田、ヒグチ、ヨシタケ、なかや）各1種。
- ・「みんなの『つままない!』をおしえて！」（展示室絵本コーナー内）
※ヨシタケシンスケの絵本『つままない つままない』にちなんだコーナー。
会期中随時参加可能。掲示数：約1,400点
- ・「ぶーちゃんとおにいちゃんのおともだちはどこ？」コーナー（展示室絵本コーナー内）
※島田ゆかの絵本『ぶーちゃんとおにいちゃん』の一場面をマグネットパズルにしたコーナー。
会期中随時参加可能。
- ・「えほんのにんぎものをさがしてみよう！」
※美術館ロビー、通路等に各作家のキャラクターを配置。
5種（有料エリア2種、無料エリア3種）。
- ・アートとなかよし おしゃべり優先タイム
会期中毎日 10:00~13:00



【関連記事】

●新聞

- 7月13日(土) 新潟日報
「有名作家の原画勢ぞろい 「人気絵本のひみつ展」開幕」
- 7月23日(火) 読売新聞
「絵本雑誌「MOE」展 新潟 原画など200点並ぶ」
- 9月1日(日) 朝日新聞
「人気の絵本 わくわくのヒミツ 万代島美術館作家5人の原画200点」
- 9月2日(月) 新潟日報おとなプラス
特集「人気絵本のひみつに迫る」

●雑誌

- MOE 2019年9月号
「「人気絵本のひみつ展」に行こう！」
- 月刊ウインド 2019年9月号
「人気絵本のひみつ展 開場式感想」
- Kodomoe 2019年10月号
「「人気絵本のひみつ展」に行こう！」

●ラジオ

- 7月16日(火) FM PORT
「Four seasons」

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	18,450
	前売	3,666
無料観覧者数	招待	2,211
	無料	8,555
	免除	2,001
総観覧者数		34,883
有料率 (%)		63.4

担当 今井有



【出品リスト】

島田ゆか				
No.	種別	タイトル等	素材・技法	出版年
1-01	原画	『バムとケロのさむいあさ』(2点)	紙、水彩ガッシュ	1996
1-02	原画	『かばんうりのガラゴ』(4点)	紙、水彩ガッシュ	1997
1-03	原画	『バムとケロのおかいもの』(3点)	紙、水彩ガッシュ	1999
1-04	原画	『うちにかえったガラゴ』(5点)	紙、水彩ガッシュ	2002
1-05	原画	『ぶーちゃんとおにいちゃん』(20点)	紙、水彩ガッシュ	2004
1-06	原画	『バムとケロのもりのこや』(1点)	紙、水彩ガッシュ	2011
1-07	原画	描きおろし絵本『ぼんちゃんとおとうと』(4点) *『MOE』2014年4月号掲載 とじこみひろく	紙、鉛筆	2014
1-08	原画	『MOE』2000年1月号 カレンダー こたつの絵	紙、水彩ガッシュ	2000
1-09	原画	『MOE』2009年1月号 表紙 ポップアップの絵	紙、水彩ガッシュ	2009
1-10	原画	『MOE』2017年2月号 表紙	紙、水彩ガッシュ	2017
1-11	原画	『MOE』2017年11月号 ロールケーキ	紙、水彩ガッシュ	2017
1-12	原画	『MOE』2017年11月号 島田ゆか絵本の秘密 表紙	紙、水彩ガッシュ	2017
1-13	原画	『MOE』2018年2月号 表紙	紙、水彩ガッシュ	2018
1-14	原画	描きおろし 絵本	紙、水彩ガッシュ	2018
1-15	原画	描きおろし ロゴ	紙、水彩ガッシュ	2018
1-16	資料	愛用の画材と色パレット		
1-17	資料	ダミー本 (4点)		
1-18	資料	お気に入りのぬいぐるみ		
1-19	資料	訳ありの人形たち		
1-20	資料	ぶーちゃんの人形(須佐沙和子作)		
1-21	資料	ボンゾの人形と本(人形2点、書籍3点)		
1-22	資料	カナダの4コマ漫画『Mutts』(書籍3点、マグ1点)		
酒井駒子				
No.	種別	タイトル等	素材・技法	出版年
2-01	原画	『よるくま』(5点)	紙、アクリルガッシュ、ボールペン、油性鉛筆	1999
2-02	原画	『よるくま クリスマスのまえのよる』(16点)	紙、アクリルガッシュ、ボールペン、油性鉛筆	2000
2-03	原画	『ロンパーちゃんとふうせん』(16点)	紙、アクリルガッシュ、ボールペン、油性鉛筆、色鉛筆	2003
2-04	原画	『BとIとRとD』(11点)	紙、アクリルガッシュ、ボールペン、油性鉛筆、コラージュ	2009
2-05	原画	描きおろし 絵本	紙、アクリルガッシュ、ボールペン、油性鉛筆	2018
2-06	原画	描き下ろし ロゴ	紙、アクリルガッシュ、ボールペン、油性鉛筆	2018
2-07	資料	壁にかけている黒板		
2-08	資料	ダミー本 *『よるくま クリスマスのまえのよる』		
2-09	資料	ボックス作品 *雑誌「みずゑ」の特集のために、アメリカの絵本作家マリー・ホール・エッツをイメージしてつくったもの		
2-10	資料	絵本のヒントになったボウル *『ロンパーちゃんとふうせん』のきっかけとなったカフェオレボウル		
2-11	資料	好きな絵本 *『MYRTILLE ET SES AMIS』		
ヒグチュウコ				
No.	種別	タイトル等	素材・技法	出版年
3-01	原画	『せかいいちのねこ』(10点)	紙、ペン、鉛筆、水彩絵の具	2015

3-02	原画	『ギョスターヴくん』(2点)	紙、ペン、鉛筆、水彩絵の具	2016
3-03	原画	『ギョスターヴくん』(2点)	複製	2016
3-04	原画	『ギョスターヴくん』限定版手帳表紙 タイトルロゴ	紙、ペン、鉛筆、水彩絵の具	2016
3-05	原画	『いらないねこ』(10点)	紙、ペン、鉛筆、水彩絵の具	2017
3-06	原画	『ほんやのねこ』(3点)	紙、ペン、鉛筆、水彩絵の具	2018
3-07	原画	「MOE」2016年2月号 カレンダー表紙	紙、ペン、鉛筆、水彩絵の具	2016
3-08	原画	「MOE」2016年9月号 ピンナップ	紙、ペン、鉛筆、水彩絵の具	2016
3-09	原画	「MOE」2016年11月号 おしゃれめりえBOOK (5点)	紙、ペン、鉛筆、水彩絵の具	2016
3-10	原画	「MOE」2017年6月号「ひとめぼれする展覧会」描きおろしイラスト	紙、ペン、鉛筆	2017
3-11	原画	「MOE」2017年2月号 カレンダー表紙	紙、ペン、鉛筆、水彩絵の具	2017
3-12	原画	「MOE」2017年10月号 表紙	紙、ペン、鉛筆、水彩絵の具	2017
3-14	原画	「MOE」2018年2月号 カレンダー表紙	紙、ペン、鉛筆、水彩絵の具	2018
3-15	原画	「MOE」2018年1月号 犬のポストカード (4点)	紙、ペン、鉛筆、水彩絵の具	2018
3-16	原画	描き下ろし 絵本	紙、ペン、鉛筆、水彩絵の具	2018
3-17	原画	描き下ろし ロゴ	紙、ペン、鉛筆、水彩絵の具	2018
3-18	原画	「MOE」2018年7月号 表紙	紙、ペン、鉛筆、水彩絵の具	2018
3-19	原画	「MOE」2019年2月号 カレンダー表紙	紙、ペン、鉛筆、水彩絵の具	2019
3-20	原画	カレンダー絵文字 「MOE」2016年2月号、「MOE」2017年2月号、「MOE」2018年2月号	紙、ペン、鉛筆、水彩絵の具	2016-2018
3-21	原画	「MOE」定期購読者特典 トートバッグ	紙、ペン、鉛筆	2016
3-22	原画	「MOE」定期購読者特典 バンダナ	紙、ペン、鉛筆	2017
3-13	資料	手描きイラスト *「MOE」2017年10月号ヒグチユウコ特集内「読者からの30の質問にお答えします」		
3-23	資料	好きな絵本・児童文学・映画 *「はなをくんくん」、「オウエンのために祈りを」、「はてしない物語」、「指輪物語」、「砂のあした」、「火の鳥」、「バロン」(DVD)		
3-24	資料	写真 *「MOE」2017年10月号掲載		

ヨシタケシンスケ

No	種別	タイトル等	素材・技法	出版年
4-01	原画	『りんごかもしれない』(4点)	紙、サインペン	2013
4-02	原画	『りゅうががあります』(4点)	紙、サインペン	2015
4-03	原画	『もうぬげない』(4点)	紙、サインペン	2015
4-04	原画	『なつみはなんにでもなれる』(4点)	紙、サインペン	2016
4-05	原画	『つまんないつまんない』(13点)	紙、サインペン	2017
4-06	原画	『それしかないわけじゃないでしょう』(5点)	紙、サインペン	2018
4-07	原画	「MOE」2017年4月号 付録絵本『つまんないつまんない』表紙	紙、サインペン	2017
4-08	原画	「MOE」2017年4月号 ヨシタケシンスケのしくみ ヨシタケシンスケ よくある質問	紙、サインペン	2017
4-09	原画	「MOE」2017年4月号 ヨシタケシンスケのできるまで	紙、サインペン	2017
4-10	原画	「MOE」2017年4月号 ヨシタケシンスケの1日	紙、サインペン	2017
4-11	原画	「MOE」2017年4月号 ヨシタケシンスケ特集用カット	紙、サインペン	2017
4-12	原画	「MOE」2017年3月号 かこさとし絵本大博覧会「私の好きな1冊」描きおろしイラスト	紙、サインペン	2017
4-13	原画	「MOE」2017年7月号「この絵本と出会ったから絵本作家になった」描きおろしイラスト	紙、サインペン	2017
4-14	原画	「MOE」2017年9月号 ヨシタケシンスケ 初海外 ポローニャ紀行	紙、サインペン	2017
4-15	原画	描きおろし ロゴ	紙、サインペン	2018
4-16	原画	描きおろし 絵本	紙、サインペン	2018
4-17	原画	「MOE」2018年1月号「いま知っておきたい日本のすごい絵本作家 絵本作家特集 2018」表紙イラスト	紙、サインペン	2018

4-18	原画	「MOE」2018年1月号 ヨシタケシンスケの絵本作家にナルニワ国物語	紙、サインペン	2018
4-19	資料	愛用の画材類 *製図用ブラシ、ペン（コピックマルチライナーブラック 0.3mm）、消しゴム、シャープペンシル、ノック式ホルダー消しゴム		
4-20	資料	立体作品 *男の人（「西日」という立体作品の一部）、スタンプ、布団のオブジェ、卓上用小物掛け、学生時代の作品		
4-21	資料	愛用の手帳		
4-22	資料	アトリエに飾っているお気に入りの小物		
4-23	資料	愛読書 *松本大洋「ピンポン」、高野文子「るきさん」、榎本俊二「ゴールデンラッキー」、いしいひさいち「DOUGHNUTS BOOKS いしいひさいち選集」、宮崎駿「宮崎駿の雑想ノート」		
4-24	資料	自費出版物 *『ヨシタケシンスケ 作品集』『ヨシタケシンスケ 断片集』『おそろく後日 改めて』『カプリモノシリーズ』『デリカシー体操』		

なかやみわ				
No.	種別	タイトル等	素材・技法	出版年
5-01	原画	「そらまめくんのベッド」(3点)	紙、色鉛筆、パステル、インク	1999
5-02	原画	「そらまめくとめだかのこ」(2点)	紙、色鉛筆、パステル、インク	2000
5-03	原画	「くろくんとふしぎなともだち」(3点)	紙、クレヨン、色鉛筆、パステル、マーカー、コラーージュ	2004
5-04	原画	「やさいのがっこう とまとちゃんのたびだち」(10点)	紙、色鉛筆、パステル、水彩絵具、製図ペン	2016
5-05	原画	「やさいのがっこう ピーマンくんゆめをみる」(10点)	紙、色鉛筆、パステル、水彩絵具、製図ペン	2017
5-06	原画	「くろくとちいさいしろくん」(2点)	紙、クレヨン、色鉛筆、パステル、マーカー、コラーージュ	2017
5-07	原画	「やさいのがっこう とうもろこしちゃんのなかいかみ」(12点)	紙、色鉛筆、パステル、水彩絵具、製図ペン	2018
5-08	原画	描きおろし ロゴ	紙、色鉛筆、パステル、水彩絵具、製図ペン	2018
5-09	原画	描きおろし 絵本	紙、色鉛筆、パステル、水彩絵具、製図ペン	2018
5-10	資料	「やさいのがっこう」のきっかけ 食器とイラスト原画		
5-11	資料	「やさいのがっこう」設定画とダミー本		
5-12	資料	「そらまめくん」試作絵本やダミー		
5-13	資料	「やさいのがっこう」人形（須佐沙知子作） *「MOE」2018年4月号掲載		
5-14	資料	「そらまめくん」人形（須佐沙知子作） *「羊毛フェルトで作る絵本の主人公」（2016年刊）掲載掲載		
5-15	資料	もるちゃん（写真）		
5-16	資料	愛用画材類		

MOE関連資料				
6-01	資料	ブルーナさんの手紙 *ディック・ブルーナから「MOE」1996年1月号の特集宛てに届いたもの。		
6-02	資料	「ミッフィー」のイラスト（ディック・ブルーナ作） *「MOE」2001年5月号表紙のためのイラスト（レプリカ）		
6-03	資料	「スージー・ズー」のイラスト（スージー・スパッフォード作） *「MOE」2011年12月号巻頭特集のための描きおろし		
6-04	資料	「はらべこあおむし」イラスト（エリック・カール作） *「MOE」2013年3月号特集のための描きおろし		
6-05	資料	ムーミンダイアリー *「MOE」ムーミン巻頭特集号（2012～2018年）の特別付録 8冊		
6-06	資料	「MOE」付録 *クリアファイル（6種）、ダイカット便箋（2種）、カレンダー（2015～2018年 4種）		
6-07	資料	人形「しばわんこ」（須佐沙知子作） *「羊毛フェルトで作る絵本の主人公」（2016年刊）掲載		
6-08	資料	人形「わたしのワンピース」（原優子作） *「絵本の国のぬいぐるみ」（2009年刊）掲載		



乙女のデザイン 大正イマジユリイの世界

【趣旨】

明治後半から昭和初期にかけての印刷物や版画等の複製画像を「大正イマジユリイ」と総称し、大正期を中心に花開いた大衆文化の多様なイメージの魅力を伝えた。会場には書籍、雑誌、挿絵、広告、絵はがき等が並び、日本のグラフィックデザインのはじまりと発達の様相もたどれる内容となった。落谷虹児、広川松五郎ら県出身、ゆかり作家も紹介した。

【総括】

●評価すべき点

- ・過去の同展巡回会場の中で、最多の作品数を出品した。当時の多種多様なイメージを紹介することができ、見応えのある会場となった。
- ・一般にはほとんど知られていない県出身の佐々木林風、ゆかりの水島爾保布を新潟会場独自の展示として紹介することができた。
- ・滞在時間の長い熱心な来場者が多く、アンケートの記述欄にも多くの声が寄せられた。

●検討課題

- ・幅広い内容を扱う本展の場合、展覧会のイメージを一目でわかりやすく伝えることが難しかった。印刷物のデザインは好評だった一方、内容についての情報が伝わりづらかったという面もあった。
- ・新聞紙面での手厚い展開があったにもかかわらず、入場者数には結びつかなかった。従来の広報手段のみに頼らず、どの媒体で、どのように情報を扱うと効果的か、より一層の検討が必要だった。

【開催日・その他】

=2019年10月5日(土)~11月24日(日) (48日間)=
休館日：10月7日(月)、10月28日(月)、11月11日(月)

主催：新潟県立万代島美術館

共催：新潟日报社

監修：山田俊幸(元帝塚山学院大学教授)

後援：新潟市、新潟市教育委員会、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、N S T、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、ケーブルテレビNCV、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新潟、エフエム角田山ほかほかラジオ、エフエムしばた、燕三条エフエム放送

協力：大正イマジユリイ学会、新潟県立美術館友の会

企画協力：キュレーターズ

観覧料：一般……………1,100円(900円)(900円)

大学・高校生……………900円(700円)

※中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

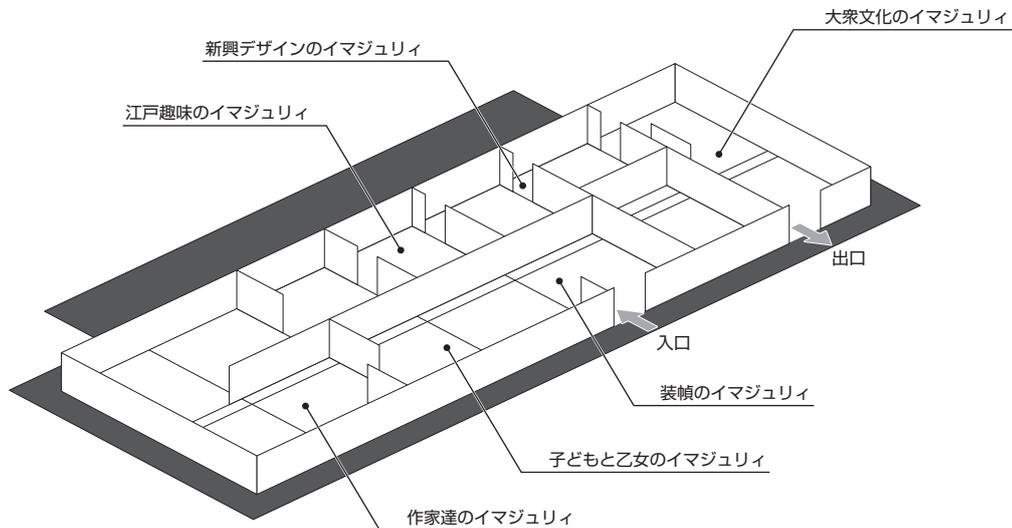
※〈 〉は前売券料金

【関連行事】

- ・講演会／絵はがき鑑定会『新潟日報』連載「押入れの中の文化財」あれこれ—絵はがきの楽しみ—
10月22日(火・祝) 14:00~ NICOプラザ会議室
講師：山田俊幸氏(展覧会監修者)
参加者数：30名(内12名が絵はがき鑑定会にも参加)

・ギャラリートーク

10月5日(土) 14:00~ 展示室



講師：山田俊幸氏（展覧会監修者）
参加者数：50名

・乙女のためのギャラリートーク
—キモノ・洋装で楽しくおしゃれに美術鑑賞—

11月10日(日) 14:00～ 展示室
講師：池田珠緒（当館主任学芸員）
参加者数：35名

・にいがたもようワークショップ
10月26日(土) 11:00～/14:30～ 美術館ロビー

講師：にいがたもよう研究所
参加者数：11名/10名

【関連記事】

●新聞

- 9月10日(火) 長岡新聞
「乙女のデザイン展を開催」
- 10月5日(土) 新潟日報
「大正の息吹感じて 乙女のデザインきょう開幕」
- 10月12日(土) 新潟日報
「お江戸じょんのび便り〈乙女のデザイン〉展 上」
- 10月16日(水) 新潟日報
「乙女のデザイン 誰もがときめく大正文化」
- 10月18日(金) 新潟日報
「乙女のデザイン大正イマジユリイの世界展監修 山田俊幸さんに聞く」
- 10月23日(水) 新潟日報
「絵はがきの歴史深く デザイン展に合わせ講演」
- 10月26日(土) 新潟日報
「お江戸じょんのび便り〈乙女のデザイン〉展 下」

11月13日(水) 新潟日報
展覧会へようこそ「乙女のデザイン 大正イマジユリイの世界 大衆文化漂う印刷物、版画」/池田珠緒

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	3,137
	前売	469
無料観覧者数	招待	924
	無料	220
	免除	429
総観覧者数		5,179
有料率 (%)		69.6

担当 池田珠緒



【出品リスト】

・順不同 ・空欄は不詳 ・人名、書籍名等は原文表記を原則としたが、旧字を新字に改めた箇所がある。
 ・書籍は初版発行年を記載。出品作品の発行年、版数が異なる場合はその後に記載。・*は新潟県立万代島美術館蔵。他は個人蔵。

作者名	著者名、書籍・雑誌名、作品名等	発行元	発行年(月)
装幀のイマジユリ			
恩地孝四郎	萩原朔太郎『詩集 月に吠える』装幀	感情詩社 白日社	1917年
長原孝太郎	佐々木信綱『おもひ草』装幀	博文館	1903年/1905年[再版]
長原孝太郎	落合直文『萩之家歌集』装幀	明治書院	1906年
児島喜久雄	『白樺』第1巻第5号表紙	洛陽堂	1910年8月
高村光太郎	『創作』第2巻第6号表紙	東雲堂書店	1911年6月
斎藤与里	富田碎花『悲しき愛』装幀	岡村盛花堂	1912年
木下茂	若山牧水『死か芸術か』装幀	東雲堂書店	1912年
津田青楓	野上白川訳『邦訳近代文学』装幀	尚文堂書店	1913年
清宮彬	『フユウザン』第4号表紙	日本洋画協会出版部	1913年3月
小林徳三郎	メテルリンク/鳥村抱月訳『モンナ・ワッナ』装幀	南北社	1913年/1913年[5版]
杉浦非水	菊池幽芳『百合子』装幀	金尾文淵堂	1913年
津田青楓	鈴木三重吉『桐の雨』装幀	濱口書店	1913年
津田青楓	鈴木三重吉『桑の実』装幀	春陽堂	1914年
	杉江董『ヒステリーの研究と其療法』装幀	島田文盛館	1915年
町田歌三	ビクトリ・ユゴ/黒岩浜香訳『縮刷 噫無情』装幀	扶桑堂	1915年/1918年[21版]
津田青楓	夏目漱石『道草』装幀図案		
津田青楓	夏目漱石『道草』装幀	岩波書店	1914年/1919年[13版]
津田青楓	鈴木三重吉『珊瑚樹』装幀	植竹書院	1914年/1914年[5版]
津田青楓	鈴木三重吉『霧の雨』装幀	春陽堂	1915年
津田青楓	夏目漱石『縮刷 それから』装幀	春陽堂	1915年/1924年[22版]
津田青楓	夏目漱石『行人』装幀	大倉書店	1916年/1917年[8版]
太田喜二郎	岡田播陽『明けむとする夜の叫び』装幀	更新文学社	1916年
津田青楓	夏目漱石『明暗』装幀	岩波書店	1917年/1917年[6版]
津田青楓	夏目漱石『草舎』装幀	春陽堂	1917年/1917年[再版]
津田青楓	夏目漱石『漾虚集』装幀	大倉書店	1917年/1918年[4版]
バーナード・リーチ	志賀直哉『夜の光』装幀	新潮社	1918年/1918年[再版]
津田青楓	阿部次郎『合本 三太郎の日記』装幀	岩波書店	1918年/1918年[第3版]
恩地孝四郎	多田不二『詩集 悩める森林』装幀	感情詩社	1920年
津田青楓	田山花袋『二つ乃生』装幀	春陽堂	1920年/1920年[再版]
宇崎純一	橋本墨花『花と花言葉』装幀	紅玉堂書店	1922年
清宮彬	ストリンドベルヒ/外山樞夫訳『曠野叢書9 ルーテル』装幀	新しき村出版部 曠野社	1922年
藤森静雄	龍城鈴子『長編小説 空に祈る日』装幀	新潮社	1922年/1924年[6版]
恩地孝四郎	野口米次郎『我が手を見よ』装幀	アルス	1923年
初山滋	田中純『闇に哭く』装幀	玄文社	1924年/1924年[5版]
	辻潤『ですべら』装幀	新作家	1924年
黒沢武之輔	三木羅風『修道院雑筆』装幀	新潮社	1925年/1925年[6版]
藤井達吉	藤井達吉『応用図案百種』(『素人のための手芸図案の描き方』附録)装幀	主婦之友社	1926年
恩地孝四郎	前田夕暮『烟れる田園』装幀	アルス	1926年
広島晃甫	岸田國士『言葉言葉言葉』装幀	改造社	1926年
広島晃甫	菊池寛原作/丸山順太郎訳『仏和对訳 恋愛病患者』装幀	白水社	1927年
津田青楓	小笠原秀実『愚境の曙』装幀	弘道閣	1927年
船川未乾	関次郎『からす』装幀	創元社	1927年
船川未乾	竹内勝太郎『室内』装幀	創元社	1928年
梅津幸司	梅津勝男『音と影と都会』装幀	廣陽社	1928年
恩地孝四郎	タゴル/和田富子訳『有閑哲学』装幀	東京朝日新聞発行所	1929年
津田青楓	荻原井泉水『京洛小品』装幀	創元社	1929年
津田青楓	新村出『瓊玕記』装幀	改造社	1930年
津田青楓	西田猪之輔『歌集 御空ゆく』装幀	西田猪之輔	1935年

子どもと乙女のイマジユリ

	『少年世界』第9巻第1号表紙	博文館	1903年1月
鍋木清方	『少女界』第5巻第2号表紙	金港堂書籍	1906年2月
鍋木清方	『少年界』第6巻第13号表紙	金港堂書籍	1907年12月
杉浦非水	『少年世界』第15巻第4号表紙	博文館	1909年3月
杉浦非水	巖谷小波『日本一ノ画断 ザウノアソビ』装幀	中西屋書店	1911年
杉浦非水	巖谷小波『日本一ノ画断 ネコノセカイ』装幀	中西屋書店	1911年
小林鍾吉	巖谷小波『日本一ノ画断 シタキリスズメ』装幀	中西屋書店	1911年
岡野栄	巖谷小波『日本一ノ画断 カチカチヤマ』装幀	中西屋書店	1911年
小林鍾吉	巖谷小波『日本一ノ画断 コプトリ』装幀	中西屋書店	1911年
杉浦非水	巖谷小波『日本一ノ画断 ハナサカチチイ』装幀	中西屋書店	1911年
杉浦非水	『少女界』第12巻第12号表紙	大陽社	1913年12月
川端龍子	『少女の友』第8巻第1号表紙	実業之日本社	1915年1月
川端龍子	『少女の友』第8巻第2号表紙	実業之日本社	1915年2月
川端龍子	『少女の友』第8巻第4号表紙	実業之日本社	1915年4月

USI	『少年』第148号表紙	時事新報社	1916年1月
森田久	『宝塚少女歌劇 第六楽譜集』表紙	阪神急行電鉄株式会社	1918年
加藤まさを	絵はがき	上方屋平和堂	1919年
加藤まさを	絵はがき	上方屋平和堂	1919年
加藤まさを	《散りゆく桜》『花の精』第3集より	上方屋	1920年
加藤まさを	《花の涙》『花の精』第4集より	上方屋	1920年
川端龍子	『少女の友』第13巻第4号表紙	実業之日本社	1920年4月
	水谷勝『宝石の夢』装幀	交蘭社	1920年/1922年[15版]
武井武雄	雑誌挿画		1924年
岡本帰一	『コドモノクニ』3巻2号挿画	東京社	1924年2月
岡本帰一	『コドモノクニ』3巻5号挿画	東京社	1924年5月
岡本帰一	『コドモノクニ』3巻8号挿画	東京社	1924年8月
武井武雄	『コドモノクニ』4巻1号挿画	東京社	1925年1月
武井武雄	『コドモノクニ』4巻7号挿画	東京社	1925年6月
岡本帰一	『コドモノクニ』5巻1号挿画	東京社	1926年1月
岡本帰一	『コドモノクニ』6巻12号挿画	東京社	1927年12月
小林和郎	雑誌挿画		
村山知義	『子供之友』挿画	婦人之友社	
本田庄太郎	『子供之友』挿画	婦人之友社	
	『小学児童文学副読本三年 上巻』表紙	第一出版協会	1924年/1926年[36版]
	『小学児童文学副読本四年 上巻』表紙	第一出版協会	1924年/1926年[40版]
清水良雄	『赤い鳥』第13巻第1号表紙	赤い鳥社	1924年7月
田中良	菊池寛編『小学童話読本第5学年 下巻』装幀	興文社	1925年
田中良	菊池寛編『小学童話読本第4学年』装幀	興文社	1925年
村山知義	兼常清佐『小学生全集第67巻 音楽の話と唱歌集(上級用)』装幀	興文社 文芸春秋社	1927年
武井武雄	『家庭科学大系(72) 児童文学』装幀	文化生活研究会	1927年
岡本帰一	《ワタシノオモチャ》『コドモノクニ』7巻1号口絵	東京社	1928年1月
恩地孝四郎	『日響楽譜 お友だちといっしょ』表紙	日本交響楽協会出版部	1928年
恩地孝四郎	『日響楽譜 雀の番・鳥の番 鶯のお昼寝』表紙	日本交響楽協会出版部	1928年
恩地孝四郎	竹内端三『日本児童文庫 面白い数学』装幀	アルス	1928年
恩地孝四郎	田中哲爾『日本児童文庫 世界の旅』装幀	アルス	1930年
平井房人	『宝塚少女歌劇脚本集』第144号表紙	宝塚少女歌劇団	1932年12月
平井房人	『宝塚少女歌劇雪組出演脚本集』第11号表紙	宝塚少女歌劇団	1934年11月
平井房人	『宝塚少女歌劇脚本集』第168号表紙	宝塚少女歌劇団	1934年12月
中原淳一	『宝塚百花譜』(『東宝』第13号附録)表紙	東宝	1935年
Sin	『児童』第2巻第5号表紙	刀江書院	1935年5月
平井房人	『宝塚少女歌劇脚本解説附・宝塚春秋』第190号表紙	宝塚少女歌劇団	1936年10月
渡邊文子	雑誌口絵原画		大正初期
渡邊文子	《花咲く野辺》雑誌口絵原画		
伊藤としを	絵封筒		大正末~昭和初期
	絵封筒		大正末~昭和初期
	封筒収納箱の蓋		
高橋春佳	『実用便箋』表紙		
	便箋「スズラン」		大正末
	便箋「星の木」		大正末
	便箋「トランプ」		大正末頃
あさみ	便箋表紙		大正末頃
橋爪ゆたか	《さくらんぼ》便箋表紙	TM社	大正末~昭和初期
橋爪ゆたか	《月あかり》便箋表紙	TM社	大正末~昭和初期
橋爪ゆたか	《ヴェニス之歌》便箋表紙	T.M.TOKYO	大正末頃
高橋春佳	《祝クリスマス》絵はがき4点		昭和6年頃
橋爪ゆたか	絵はがき4点	古川赤心堂	大正末頃~昭和初期
岡本帰一	仏教系日曜学校カード		
芳朗	仏教系日曜学校カード		
竹久夢二	島崎藤村『藤村読本』第1巻装幀	研究社出版	1926年
竹久夢二	島崎藤村『藤村読本』第1巻口絵	研究社出版	1926年
竹久夢二	島崎藤村『藤村読本』第2巻口絵	研究社出版	1926年/1949年[8版]
高島華宵	《願ひ》華宵便箋表紙		1925年
高島華宵	『少女の友』絵はがき		大正末~昭和初期
山六郎	『女性』第3巻第2号表紙	プラトン社	1923年2月
山六郎	『女性』第7巻第1号表紙	プラトン社	1925年1月
山六郎	『女性』第11巻第5号表紙	プラトン社	1927年5月
高橋春佳	栞	山口青旭堂	大正末~昭和初期
高橋春佳	『家事と衛生』第6巻10月号表紙	大阪市立衛生試験所内家事衛生研究会	1930年10月
高橋春佳	『家事と衛生』第6巻12月号表紙	大阪市立衛生試験所内家事衛生研究会	1930年12月
高橋春佳	『家事と衛生』第7巻4月号表紙	大阪市立衛生試験所内家事衛生研究会	1931年4月
高橋春佳	《西の声》絵はがき14枚	山口青旭堂	1933年
亀井實	『婦人グラフ』第2巻第6号表紙	国際情報社	1925年6月
亀井實	『婦人グラフ』第2巻第7号表紙	国際情報社	1925年7月

亀井實	『婦人グラフ』第2巻第8号表紙	国際情報社	1925年8月
亀井實	『婦人グラフ』第2巻第9号表紙	国際情報社	1925年9月
亀井實	『婦人グラフ』第2巻第10号表紙	国際情報社	1925年10月
亀井實	『婦人グラフ』第3巻第3号表紙	国際情報社	1926年3月
多ヶ谷信乃	『婦人グラフ』第4巻第3号表紙	国際情報社	1927年3月
多ヶ谷信乃	『婦人グラフ』第4巻第5号表紙	国際情報社	1927年5月
榎本千花俊	『婦人グラフ』第4巻第7号表紙	国際情報社	1927年7月
榎本千花俊	『婦人グラフ』第4巻第8号表紙	国際情報社	1927年8月
亀井實	『婦人グラフ』第5巻第1号表紙	国際情報社	1928年1月
亀井實	『婦人グラフ』第5巻第2号表紙	国際情報社	1928年2月
	『ART GOÛT BEAUTÉ No.989 Année』		1928年10月
岩田専太郎	《「日輪」の徳恵子》『現代長篇小説全集 第9巻 三上於菟吉篇』口絵	新潮社	1928年
竹久夢二	《「珠を抛つ」の静枝》『現代長篇小説全集 第7巻 加藤武雄篇』口絵	新潮社	1928年
吉野二郎	《「半人半獣」の仮名子》『現代長篇小説全集 第12巻 佐藤紅緑篇』口絵	新潮社	1928年
石井鶴三	《「春田と浜江」》『現代長篇小説全集 第16巻 上司小剣篇』口絵	新潮社	1928年
恩地孝四郎	《「白路」の雪のみち》『現代長篇小説全集 第11巻 吉田絃二郎篇』口絵	新潮社	1928年
吉野二郎	《「星は乱れ飛ぶ」のみどり》『現代長篇小説全集 第21巻 賀川豊彦・沖野岩三郎篇』口絵	新潮社	1929年
名取春仙	《「狂へる恋」の京子》『現代長篇小説全集 第15巻 吉井勇篇』口絵	新潮社	1929年
中川修造	《「神と人との間」ホテルのグリル・ルーム》『現代長篇小説全集 第8巻 谷崎潤一郎篇』口絵	新潮社	1929年
水島爾保布	《「地上」の冬子》『現代長篇小説全集 第24巻 島田清二郎・江馬修篇』口絵	新潮社	1930年
	パンフレット「クラブ化粧品 近藤波保商店」		
	『新時代交際礼法ものしり画報 化粧髪着附画帖』（『婦人倶楽部』第12巻第3号附録）表紙	大日本雄弁会講談社	1931年3月
高橋春佳	絵はがき	山口青旭堂	昭和初期
高橋春佳	絵はがき	山口青旭堂	昭和初期
加藤まさを	菊池寛 芥川龍之介共訳『小学生全集 第34巻 ビーターパン』装幀	興文社 文芸春秋社	1929年
加藤まさを	菊池寛 芥川龍之介共訳『小学生全集 第34巻 ビーターパン』口絵	興文社 文芸春秋社	1929年
富本憲吉	早見君子 高橋毅一郎『家庭科学大系29新化粧品・整容医学』装幀	東京・銀座 文化生活研究会	1927年
杉浦非水	秋徳敬 東佐与『家庭科学大系47和洋菓子の作り方』装幀	東京・銀座 文化生活研究会	1927年
岸田劉生	賀川豊彦『家庭科学大系21衣裳の心理』装幀	東京・銀座 文化生活研究会	1928年
武井武雄	矢野雄『家庭科学大系67育児学』装幀	東京・銀座 文化生活研究会	1928年
平福百穂	永井清『家庭科学大系58性の生理（下）』装幀	東京・銀座 文化生活研究会	1927年
佐々木林風	《宵節句》雑誌口絵		
佐々木林風	《春の夜（江戸時代町娘）》『少女の友』第6巻第3号口絵	実業之日本社	1913年3月
佐々木林風	《お正月》『少女の友』第7巻第1号口絵	実業之日本社	1914年1月
佐々木林風	《落日の郊外》『少女の友』第6巻第13号口絵	実業之日本社	1913年11月
佐々木林風	《二月の園》『婦人世界』第7巻第2号口絵	実業之日本社	1912年2月
佐々木林風	《ダリヤの花》『女學世界』第12巻第11号表紙	博文館	1912年8月
佐々木林風	《街頭のたそがれ》『婦人世界』第7巻第14号口絵	実業之日本社	1912年12月
佐々木林風	《日本名婦双六》『婦人世界』第8巻第1号新年附録	実業之日本社	1913年1月
佐々木林風	《梅が香》『婦人世界』第8巻第2号表紙	実業之日本社	1913年2月
佐々木林風	《写真帖》『婦人世界』第8巻第4号口絵	実業之日本社	1913年3月
佐々木林風	《河岸》『婦人世界』第8巻第7号表紙	実業之日本社	1913年6月
佐々木林風	《西瓜》『婦人世界』第8巻第9号口絵	実業之日本社	1913年8月
佐々木林風	《コスモス》『婦人世界』第8巻第11号表紙	実業之日本社	1913年10月
佐々木林風	《糸とる女》『婦人世界』第8巻第12号秋季増刊表紙	実業之日本社	1913年10月
佐々木林風	《龍田川》『婦人世界』第8巻第13号表紙	実業之日本社	1913年11月
佐々木林風	《薄茶》『婦人世界』第8巻第14号表紙	実業之日本社	1913年12月
佐々木林風	《花づくし双六》『婦人世界』第9巻第1号新年附録	実業之日本社	1914年1月
佐々木林風	《春の鳥》『婦人世界』第9巻第4号春季増刊表紙	実業之日本社	1914年3月
佐々木林風	《寒牡丹》『婦人世界』第9巻第14号表紙	実業之日本社	1914年12月
佐々木林風	《雛祭》『婦人世界』第10巻第3号表紙	実業之日本社	1915年3月
佐々木林風	『婦人世界』第10巻第14号表紙	実業之日本社	1915年12月
佐々木林風	《五月の空》『少年世界』第22巻第5号口絵	博文館	1916年5月
佐々木林風	《明月》『婦人世界』第11巻第10号口絵	実業之日本社	1916年9月
佐々木林風	《日本晴》『少年世界』第22巻第11号口絵	博文館	1916年11月
佐々木林風	《辰の新年》雑誌口絵		
佐々木林風	《富士山》『新少女』第4巻第7号表紙	婦人之友社	1918年7月
佐々木林風	『日本少年』絵はがき7点	実業之日本社	
佐々木林風	『少女の友』絵はがき5点	実業之日本社	
佐々木林風	《不忍のゆふべ》『幼年の友』絵はがき	博文館	
佐々木林風	《御国の花》『少女の友』第7巻第11号口絵	実業之日本社	1914年10月
佐々木林風	《湖畔》『少女の友』第6巻第5号口絵	実業之日本社	1913年4月
佐々木林風	《野分のあと》『少女の友』第6巻第11号口絵	実業之日本社	1913年10月
佐々木林風	《夏の宵》『少女の友』第7巻第8号口絵	実業之日本社	1914年7月
佐々木林風	《鳥の声》『少女の友』第5巻第2号口絵	実業之日本社	1912年2月か
佐々木林風	《落花の下》『少女の友』第5巻第4号口絵	実業之日本社	1912年4月
佐々木林風	《海風》『少女の友』第7巻第9号口絵	実業之日本社	1914年8月か
佐々木林風	《とりいれのひまの小春》『少女の友』第7巻第13号口絵	実業之日本社	1914年11月か
佐々木林風	《若葉の頃》『少女の友』第6巻第7号口絵	実業之日本社	1913年6月

佐々木林風	《月見草》『少女の友』第6巻第8号口絵	実業之日本社	1913年7月
佐々木林風	《藤の花を取らんとして》『少女の友』第7巻第6号口絵	実業之日本社	1914年5月か

作家達のイマジュリイ

和田英作	川上瀧彌 森廣『はな』挿画	裳華房	1902年/1903年 [3版]
藤島武二	川上瀧彌 森廣『はな』挿画5点	裳華房	1902年/1903年 [3版]
藤島武二	『文庫』第19巻第3号表紙	内外出版協会	1902年1月
藤島武二	『中学世界』第8巻第1号表紙	博文館	1905年1月
藤島武二	『芸文』第3年第11号表紙	鶏声堂書店	1912年11月
藤島武二	『芸文』第4年第6号表紙	鶏声堂書店	1913年6月
藤島武二	『三田文学』第2巻第8号表紙	三田文学会	1911年8月
藤島武二	『明星』第11号表紙	東京新詩社	1901年2月
藤島武二	『明星』卯歳第9号表紙	東京新詩社	1903年9月
藤島武二	『明星』辰歳第12号表紙	東京新詩社	1904年12月
藤島武二	与謝野晶子『春泥集』装幀	金尾文淵堂	1911年/1913年 [7版]
藤島武二	与謝野晶子『青海波』装幀	友朋館	1912年
藤島武二	与謝野晶子『夏より秋へ』装幀	金尾文淵堂	1914年
藤島武二	与謝野寛『鴉と雨』装幀	東京新詩社	1915年
藤島武二	与謝野寛『鴉と雨』口絵	東京新詩社	1915年
藤島武二	与謝野晶子『晶子短歌全集 第1』装幀	新潮社	1919年/1926年 [6版]
藤島武二	与謝野晶子『晶子短歌全集 第1』口絵	新潮社	1919年/1926年 [6版]
藤島武二	与謝野晶子『晶子短歌全集 第2』装幀	新潮社	1920年
橋口五葉	夏目漱石『吾輩八猫デアル 上編』装幀	大倉書店 服部書店	1905年/1908年 [13版]
橋口五葉	夏目漱石『吾輩八猫デアル 上編』挿画2点	大倉書店 服部書店	1905年/1908年 [13版]
橋口五葉	夏目漱石『吾輩八猫デアル 下編』装幀	大倉書店 服部書店	1907年/1907年 [3版]
橋口五葉	夏目漱石『寸珍 吾輩八猫デアル』装幀	大倉書店	1911年/1919年 [57版]
橋口五葉	『音楽』9巻2号表紙	楽友社	1905年12月
橋口五葉	『音楽』9巻3号表紙	楽友社	1906年1月
橋口五葉	『音楽』9巻4号表紙	楽友社	1906年2月
橋口五葉	『ホトトギス』第8巻第7号表紙	ほととぎす発行所	1905年4月
橋口五葉	『ホトトギス』定期増刊第1冊表紙	ほととぎす発行所	1910年4月
橋口五葉	夏目漱石『濠虚集』挿画5点	大倉書店 服部書店	1906年/1914年 [訂正第8版]
橋口五葉	挿画3点		
橋口五葉	渡辺霞亭『緑園叢書巻之一 木村長門守』装幀	金尾文淵堂	1908年
橋口五葉	与謝野晶子『まひごろも』挿画	天弦堂書房	1916年
橋口五葉	鈴木三重吉『返らぬ日』挿画	春陽堂	1912年
橋口五葉	テニソン/深江種明訳『女子大学』装幀	東西社	1907年
橋口五葉	テニソン/深江種明訳『女子大学』挿画	東西社	1907年
橋口五葉	渡辺霞亭『緑園叢書巻之一 木村長門守』挿画	金尾文淵堂	1908年
橋口五葉	夏目漱石『草合』装幀	春陽堂	1908年
橋口五葉	イ・エス・ツルゲネフ/二葉亭四迷訳『うき草』装幀	金尾文淵堂	1908年
橋口五葉	シエンキウヰツ/内田魯庵訳『二人畫工』装幀	金尾文淵堂	1909年
橋口五葉	三好学『日本之植物界』装幀	丸善	1910年
橋口五葉	徳田秋声『我子の家』装幀	春陽堂	1911/1913年 [10版]
橋口五葉	鈴木三重吉『返らぬ日』装幀	春陽堂	1912年
橋口五葉	鈴木三重吉『小鳥乃巢』装幀	春陽堂	1912年
橋口五葉	金子薫園『歌文新話』装幀	啓成社	1912年
橋口五葉	谷崎潤一郎『羹』挿画	春陽堂	1913年
橋口五葉	森鷗外訳『十人十話』装幀	実業之日本社	1913年/1913年 [再版]
橋口五葉	日本郵船パンフレット『NIPPON YUSEN KAISHA』		1914~1915年
橋口五葉	永井荷風『縮刷 紅茶の後』表紙	初山書店	1916年
橋口五葉	永井荷風『縮刷 すみた川』表紙	初山書店	1916年
橋口五葉	吉井勇『毒うつき』装幀	南光書院	1918年
坂本繁二郎	三木露風『詩集 白き手の獵人』装幀	東雲堂書店	1913年
坂本繁二郎	三木露風『詩集 白き手の獵人』挿画3点	東雲堂書店	1913年
坂本繁二郎	三木露風『詩集 良心』装幀	白日社	1915年
坂本繁二郎	三木露風『詩集 良心』挿画	白日社	1915年
坂本繁二郎	『マロニア原色版画集』挿画		1913年頃
坂本繁二郎	『墨刷画譜』挿画2点		1913年頃
坂本繁二郎	三木露風『芦間の幻影』装幀	新潮社	1920年
杉浦非水	杉浦非水『非水図按集』第一集画集	金尾文淵堂	1915年
杉浦非水	《レタータブレットの表紙》『非水月刊図按』第1巻第1号附録1	金尾文淵堂	1918年11月
杉浦非水	『非水月刊図按』第1巻第1号附録4カット2種	金尾文淵堂	1918年11月
杉浦非水	巖谷小波『子宝』装幀	三越呉服店	1909年
杉浦非水	笹川臨風『日蓮上人』装幀	同文館	1912年/1913年 [再版]
杉浦非水	柳川春葉『生さぬなか』上巻装幀	金尾文淵堂	1913年/1913年 [26版]
杉浦非水	柳川春葉『生さぬなか』中巻装幀	金尾文淵堂	1913年/1913年 [再版]
杉浦非水	柳川春葉『生さぬなか』下巻装幀	金尾文淵堂	1913年
杉浦非水	徳富蘆花/アサ・ロイドフォン・ファロット 小野秀太郎 訳『英訳 自然と人生』装幀	弘学館書店	1913年

杉浦非水	安田禄造『新式日本図案の応用』装幀	同文館	1913年
杉浦非水	ベスタロッツ/野田豊実「教育小説 愛と操 上巻」装幀	隆文館	1914年
杉浦非水	菊池幽芳「お夏文代」装幀	春陽堂	1915年
杉浦非水	高峰博「夢学」装幀	有文堂書店	1917年/1917年[訂正再版]
杉浦非水	桜井忠温「十字路」装幀	新橋堂	1915年
杉浦非水	尾崎紅葉/アサ・ロイド訳「英訳 金色夜叉」装幀	誠文堂	1917年/1917年[再版]
杉浦非水	ア・ヒッピーウス/飯塚半衛訳「児童と其教養」装幀	大日本文明協会	1920年
杉浦非水	黒田鵬心「人生と趣味」装幀	誠文堂書店	1920年
杉浦非水	『東京』第1巻第1号表紙	実業之日本社	1924年9月
杉浦非水	『東京』第1巻第4号表紙	実業之日本社	1924年12月
杉浦非水	『東京』第2巻第3号表紙	実業之日本社	1925年3月
杉浦非水	『中学美育教典創作一般2』表紙	岩田徳太郎 晩成處	1926年/1927年[訂正再版]
杉浦非水	『信託実話』表紙	三井信託	1927年頃
杉浦非水	大阪子ども研究会編「わが子の歴史」装幀	三越大阪支店	1928年/1936年[8版]
杉浦非水	大阪子ども研究会編「わが子の歴史」装幀	三越大阪支店	1928年/1934年[改訂増補]
杉浦非水	山脇敏子「嫁入叢書 手芸篇」装幀	実業之日本社	1929年
杉浦非水	『高等女学校用 日本図書』4巻表紙	大日本図書	1930年/1930年[訂正再版]
杉浦非水	『郵楽』第1巻第7号表紙	東京郵楽会	1915年2月
杉浦非水	『郵楽』第4巻第12号表紙	東京郵楽会	1918年7月
杉浦非水	『非水図按絵葉かき』第1期第3号袋	上方屋平和堂	1915年4月
杉浦非水	《花売》『非水図按絵葉かき』第1期第3号	上方屋平和堂	1915年4月
杉浦非水	『非水図按絵はかき』第1期第8号袋	上方屋平和堂	1915年10月
杉浦非水	《七面鳥》『非水図按絵はかき』第1期第8号	上方屋平和堂	1915年10月
杉浦非水	《梢の秋》『非水図按絵はかき』第1期第8号	上方屋平和堂	1915年10月
杉浦非水	《サンタクロース》『非水図按絵はかき』第1期第9号	上方屋平和堂	1915年12月
杉浦非水	《響子粟》『非水図按絵はかき』	上方屋平和堂	1915年頃
杉浦非水	《極光》『非水図按絵はかき』第2期第6号	上方屋平和堂	1916年8月
杉浦非水	『みつこしタイムス』第10巻第11号表紙	三越呉服店	1912年10月
杉浦非水	『みつこしタイムス』第11巻第12号表紙	三越呉服店	1913年10月
杉浦非水	『みつこしタイムス』第11巻第15号表紙	三越呉服店	1913年12月
杉浦非水	『みつこしタイムス』第12巻第1号表紙	三越呉服店	1914年1月
杉浦非水	『みつこしタイムス』第12巻第2号表紙	三越呉服店	1914年2月
杉浦非水	『三越』第6巻第5号表紙	三越呉服店	1916年5月
杉浦非水	『三越』第6巻第10号表紙	三越呉服店	1916年10月
杉浦非水	『三越』第20巻第11号表紙	三越	1930年11月
杉浦非水	『三越』第11巻第6号表紙	三越	1931年6月
杉浦非水	『三越』第22巻第5号表紙	三越	1932年5月
杉浦非水	『三越』第22巻第6号表紙	三越	1932年6月
杉浦非水	『三越』第22巻第7号表紙	三越	1932年7月
杉浦非水	『三越』第22巻第11号表紙	三越	1932年11月
杉浦非水	たばこ包装紙「光」	専売局	1937年
杉浦非水	たばこ包装紙「響」	専売局	1939年
杉浦非水	たばこ包装紙「日光」	専売局	1949年頃
竹久夢二	高嶋平三郎編『児童を誣へる文学』装幀	洛陽堂	1910年
竹久夢二	『唯我心悩ぞ知らぬ』（セノオ楽譜27番）表紙	セノオ音楽出版社	1916年/1924年[6版]
竹久夢二	『揺籃』（セノオ楽譜55番）表紙	セノオ音楽出版社	1917年/1922年[3版]
竹久夢二	『汝が碧き眼を開け』（セノオ楽譜56番）表紙	セノオ音楽出版社	1917年/1927年[7版]
竹久夢二	『歌劇カルメン/ハバナの歌』（セノオ楽譜28番）表紙	セノオ音楽出版社	1917年/1927年[7版]
竹久夢二	『歌劇椿姫』（セノオ楽譜53番）表紙	セノオ音楽出版社	1917年/1924年[9版]
竹久夢二	『涙』（セノオ楽譜94番）表紙	セノオ音楽出版社	1918年/1924年[4版]
竹久夢二	『交響間奏楽』（セノオバイオリン楽譜522番）表紙	セノオ音楽出版社	1920年
竹久夢二	『歌劇ホフマンの物語 船うた（改訂版）』（セノオ楽譜16番）表紙	セノオ音楽出版社	1920年/1927年[11版]
竹久夢二	『聖楽「創造曲」』（セノオ楽譜233番）表紙	セノオ音楽出版社	1923年
竹久夢二	『ハレルヤ合唱』（ビクターガクフ1番）表紙	ビクター音楽出版社	1924年
竹久夢二	『歌劇カヴァレリア/ルスチカ 交響間奏楽アヴェマリア』（セノオ楽譜333番）表紙	セノオ音楽出版社	1924年
竹久夢二	『独唱ラルゴー』（セノオ楽譜366番）表紙	セノオ音楽出版社	1924年
竹久夢二	『女声二部合唱 天使』（セノオ楽譜367番）表紙	セノオ音楽出版社	1924年
竹久夢二	『遙かなるサンタ・ルチア（ナポリ民謡）』（セノオ楽譜457番）表紙	セノオ音楽出版社	1924年
竹久夢二	『潮来出島』（セノオ楽譜449番）表紙	セノオ音楽出版社	1926年
竹久夢二	『乙女のながひ』（セノオ楽譜459番）表紙	セノオ音楽出版社	1927年
竹久夢二	『鏡影』（セノオ楽譜460番）表紙	セノオ音楽出版社	1927年
竹久夢二	『中央文学』第2年第4号表紙	春陽堂	1918年4月
竹久夢二	『中央文学』第2年第12号表紙	春陽堂	1918年12月
竹久夢二	竹久夢二『夢二画集』	三英堂書店	1919年
竹久夢二	『美術と文芸』第18号柳屋の巻表紙	柳屋画廊	1921年8月
竹久夢二	『美術と文芸』第19号白蓮の巻表紙	柳屋画廊	1921年12月
竹久夢二	西出朝風『青春の日に』装幀	純正詩社	1924年
竹久夢二	正宗白鳥『白鳥傑作集』第3巻装幀	新潮社	1924年
竹久夢二	《涼しき装ひ》『三越』第15巻6号挿画	三越呉服店	1925年6月

竹久夢二	《野遊》『三越』第15巻10号挿画	三越呉服店	1925年10月
竹久夢二	『婦人グラフ』第2巻第1号表紙	国際情報社	1925年1月
竹久夢二	『婦人グラフ』第2巻第2号表紙	国際情報社	1925年2月
竹久夢二	『婦人グラフ』第2巻第3号表紙	国際情報社	1925年3月
竹久夢二	『少女の友』第20巻第4号表紙	実業之日本社	1927年4月
竹久夢二	藤村耕一 編『令女日記』装幀	宝文館	1927年
竹久夢二	阿里吉子『家庭科学大系34 毛糸編物』装幀	文化生活研究会	1927年
竹久夢二	『若草』第4巻第11号表紙	宝文館	1928年11月
竹久夢二	西條八十主宰『蠟人形』第2巻第2号表紙	蠟人形社	1931年2月
竹久夢二	西條八十主宰『蠟人形』第2巻第3号表紙	蠟人形社	1931年3月
竹久夢二	佐伯孝夫『青春詩集』装幀	宝文館	1934年
竹久夢二	『柳屋』第57号表紙	柳屋画廊	1937年12月
小林かいち	《灰色のカーテン》絵はがき4点	さくら井屋	1925~1926年頃
小林かいち	《君待つ宵》絵はがき4点	さくら井屋	1925~1926年頃
小林かいち	《二号街の女》絵はがき4点	さくら井屋	1925~1926年頃
小林かいち	《彼女の青春》絵はがき4点	さくら井屋	1925~1926年頃
小林かいち	絵封筒28点	さくら井屋	大正末~昭和初期
小林かいち他	絵封筒コレクション		大正~昭和初期
高島華宵	『少女の国』第1巻第6号表紙	少女の国社	1926年6月
高島華宵	『少女の国』第1巻第9号表紙	少女の国社	1926年9月
高島華宵	『少女の国』第1巻第10号表紙	少女の国社	1926年10月
高島華宵	『少女の国』第1巻第11号表紙	少女の国社	1926年11月
高島華宵	『少女の国』第1巻第12号表紙	少女の国社	1926年12月
高島華宵	『少女の国』第2巻第1号表紙	少女の国社	1927年1月
高島華宵	『少女の国』第2巻第5号表紙	少女の国社	1927年5月
高島華宵	『少女の国』第2巻第4号表紙	少女の国社	1927年4月
高島華宵	『少女の国』第2巻第9号表紙	少女の国社	1927年9月
高島華宵	『少女の国』第3巻第2号表紙	少女の国社	1927年8月
高島華宵	『少女の国』第2巻第12号表紙	少女の国社	1927年12月
高島華宵	『少女の国』第2巻第6号表紙	少女の国社	1927年6月
高島華宵	『少女画報』第16巻第5号表紙	東京社	1927年5月
高島華宵	『少女画報』第16巻第4号表紙	東京社	1927年4月
高島華宵	『少女画報』第16巻第6号表紙	東京社	1927年6月
高島華宵	『少女画報』第16巻第7号表紙	東京社	1927年7月
高島華宵	『少女画報』第17巻第10号表紙	東京社	1928年10月
高島華宵	『少女画報』第16巻第3号表紙	東京社	1927年3月
高島華宵	『少女画報』第17巻第9号表紙	東京社	1928年9月
高島華宵	『少女画報』第17巻第11号表紙	東京社	1928年11月
高島華宵	『少女画報』第17巻第3号表紙	東京社	1928年3月
高島華宵	『少女画報』第17巻第2号表紙	東京社	1928年2月
高島華宵	『少女画報』第17巻第1号表紙	東京社	1928年1月
高島華宵	『少女画報』第16巻第8号表紙	東京社	1927年8月
高島華宵	『少女画報』第17巻第4号表紙	東京社	1928年4月
高島華宵	『少女画報』第17巻第5号表紙	東京社	1928年5月
高島華宵	『少女画報』第17巻第7号表紙	東京社	1928年7月
高島華宵	『少女画報』第17巻第6号表紙	東京社	1928年6月
高島華宵	雑誌口絵7点		
高島華宵	雑誌挿画6点		
落谷虹児	落谷虹児『睡蓮の夢』*	交蘭社	1924年/1925年[13版]
落谷虹児	落谷虹児『悲しき微笑』*	交蘭社	1924年
落谷虹児	落谷虹児『銀砂の汀』*	交蘭社	1924年/1926年[7版]
落谷虹児	落谷虹児『私の画集』*	交蘭社	1925年/1925年[5版]
落谷虹児	落谷虹児『私の詩画集』*	交蘭社	1925年
落谷虹児	落谷虹児『私の詩画集』	交蘭社	1925年
落谷虹児	『少女画報』第10巻第11号表紙	東京社	1921年11月
落谷虹児	『少女民謡はぐれ鳥』(『令女界』第3巻第2号附録)表紙	宝文館	1924年2月
落谷虹児	『磯の飛沫』(『令女界』第4巻第8号附録)表紙	宝文館	1922年3月
落谷虹児	沖野岩三郎『白路を見つめて』装幀	大阪屋号書店	1923年/1923年[3版]
落谷虹児	落谷虹児『睡蓮の夢』挿画3点	交蘭社	1924年/1925年[13版]
落谷虹児	落谷虹児『睡蓮の夢』	交蘭社	1924年/1925年[13版]
落谷虹児	落谷虹児『私の画集』	交蘭社	1925年
落谷虹児	落谷虹児『私の画集』挿画12点	交蘭社	1925年
落谷虹児	《巴里の燭火》便箋表紙		大正末~昭和初期
落谷虹児	《モンマルトルの夜》便箋表紙		大正末~昭和初期
落谷虹児	《仏蘭西人形》便箋表紙		大正末~昭和初期
落谷虹児	《鈴蘭と勿忘草》便箋表紙		大正末~昭和初期
落谷虹児	《花更紗》便箋表紙		大正末~昭和初期
落谷虹児	《仏蘭西の古典》便箋表紙		大正末~昭和初期

落谷虹児	便箋5点		大正末~昭和初期
落谷虹児	ゼムス・ボイド/金原舜二訳『進軍』装幀	世界社	1929年/1930年[40版]
落谷虹児	『最新少女手芸』(『少女倶楽部』新年号第9巻第1号附録)表紙	大日本雄弁会講談社	1931年1月
落谷虹児	『ソルヴェエグの歌』表紙	ヒカリ音楽出版	1946年
落谷虹児	《人魚の歎き》絵はがき		
落谷虹児	『震災画報第4集 復興編絵はがき(再版)』	上方屋平和堂	
落谷虹児	『虹児画譜 第1集』絵はがき3点、袋		
橘小夢	矢田挿雲『江戸から東京へ(8)』装幀	東光閣書店	1924年/1924年[6版]
橘小夢	矢田挿雲『地から出る月』装幀	東光閣書店	1924年/1924年[再版]
橘小夢	矢田挿雲『沢村田之助』装幀	報知新聞社出版部	1925年
橘小夢	版画《沢村田之助》『橘小夢版画選』	夜華異相画房版	1934年
橘小夢	版画《さゆめ版画 高野の聖》	夜華異相画房	1935年
橘小夢	《唐人お吉》『名作挿画全集第6巻』挿画	平凡社	1935年
橘小夢	版画《小夜福子》		1935年頃
橘小夢	版画《水の江瀧子》		1935年頃
橘小夢	版画《津坂オリエ》		1935年頃
水島爾保布	《新彩色 大津絵葉書》8点(5枚一組2種・計10点のうち)	文禄堂	1905年
水島爾保布	吉井勇『芝居歌集 鸚鵡石』挿画	玄文社	1918年
水島爾保布	谷崎潤一郎『人魚の嘆き 魔術師』挿画	春陽堂	1919年
水島爾保布	水島爾保布『東海道五十三次 附瀬戸内海』装幀 *	金尾文淵堂	1920年
水島爾保布	《網渡りの女》『週刊朝日』第3巻第10号挿画	朝日新聞社	1923年2月
水島爾保布	《蛇遣ひの女》『週刊朝日』第3巻第10号挿画	朝日新聞社	1923年2月
水島爾保布	南雄三『硝子張りの中の人』装幀	東京堂	1923年
水島爾保布	《海豹を飼ふ女》『週刊朝日』第3巻第11号挿画	朝日新聞社	1923年3月
水島爾保布	《マリオネット》『週刊朝日』第3巻第12号挿画	朝日新聞社	1923年3月
水島爾保布	《ピストルを持つ女》『週刊朝日』第3巻第16号挿画	朝日新聞社	1923年4月
水島爾保布	《みなそこ》『週刊朝日』第4巻第2号夏季特別号表紙	朝日新聞社	1923年7月
水島爾保布	《曲独楽》『週刊朝日』第4巻第10号	朝日新聞社	1923年8月
水島爾保布	水島爾保布『痴語』装幀、扉絵、挿画	金尾文淵堂	1924年
水島爾保布	水島爾保布『新東京繁昌記 附大阪繁昌記(改訂版)』装幀、扉絵	日本評論社	1924年
水島爾保布	《踊り子》『週刊朝日』第6巻第6号	朝日新聞社	1924年8月
水島爾保布	石川欣一『煙草とパイプ』扉絵	郊外社	1925年
水島爾保布	『妖女乱舞』『現代大衆文学全集 第12巻 甲賀三郎集』挿画	平凡社	1929年
水島爾保布	『阿修羅地獄』『現代大衆文学全集 第12巻 甲賀三郎集』挿画	平凡社	1929年
古賀春江	『中央美術』第14巻第7号表紙	中央美術社	1928年7月
古賀春江	『新美術講座洋画科』第4巻装幀	中央美術社	1928年
古賀春江	中村武羅夫『蒼白き薔薇』装幀	新潮社	1929年
古賀春江	《船と人物》『セレクト』第1巻第1号表紙	セレクト社	1930年1月
古賀春江	十一谷義三郎『キヤベツの倫理』装幀	新潮社	1930年
古賀春江	平林たい子『耕地(新鋭文学叢書)』装幀	改造社	1930年
古賀春江	『香蘭』第9巻第1号表紙	香蘭詩社	1931年1月
岸田劉生	武者小路実篤『カチカチ山と花咲翁』装幀	阿蘭陀書房	1917年
岸田劉生	武者小路実篤『幸福者』装幀	叢文閣	1919年/1920年[14版]
岸田劉生	武者小路実篤『人間の生活』装幀	叢文閣	1920年
岸田劉生	『白樺』第11年4月号表紙	白樺社	1920年4月
岸田劉生	長与善郎『或る人々』装幀	春陽堂	1920年/1920年[再版]
岸田劉生	『白樺』第12年5月号表紙	白樺社	1921年5月
岸田劉生	『生長する星の群』第1年第7号表紙	新しき村出版部 曠野社	1921年10月
岸田劉生	登張信一郎『如是経序品』装幀	星文館書店	1921年
岸田劉生	『白樺』第12年11月号表紙	白樺社	1921年11月
岸田劉生	武者小路実篤『燃ゆる林』装幀	曠野社	1922年/1922年[再版]
岸田劉生	『生長する星の群』第2年第5号表紙	新しき村出版部 曠野社	1922年5月
岸田劉生	忽滑谷快天『悟りの生活 達人達観』装幀	星文館書店	1922年
岸田劉生	佐藤春夫『詩文集 我が一九二二年』装幀	新潮社	1923年
岸田劉生	武者小路実篤『第三の隠者の運命』装幀	新しき村出版部 曠野社	1923年
岸田劉生	木下利玄『一路』装幀	竹柏会	1924年
岸田劉生	南江二郎『詩文集 南枝の花』装幀	新潮社	1927年
岸田劉生	武者小路実篤編『大調和』正月号表紙	春秋社	1928年1月
岸田劉生	東京日日新聞社編『大東京繁昌記 下町篇』挿画16点	春秋社	1928年
岸田劉生	佐藤春夫編代表者『十年』表紙	改造社	1929年
広川松五郎	尾山篤二郎編著『大正一万歌集』装幀	岡村書店	1914年
広川松五郎	森口多里『異端の画家』装幀	日本美術学院	1920年
広川松五郎	与謝野晶子『旅の歌』装幀	日本評論社出版部	1921年
広川松五郎	尾山篤二郎『西行法師全集』装幀	春陽堂	1922年
広川松五郎	与謝野晶子『草の夢』装幀	日本評論社出版部	1922年
広川松五郎	『自然』第2巻第1号表紙	自然詩社編所	1923年9月
広川松五郎	宮沢賢治『春と修羅』装幀	関根書店	1924年
広川松五郎	尾山篤二郎『歌集 白圭集』装幀	紅玉堂書店	1928年
広川松五郎	与謝野晶子『感想集 光る雲』装幀	実業之日本社	1928年/1928年[再版]

広川松五郎	『冬柏』第1巻第6号表紙	冬柏	1930年8月
広川松五郎	与謝野晶子『随筆 街頭に送る』装幀	大日本雄弁会講談社	1931年
広川松五郎	『冬柏』第2巻第3号表紙	冬柏	1931年2月
広川松五郎	『冬柏』第3巻第9号表紙	冬柏	1932年8月
広川松五郎	高橋英子『歌集 橘』装幀	交蘭社	1937年
広川松五郎	尾山篤二郎編『大正一万歌集』装幀	岡村書店	1914年/1925年[15版異装版]
広川松五郎	尾山篤二郎編『大正一万歌集』装幀	岡村書店	1914年/1920年[10版]
広川松五郎	森口多里 林いと子『文化的住宅の研究』装幀	アルス	1922年/1922年[4版]
広川松五郎	川路柳虹『詩集 かなたの空』装幀	東雲堂書店	1928年
富本憲吉	『全人』第1巻第2号表紙	イデア書院	1926年8月
富本憲吉	『とりで』第2号表紙	とりで社	1913年1月
富本憲吉	『番紅花』第1巻第6号表紙	東雲堂書店	1914年8月
富本憲吉	ラビン・ドラナアト・タアゴル/増野三良訳『新月』装幀	東雲堂書店	1915年/1916年[再版]
富本憲吉	大下春子『みつゑ』第133号表紙	春鳥会	1916年3月
富本憲吉	沖野岩三郎『煉瓦の雨』装幀	福永書店	1918年/1918年[再版]
富本憲吉	『柳屋』第21号宣伝の巻表紙	柳屋画廊	1922年12月
富本憲吉	『美術と文芸』第20号図案の巻表紙	柳屋画廊	192年5月
富本憲吉	『白樺』第14年第7号表紙	白樺社	1923年7月
富本憲吉	『山繭』第2巻第7号表紙	黙示社(山繭社)	1927年3月
富本憲吉	富本憲吉『楽焼工程』装幀	采文閣	1930年
富本憲吉	松本真一『血笑記』装幀	寒川・戸田奨学会	1972年
富本憲吉	富本憲吉『富本憲吉 模様集第一』	田中屋	1915年

江戸趣味のイマジュリイ

中沢弘光	岡野栄 中沢弘光 山本森之助 小林鍾吉 跡見泰『日本名勝写生紀行』装幀	中西屋書店	1910年
鏡木清方	佐々醒雪『俗曲評釈第3編 河東』口絵	博文館	1910年
鏡木清方	佐々醒雪『俗曲評釈第4編 上方唄』口絵	博文館	1910年
鏡木清方	佐々醒雪『俗曲評釈 小唄と端唄』口絵	博文館	1911年/1926 [再版]
落合芳麿	高須梅溪『近松の人々』口絵	岡村盛花堂	1914年/1918年[6版]
竹久夢二	高須梅溪『近松の人々』表紙	岡村盛花堂	1914年/1919年[7版]
橋口五葉	『浮世絵』第4号表紙	浮世絵社	1915年9月
小村雪岱	遅塚麗水『東京大観』装幀	有文堂書店	1916年
竹久夢二	『春の雨』(新小唄第2編)表紙	現代堂	1916年
竹久夢二	『青柳』(新小唄第34編)表紙	セノ音楽出版社	1920年
小村雪岱	岡本綺堂『両国の秋』装幀	平和出版社	1916年
	『風流友三味線 浮世草紙第4巻』装幀	浮世草紙刊行会	1917年
秦テルヲ	寺田雅一『南地情話』装幀	魁文堂	1917年
橋口五葉	版画 喜多川歌麿《婦人泊り客之図》復刻	岩波書店	1917~1919年頃
橋口五葉	『浮世絵』第34号表紙	浮世絵社	1918年3月
小村雪岱	泉鏡太郎『愛卿集』装幀	春陽堂	1918年
中沢弘光	長田幹彦『祇園』装幀	春陽堂	1923年
小村雪岱	尾崎久彌『浮世絵と麁類派』装幀	春陽堂	1925年/1926年[6版]
小村雪岱	久保田万太郎『寂しければ』装幀	春陽堂	1926年
小村雪岱	尾崎久彌『綵房綺言』装幀	春陽堂	1927年/1927年[再版]
中沢弘光	河井寛次郎他『京とこころ』装幀	金尾文淵堂	1928年
木村荘八	佐木味津三『小説集 小笠原峯崎守』表紙	柳書房	1932年
小村雪岱	三田村篤魚『大衆文芸評判記』装幀	汎文社	1933年
小村雪岱	『日曜報知』第189号挿画	報知新聞社	1934年2月
小村雪岱	『日曜報知』第214号挿画	報知新聞社	1935年2月
鏡木清方	《月 明治風俗美人》『主婦之友』第19巻第1号附録		1935年1月
伊東深水	《雪 大正風俗美人》『主婦之友』第19巻第1号附録		1935年1月
山川秀峰	《花 昭和風俗美人》『主婦之友』第19巻第1号附録		1935年1月
鏡木清方	『浮世絵界』第1巻第8号表紙	浮世絵同好会	1936年10月
鏡木清方	『浮世絵界』第2巻第10号表紙	浮世絵同好会	1937年10月
鏡木清方	『浮世絵界』第3巻第5号表紙	浮世絵同好会	1938年5月
伊東深水	『浮世絵界』第4巻第8号表紙	浮世絵同好会	1939年8月
西山翠嶂	『浮世絵界』第5巻第6号表紙	浮世絵同好会	1926年6月
小村雪岱	『春泥』第78号表紙	春泥社	1937年1月
水島爾保布	《鶯娘》『演芸画報』第31巻第2号表紙	演芸画報社	1937年2月
水島爾保布	正岡容『東京夜曲 影絵は踊る』装幀	新社社	1923年
小村雪岱	鈴木敏也『渡り鳥』装幀	目黒書店	1938年
小村雪岱	村松梢風『残菊物語』装幀	中央論社	1938年

新興デザインのイマジュリイ

蔵田周忠	『国際建築 特集・第1ル・コルビュジェ』第5巻第5号表紙	国際建築協会	1929年5月
	大下春子編『みつゑ』No.313表紙	春鳥会	1931年3月
	高橋春佳蒐集・図案研究会編『欧米一般応用図案五百集』より16点	図案研究会代表者 小西猪之助	1922年/1925年[3版]
	『技芸』第1巻第8号表紙	技芸社	1924年10月
	『技芸』第1巻第10号表紙	技芸社	1924年12月

中川紀元	『技芸』創刊号表紙	技芸社	1924年3月
木村和一	『技芸』第1巻第2号表紙	技芸社	1924年4月
	『技芸』第1巻第6号表紙	技芸社	1924年8月
普門暁	『柳屋』第25号表紙	柳屋画廊	1924年5月
岡田龍夫	萩原恭次郎『詩集 死刑宣告』装幀	長隆舎書店	1925/1926年〔再版〕
	『独逸展図録』表紙	朝日新聞社	1926年
太田三郎	矢田挿雲『世界放心遊記』装幀	東光閣書店	1926年
	『商店図案撰集 第1輯』より33点	誠文堂商店界社	1928年
	田中定志『切抜図案集 第1集』	アルト	1929年
	田中定志『切抜図案集 第2集』	アルト	1929年
	『美術雑誌 アトリエ』第7巻第12号表紙	アトリエ社	1930年12月
恩地孝四郎	『詩歌』第11巻第12号表紙	白日社	1930年12月
恩地孝四郎	『詩歌』第11巻第3号表紙	白日社	1930年3月
恩地孝四郎	『詩歌』第11巻第6号表紙	白日社	1930年6月
恩地孝四郎	『詩歌』第12巻第3号表紙	白日社	1931年3月
恩地孝四郎	『詩歌』第12巻第4号表紙	白日社	1931年4月
恩地孝四郎	『詩歌』第12巻第6号表紙	白日社	1931年6月
恩地孝四郎	『詩歌』第18巻11号表紙	白日社	1937年11月
恩地孝四郎	『詩歌』第18巻第1号表紙	白日社	1937年1月
恩地孝四郎	『詩歌』第18巻第4号表紙	白日社	1937年4月
恩地孝四郎	『詩歌』第18巻第7号表紙	白日社	1937年7月
	『美術雑誌 アトリエ』第7巻第1号表紙	アトリエ社	1930年1月
恩地孝四郎	『詩歌』第19巻第9号表紙	白日社	1938年9月
恩地孝四郎	『学校と家庭 ももその』13号表紙	桃園第二小学校	1930年3月
恩地孝四郎	『学校と家庭 ももその』14号表紙	桃園第二小学校	1930年6月
恩地孝四郎	『学校と家庭 ももその 創立十週年紀念集』17号表紙	桃園第二小学校	1931年10月
恩地孝四郎	『学校と家庭 ももその』18号表紙	桃園第二小学校	1931年12月
恩地孝四郎	『学校と家庭 ももその』16号表紙	桃園第二小学校	1931年3月
恩地孝四郎	『学校と家庭 ももその』19号表紙	桃園第二小学校	1932年3月
恩地孝四郎	『みづゑ』No.322表紙	春鳥会	1931年12月
吉村幸一郎	吉村幸一郎『創作文様集』より20点	平凡社	1933年
	『パレット画集第4号』表紙	小西六本店	1935年6月
渋谷修	渋谷修『表現模様集(仮題)』より12点		大正後期
	マッチラベル35点	日光食堂ほか	
	高梨由太郎編『フランク・ロイド・ライト作品集(三)』装幀	洪洋社	1927年
大衆文化のイマジユリ			
山田伸吉	ポスター「大舞踏劇 火の鳥」	松竹座	1924年
	ポスター「3悪人」	松竹座	
	ポスター「ラケル・メレエのカルメン」	新宿武蔵野館/浅草帝国館	1927年
	ポスター「名画週間 冬来りなば」	松竹座	
	ポスター「石井漢 石井小浪 舞踏公演8番」	松竹座	
	パンフレット「新興の新宿へ 河合ダンス初進出」	新宿 新歌舞伎座	1931年
	パンフレット「河合ダンス1931年秋季新作発表公演」	新宿 新歌舞伎座	1931年
	絵はがき「スケルトン・ワルツ 駒菊(河合ダンス)」		大正末～昭和初期
	絵はがき「大阪新日報社主催 南地河合ダンス大会記念 ルシヤンパール」		大正末～昭和初期
	絵はがき「美女の舞(河合ダンス) アツシリアン 駒菊」	新京極松竹座	大正末～昭和初期
	絵はがき「美女の舞(河合ダンス) アマリラ 駒菊 里三」	新京極松竹座	大正末～昭和初期
村山知義	『AOI WEEKLY No.143』表紙	ユ社連営葵館	1927年7月
村山知義	『AOI WEEKLY No.150』表紙	ユ社連営葵館	1927年8月
	『WEEKLY MUSASHINO Vol.10 No.22』表紙	武蔵野館	1930年5月
	『WEEKLY MUSASHINO Vol.10 No.26』表紙	武蔵野館	1930年6月
AZU	「カジノフォーリーレヴュー 舞踏団第42回公演」	浅草水族館	1929～1933年
山口源	版画《浅草》『版画集 上野・浅草』より	日本木版画協会	1931年
	『松竹座ニュース』13号表紙	道頓堀松竹座	1923年9月
	『松竹座ニュース』19号表紙	道頓堀松竹座	1923年11月
	『松竹座ニュース』21号表紙	道頓堀松竹座	1923年12月
	『松竹座ニュース』22号表紙	道頓堀松竹座	1923年12月
	『松竹座ニュース』II～VII号表紙	道頓堀松竹座	
	『松竹座ニュース』III～XXXIII号表紙	道頓堀松竹座	1924年12月
SHIN	『松竹座ニュース』12.8号表紙	道頓堀松竹座	1929年2月
	『松竹座ニュース』II X III号表紙	道頓堀松竹座	1924年3月
	『松竹座ニュース』II-X号表紙	道頓堀松竹座	1924年3月
	『松竹座ニュース』II XV号表紙	道頓堀松竹座	1924年4月
	『松竹座ニュース』II XX I号表紙	道頓堀松竹座	1924年5月
	『松竹座ニュース』II XX II号表紙	道頓堀松竹座	1924年5月
	『松竹座ニュース』V IV～VII号表紙	道頓堀松竹座	1925年2月
	『松竹座ニュース』III・V III号表紙	道頓堀松竹座	1925年2月
	『松竹座パンフレット』表紙	松竹座	1928年8月

山田伸吉	『松竹座ニュース』Ⅰ・Ⅶ表紙	東京浅草松竹座	1928年10月
	『松竹座ニュース』Ⅰ・Ⅷ表紙	東京浅草松竹座	1928年10月
山田伸吉	『松竹座ニュース』4.13表紙	神戸松竹座	1928年10月
霧	『松竹座ニュース』4.24表紙	神戸松竹座	1928年12月
山田伸吉	『松竹座ニュース』11.10表紙	道頓堀松竹座	1928年9月
	『松竹座パンフレット』1929表紙	松竹座	1929年
	『松竹座ニュース』13.20表紙	道頓堀松竹座	1929年11月
oka	『松竹座ニュース』12.10表紙	道頓堀松竹座	1929年2月
	『松竹座ニュース』13.10表紙	道頓堀松竹座	1929年9月
	『松竹座ニュース』15.14表紙	道頓堀松竹座	1930年10月
Takeshi	『松竹座ニュース』7.22表紙	神戸松竹座	1930年11月
	『松竹座ニュース』14.5表紙	道頓堀松竹座	1930年1月
	『松竹座ニュース』16.18表紙	道頓堀松竹座	1931年4月
	『松竹座ニュース』16.20表紙	道頓堀松竹座	1931年5月
OKA	『松竹座ニュース』16.23表紙	道頓堀松竹座	1931年6月
OKA	『松竹座ニュース』17.1表紙	道頓堀松竹座	1931年7月
	『松竹座ニュース』10.4表紙	神戸松竹座	1931年7月
	『松竹座パンフレット「支那街の夜」』表紙	松竹座	
	『松竹座ニュース』Ⅱ・Ⅴ表紙	道頓堀松竹座	
	『松竹座パンフレット「彼女は戦に行く」「名物三羽鳥」「ボナヴィタ氏の独唱」』表紙	松竹座	
	『松竹座パンフレット「ファウスト」』表紙	京都松竹座	
	『松竹座パンフレット「街の天使」』表紙	松竹座	
	『松竹座パンフレット「疑惑晴れて」』表紙	松竹座	
	『松竹座パンフレット「四人の悪魔」』表紙	松竹座	
	『松竹座パンフレット「舞踊と名画の…」』表紙	京都松竹座	
	『松竹座パンフレット「トーキー・ブック」』表紙	京都松竹座	
	『松竹座パンフレット「パンドラの箱」「最後の演技」』表紙	松竹座	
	『松竹座パンフレット「Sins of the Fathers」』表紙	松竹座	
和田英作	『音楽之友』第5巻第4号表紙	楽友社	1904年2月
和田英作	『音楽之友』第6巻第1号表紙	楽友社	1904年5月
和田英作	『音楽之友』第6巻第5号表紙	楽友社	1904年9月
斎藤佳三	『燕去りぬ』（セノオ楽譜80番）表紙	セノオ音楽出版社	1917年/1924年[3版]
竹久夢二	『悲しきワルツ』（セノオ楽譜59番）表紙	セノオ音楽出版社	1917年/1926年[5版]
在田稔	『旅は遙かよ』（新作小唄第3篇）表紙	山野楽器店	1919年
竹久夢二	『カルメン ジブシーの歌』（セノオ楽譜153番）表紙	セノオ音楽出版社	1919年/1924年[4版]
河村目呂二	『椰子の葉蔭』（新作小唄第14編）表紙	山野楽器店	1920年
河村目呂二	『椰子の葉蔭』（新作小唄第14編）表紙	山野楽器店	1920年/1922年[7版]
	『リベラのバルカローレ』（ハクビ・ハーモニカ楽譜NO.38）表紙	白眉出版社	1925年
恩地孝四郎	『ホームソングス1』表紙	イデア書院	1925年
恩地孝四郎	『ホームソングス2』表紙	イデア書院	1925年
岡本帰一	『ほたる』（青い鳥楽譜78篇）表紙	佐々木すぐる	1928年
恩地孝四郎	『和蘭陀船』（日響楽譜 No.153）表紙	日本交響楽協会出版部	1928年
斎藤佳三	『モダン節』（ビクターハーモニカ楽譜No.37）表紙	ビクター出版社	1929年
斎藤佳三	『糸はんへ』（日本ビクター楽譜No.3）表紙	ビクター出版社	1929年
斎藤佳三	『新小唄 金座金座』（ビクターハーモニカ楽譜No.25）表紙	ビクター出版社	1929年
	『映画小唄 山の凱歌』（松竹ハーモニカ楽譜No.2）表紙	松竹キネマ楽譜出版社	1929年
	『四條南座10月興行』表紙		1930年10月
	『宝塚国民座 脚本解説』第27号表紙	宝塚国民座 阪神急行電鉄株式会社	1929年5月
	『宝塚国民座 脚本解説』第30号表紙	宝塚国民座 阪神急行電鉄株式会社	1929年9月
岡本帰一	『女ジブシーの唄』（新作小唄第24篇別摺版）表紙	山野楽器店	大正期
久磨	『日活映画主題歌 唐人お吉の唄（黒船篇）』（アポロ特選楽譜No.1）表紙	アポロ出版社	1930年
斎藤佳三	『不壊の白珠』（ビクターハーモニカ楽譜No.43）表紙	ビクター出版社	1930年
	『松竹映画 微笑む人生』（松竹キネマ楽譜No.11）表紙	松竹キネマ楽譜出版社	1930年
斎藤佳三	『日活映画主題歌 新東京行進曲』（ビクターハーモニカ超特選楽譜No.1）表紙	ビクター出版社/日活宣伝部	1930年
斎藤佳三	『魔王』（セノオ楽譜243番）表紙	セノオ音楽出版社	1922年/1924年[再版]
田中良	『みどり』第24号表紙	宝塚女子友の会東京支部	1938年3月
杉浦非水	『みつこしタイムス』第12巻第3号表紙	三越呉服店	1914年3月
杉浦非水	『三越』第8巻第9号表紙	三越呉服店	1918年9月
	『松屋案内冬の御支度号』表紙	松屋呉服店	1926年10月
伊東深水	『マツサカヤ』11月号口絵	松坂屋名古屋店	1929年11月
	『松坂屋開店記念号 ファッションデパート 夏』表紙		
榎本千花俊	《春浅き銀座の舗道（新東京婦人風俗錦絵）その二》		昭和初期
	絵はがき「京都大丸新店舗」		
	絵はがき「大丸（OSAKA・KOBÉ・KYOTO）」		
	絵はがき「松屋呉服店」		
	絵はがき「新館完成ノ白木屋」		
	絵はがき「大丸京都店増築落成記念」		1935年
	絵はがき「京城名物三越百貨店」		
	絵はがき「東京銀座松屋呉服店」		

杉浦非水	『三越』第3巻第1号表紙	三越呉服店	1912年1月
杉浦非水	『御贈答用品案内』	三越呉服店	1922年7月
杉浦非水	『帝国劇場狂言番組』	帝国劇場	1926年11月
杉浦非水	『帝国劇場興行番組』	帝国劇場	1926年6月
杉浦非水	『帝国劇場興行番組』	帝国劇場	1927年6月
杉浦非水	『帝国劇場新国劇番組』	帝国劇場	1928年
杉浦非水	『帝国劇場筋書番組』	帝国劇場	1929年11月
杉浦非水	『帝国劇場興行番組』	帝国劇場	1931年8月
杉浦非水	『歌舞伎座番組』	歌舞伎座	1933年8月
杉浦非水	『三越催物御案内』	東京 三越	1935年5月
	京都岡重 羽裏模様原画		大正期
	京都岡重 羽裏模様原画		大正期
	扇子図案「トンボ」		大正末～昭和初期
	扇子図案「スズラン」		大正末～昭和初期
	扇子図案「花と鳥」		大正末～昭和初期
	扇子図案「スズランと人」		大正末～昭和初期
	扇子図案「ハート十字架」		大正末～昭和初期
	扇子図案「あでやかな鈴蘭」		大正末～昭和初期
	包装紙図案見本		大正末～昭和初期
	包装紙図案見本		大正末～昭和初期
	浴衣見本地「音楽名流好 名印 一刷 リズム浴衣」		
	浴衣見本地「東京生粋 小梅染 婦人倶楽部浴衣地」		
	Kanebo製地見本帳	鐘紡サービス株式会社通信販売部	昭和初期
	モスリン新色見本		1935年
鍋木清方	《襟おしろい》朝日カレンダー	東京朝日新聞	1914年7月
田中良	《浪がしら》朝日カレンダー	東京朝日新聞	1914年8月
島成園	《三日月》朝日カレンダー	東京朝日新聞	1914年9月
上村松園	《長夜》朝日カレンダー	東京朝日新聞	1914年11月
中沢弘光	《梅雨晴れの朝》朝日カレンダー	大阪朝日新聞	1924年6月
藤島武二	《マンドリンを弾く女》朝日カレンダー	大阪朝日新聞	1924年10月
和田英作	《窓の雪》朝日カレンダー	東京朝日新聞	1924年12月
山六郎	三上於菟吉『首都』装幀	プラトン社	1928年
木下茂	西村陽吉『歌集 第一の街』装幀	紅玉堂書店	1924年
狂乱舞	『燃える』第2号表紙	もえる	大正末
山六郎	岡田三郎『聖火』装幀	大日本雄弁会講談社	1927年/1927年[5版]
村山知義	内田穰吉『歌集 たたかひの獄』装幀	新興出版社	1948年
村山知義	村山知義『スカートをはいたネロ他11篇(村山知義第一戯曲集)』装幀	原始社	1927年
村山知義	『新興文学2』装幀	平凡社	1928年
	高橋新吉作/佐藤春夫編『高橋新吉詩集』装幀	南宋書院	1928年
鶴丸昭彦	藤森成吉『相恋記』装幀	春陽堂	1928年/1928年[再版]
	『古今桃色草紙 新年特輯号』表紙	発藻堂	1929年1月
西脇マージョリー	春山行夫『楡のバイブを口に』装幀	厚生閣書店	1929年
木村荘八	谷譲次『踊る地平線』装幀	中央公論社	1929年
武内鶴之助	『国際写真情報』第9巻第3号表紙	国際情報社	
	フセヲロド・イワノフ/黒田辰男訳『装甲列車 No.14,69 附バルチザン』装幀	マルクス書房	1930年
	フィリップ・ダニング ジョジ・アボット/北野浩訳 『世界大都会尖端ジャズ文学 JAZZ プロドウェー』装幀	春陽堂	1930年
小出楯重	小出楯重『めでたき風景』装幀	創元社	1930年
小出楯重	須藤武一郎『シャンソン・ド・パリ』装幀	高橋南益社	1930年
	中條百合子『新しきシベリアを横切る』装幀	内外社	1931年
佐野繁次郎	佐藤義亮 編『現代猟奇尖端図鑑』装幀	新潮社	1931年
柳瀬正夢	小林多喜二/徳永直/中野重治『蟹工船/太陽のない街/鐵の話』装幀	改造社	1931年
柳瀬正夢	ドミトリ・フルマノフ/小宮山明敏訳『ソヴェート作家叢書 赤色親衛隊』装幀	明鉄塔書院	1931年
河野鷹思	寺尾幸夫『細君解放記』装幀	先進社	1932年
	『大東京百景』装幀	日本風景版画会	1932年
村山知義	マクシム・ゴーリキイ/佐々木民夫訳 『テアトロ叢書1 エゴール・ブレイチョフと他の人々』装幀	テアトロ社	1934年
	中沢弘光他『関東大震災画帖 東京十画伯写真』	金尾文淵堂	1923年
森田恒友	『震災画譜 画家の眼』表紙	黎明社	1923年
	宮武外骨『震災画報 第1冊』表紙	半狂堂	1923年
磯田長秋	版画《銀座裏(京橋尾張町)》	画報社	1924年
西沢笛畝	版画《震後のニコライ堂》	画報社	1924年
	『東京十五区名所 東京復興百景 三十名家揮毫』表紙	現代小説出版社	1925年
	復興せる大東京 東京驛右端(丸の内ビルディング左下海上ビルディング)		1926年
	絵はがき「明治天皇 奉祝天長節 凱旋記念 五二共進絵葉書」	凱旋記念 五二共進会	1906年
	絵はがき「昭憲皇太后 奉祝天長節 凱旋記念 五二共進会記念絵葉書(第二期)」	凱旋記念 五二共進会	1906年
	絵はがき「大正天皇」	東京日本橋区数寄屋町とも糸商会	
鍋木清方	絵はがき「夜営」	東京金港堂	1904年
橋本邦助	絵はがき「偵察」	逓信省	1905年

	絵はがき	東京日日新聞(第一万五十二号附録)	1905年
	絵はがき	東京日日新聞(第一万五十二号附録)	1905年
	絵はがき「提灯行列」		1905年
寺崎広業	絵はがき「南山占領」	上宮教会 蔵版 / 東京便利堂 発行 / 中村工場 謹製	明治期
	絵はがき「御大礼記念 御尊影及高御座」		
	絵はがき「大礼記念 太平楽之図」		
	絵はがき「御即位式高御座の図」		
	絵はがき「御即位式大嘗祭御儀」		
	絵はがき「五節の舞(大饗夜宴の時奏す)」		
	絵はがき「大正」		
	絵はがき「牛引く童児」		大正期
	絵はがき「大礼記念 五節舞之図」		
	絵はがき「改元の詔書」		
	絵はがき「御即位礼式場紫宸殿南庭樹てらるる各旗」		
	絵はがき「鹵簿京都皇宮に向ふの図」		
	絵はがき「大饗夜宴の御儀(太平楽)」		
	絵はがき「威儀物奉持者」	逓信省	
	絵はがき「大礼記念 紫宸殿御即位式之光景」		1915年
	絵はがき「大礼記念 大嘗宮 悠紀殿 主基殿」	逓信省	1915年
	絵はがき「大礼記念 即位礼紫宸殿御式場之図」	逓信省	1915年
	絵はがき「大正四年十一月 御大典奉祝万歳門」	赤坂金松堂	1915年
	絵はがき「御大礼大饗夜宴 豊楽殿 に於ける太平楽」		1915年
	絵はがき「第六回極東選手権競技大会」	ヤマト	大正期
	絵はがき「第九回極東選手権競技大会於東京」	大日本体育教会	1930年
	絵はがき「第六回極東選手権競技大会 ハードル」		1923年
	絵はがき「第六回極東選手権競技大会 走高跳」		1923年
	絵はがき「平博文化村住宅」5点		1919年
	絵はがき「町並み」		1899年11月
	絵はがき「提灯行列」	京都三条便利堂	1904年
	絵はがき「提灯行列」		
	絵はがき「凱旋門(三越呉服店)」	三越呉服店	1905年
	絵はがき「画架と女学生」	東京銀座上方屋	1905年
	絵はがき「従軍看護婦」	熱田尚友堂	明治期
	絵はがき「当一座第二回興行記念 市村座」	東京銀座上方屋	1906年
	絵はがき「朝日新聞社 満韓巡游船記念絵葉書」	朝日新聞社	明治期
	絵はがき「欄干の女」		1906年
	絵はがき「泣く女とおどけ達磨」	万松館	1907年
	絵はがき「メ縄で遊ぶヒヨコたち / 酉歳年賀」	逓信省	1908年
	絵はがき「大阪回生病院新築本館」		
	絵はがき「日本橋(東京) 改築セル日本橋欄干ノ麒麟燈」	東京芝愛宕町「BANSHIUDO」	
	絵はがき「日本橋(東京) 改築セル日本橋欄干ノライオン燈」	東京芝愛宕町「S.N. BANSHIUDO」	
	絵はがき「玉串奉殿 榊を奉ずる」		
	絵はがき「トーションハーヰメノ」		
	絵はがき「国産共進会 熊本市」	熊本市国産共進会	
	絵はがき「お雑煮キュービー」	山口青旭堂	
	絵はがき「キュービーのローラースケート」		
川瀬巴水	絵はがき「簡易保険局」		





タータン展 伝統と革新のデザイン

【趣旨】

スコットランド北西部・ハイランド地方で発展し、世界各国で愛されている格子柄「タータン」。本展は「タータン」をテーマにした本格的な展覧会で、布地やドレス、関連する美術作品、書籍など約250点を一堂に集め、その魅力、歴史などを幅広く紹介することを目的とした。また、スコットランドで活躍中のデザイナーの作品も紹介した。

【総括】

●評価すべき点

- ・わかり易さを考え、展示構成に独自の工夫をした。
本展は日本全国5会場を巡回するもので、展示構成の基本は、タータンの歴史についての知識学習から始まるものだったが、来館者が飽きず楽しく鑑賞できるよう展示順を変えた。タータンそのものや身近にあるタータン関連グッズに触れることを優先した結果、タータンの世界に入り込みやすくなったと思われる。
- ・独自要素を追加して、鑑賞の楽しさを増やした。
県内大学に働きかけオリジナルタータンを製作するプロジェクトを立ち上げた。学生案に加え、地元企業の協力による試織を併せて展示紹介した。その際来館者による人気投票やメッセージ添付も試みた。共催メディアの展覧会広報素材としても重要な役割を果たし、結果、内容も周知され、このコーナーには多くの来館者から好意的な反応が得られた。

●検討課題

- ・巡回企画の受け入れで、内容や展示構成に意見を挟む余地はなかったのだが、説明過剰な一方で、やや物足りない印象も受けるなど、改善点があるように感じられた。そのため、企画元の了解を得た上、可能な範囲で展示構成の順番を変更するなど、来館者視点に立って内容を検討し工夫を重ねることで、課題の解消を図った。

【開催日・その他】

=2019年12月14日(土)~2020年3月1日(日) (68日間)=
休館日：12月16日(月)、12月28日(土)~1月3日(金)、1月6日(月)、
1月20日(月)、2月3日(月)

主 催：新潟県立万代島美術館／新潟日报社／UX新潟テレビ21／タータン展新潟実行委員会

後 援：プリティッシュ・カウンシル／スコットランド国際開発庁／日本スコットランド協会／新潟市／新潟市教育委員会／ケーブルテレビNCV／エフエムラジオ新潟／FM PORT 79.0／FM KENTO／ラジオチャット・エフエム新津／エフエム角田山ほかばかラジオ／エフエムしばた／燕三条エフエム放送／新潟日報美術振興財団

協 賛：CONOMi

協 力：長岡造形大学／浅記株式会社／第一ニットマーケティング株式会社／新潟県立美術館友の会

企画協力：ROBINS

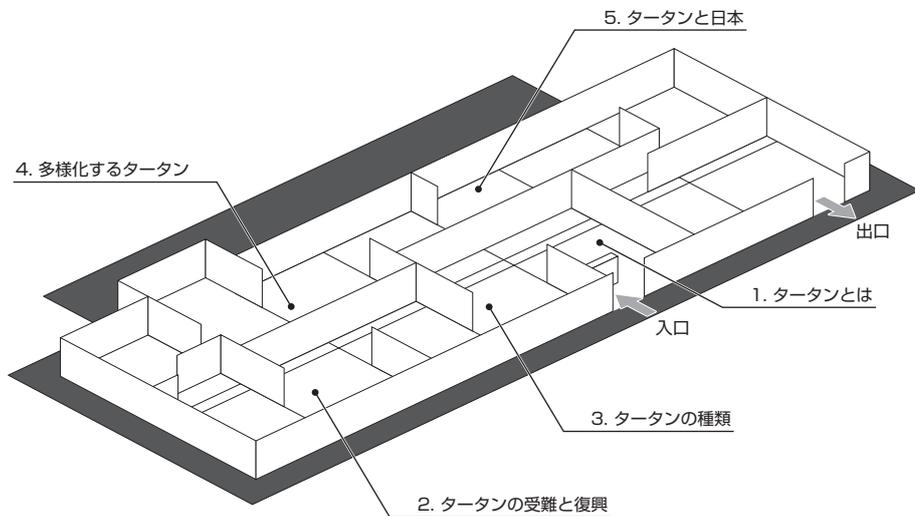
観覧料：一般……………1,100円(900円)〈900円〉

大学・高校生……………900円(700円)

※中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

※〈 〉は前売券料金



【関連行事】

・ワークショップ「パーソナルカラーで自分に似合うタータンを知ろう！」

講師：パーソナルカラー&専属スタイリストサロンAlice (アリス) 木村氏、相田氏

12月15日(日) 展示室

①11:00～ 60名 ②14:00～ 50名 計110名

1月19日(日) 展示室

①11:00～ 45名 ②14:00～ 55名 計100名

2月16日(日) 展示室

①11:00～ 48名 ②14:00～ 70名 計118名

6回計328名

・ワークショップ「タータン風ブローチを作ろう！」

12月22日(日)

参加者数：110名

1月5日(日)

参加者数：111名

2回計221名 ※各日100名先着で案内

各日とも12:00～16:00 美術館ロビー

講師：桐原浩 (当館業務課長)

池田珠緒 (当館主任学芸員)



【図録】

仕様：210×149mm 196頁

執筆：ブライアン・ウィルトン、サリー・タケット、キャロライン・ヤング、富田智子、服部昭郎、奥田実紀、中村圭美

翻訳：船岡美穂子、近藤真彰、稲葉麻里子

編集協力：奥田実紀、稲村美紀

アートディレクション：上田英司 (シルシ)

グラフィックデザイン：叶野夢 (シルシ)

編集：廣瀬歩 (青幻舎)

印刷製本：株式会社サンエムカラー

発行：株式会社青幻舎

内容：はじめに……………主催者

謝辞

開催概要

凡例

目次

1 タータンとは

本書でのタータンの定義について——タータンはチェックではない!? ……………富田智子

タータンができるまで……………奥田実紀

◆タータン・カンパニー 1 ロキャロン・オブ・スコットランド

タータンのデザインとその可能性

…………ブライアン・ウィルトン

2 タータンの受難と復活——タータンにまつわるスコットランドの歴史

タータンの歴史、その概要…………サリー・タケット
[コラム] ジャコバイト・タータンとは?

…………ブライアン・ウィルトン

都市生活とジョン・ケイ…………服部昭郎

3 タータンの種類

クラン・タータン／ディストリクト・タータン／ミ
リタリー・タータン／ロイヤル・タータン／コーポ
レート・タータン／ダンス・タータン

日本のコーポレート・タータン

【コラム】タータンのバリエーション……奥田実紀

◆タータン・カンパニー 2 キンロック・アンダー
ソン

4 多様化するタータン

ファッションとポップカルチャーにおけるタータン
……キャロライン・ヤング

スコットランドで活躍する6人のデザイナー

◆タータン・カンパニー 3 アンタ

5 タータンと日本

日本へやってきたタータン——日本人はなぜタータ
ンに魅かれるのか……富田智子

タータン年表

用語解説

主要参考文献

出品作品リスト

奥付

※一般書籍『タータン 伝統と革新のデザイン』（青
幻舎、2018）として流通

【関連記事】

●新聞

12月5日(木) 新潟日報（写真特集）

「日々革新伝統へ／タータン展／格子柄の世界深く」

12月10日(火) 新潟日報

「長岡造形大学の学生 羽ばたくトキ『タータン』に／14
日開幕の展覧会で展示／3作品をデザイン／見附の業者協
力／素材も3種類」

12月14日(土) 新潟日報

「格子柄の魅力奥深く／新潟 タータン展きょう開幕」

1月5日(日) 新潟日報（日報抄）

1月8日(水) 新潟日報（読者投稿）

「タータンかわいいね 中央区」

1月14日(火) 新潟日報（読者投稿）

「夢が広がったタータン展」（燕市）

1月8日(水) 新潟日報ふむふむ

「ときタータンで新潟PR 新潟県立長岡工業高校×長岡
造形大学」

1月17日(金) 新潟日報おとなプラス

特集「タータン 魅力多彩」

1月30日(木) 新潟日報

「展覧会へようこそ タータン展 伝統と革新のデザイン
多種多様な柄、歴史追う」／桐原浩

2月7日(金) 新潟日報

「ときタータン 会員証に 子育て世帯に特典「トキっ子く
らぶ」長岡造形大生デザイン」

2月11日(火) 新潟日報ふむふむ（ふむっ子記者通信）

「『タータン展』を取材 お気に入りの柄見つけて」

2月15日(土) 新潟日報

「タータン展1万人達成 江南区・佐久間さんに記念品」

2月18日(火) 新潟日報おとなプラス（読者投稿）

「独自のトキタータンに興味」（新潟市中央区）

●テレビ

12月14日(土) UX新潟テレビ21「まるどりっ！」

12月17日(火) UX新潟テレビ21「ナマ+トク」

●ラジオ

2月4日(火) エフエムラジオ新潟

「XOXO -hugs and kisses-」／桐原浩

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	7,810
	前売	3,386
無料観覧者数	招待	1,822
	無料	749
	免除	702
総観覧者数		14,469
有料率 (%)		77.4

担当 桐原浩



【出品リスト】

作者／織元／ブランド／生産者	作品名	制作年	素材／技法	寸法 (cm) 縦×横×高	所蔵
1. タータンとは					
	アフタヌーンドレス	1865年頃	シルク		神戸ファッション美術館
	JSSタータン (日本スコットランド協会タータン)				
3. タータンの種類 *会場の都合により、3章を先に展示しています					
	クラン・タータン (CL) 52種類				
	ディストリクト・タータン (DS) 31種類				
	ダンス・タータン (DA) 4種類				
	ロイヤル・タータン (R) 5種類				
	ミリタリー・タータン (M) 11種類				
	イセタンタータン				
	ハローキティタータン				
	Afternoon Tea LIVINGタータン				
コーポレート・タータン (CO)	ブルドックソース・タータン				
	トンボ・ハウス・タータン				
	ブルックス・ブラザーズ				
	ミントタータン				
	神戸タータン				
キンロック・アンダーソン	男性用キルト (正装) 一式	2018年	ウール、その他		
キンロック・アンダーソン	男性用キルト (準正装) 一式	2018年	ウール、その他		
2. タータンの受難と復興					
	ディストリクト・タータン (DS) 1種類				
	ロイヤル・タータン (R) 1種類				
	その他のタータン (O) 1種類				
アンドルー・ジョンストン	ジョンストンのエディンバラ俯瞰地図	1720年代初期	紙／銅版、彩色	45×106	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・スレイザー	『スコットランド名所図絵』	1693年	紙／銅版	40.8×28×4.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	『故ジョン・ケイ銅版画集—肖像とカリカチュア—』2巻本	1837-38年	紙／銅版	26.7×21× 6.8-7.2	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	強風の名所ノース・ブリッジを行くジェームズ・グレアム博士	1837-38年	紙／銅版	25.8×20.5	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	銅版画によるジョン・ケイ自画像	1786年	紙／銅版	26.4×20.8	
ジョン・ケイ	グレン博士と瘋癲のハイランド大地主 (レアド)	1784年	紙／銅版	26.4×20.8	
ジョン・ケイ	銘文を調査するフランシス・グロウス	1789年	紙／銅版	26.4×20.8	
ジョン・ケイ	『国富論』の著者 アダム・スミス	1790年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	イタリア人気球乗り(エアロノート) ヴィンセント・ルーナルディ	1785年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	気球クラブ—類は類を呼ぶ—	1786年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	シアター・ロイヤルにおける『ダグラス』上演	1784年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	ジェームズ・ブルースとピーター・ウィリアムソン	1791年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	エディンバラの書店主にして競売人 ウィリアム・マーティン	1784年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	外科医 アレクサンダー・ウッド	1806年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	ヘンリー・モイズ博士	1796年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	ピッツライゴウのウィリアム・フォープス	1806年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター

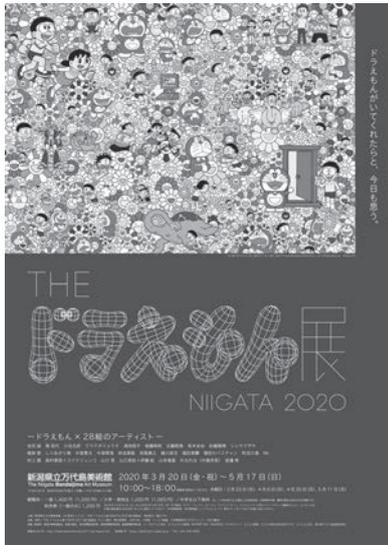
ジョン・ケイ	後に第5代ゴードン公爵となる若きハントリー侯	1791年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	職人組合長（ディーコン）ウィリアム・プロウディ	1788年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	グレアム侯とバカン伯	1784年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	日曜夜間学校改廃騒ぎ	1799年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	2人のロイヤル・エディンバラ隊志願兵	1794年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	聖ジャイルズ教会 ロバート・ウォーカー師	1793年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	ロバート・ジョンストンとシビラ・ハットン	1786年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	美術愛好家たち	1785年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	エディンバラ市警護隊舎と下士官ジョン・ドゥ	1786年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	小丘（マウンド）渡り初め	1786年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	スコットランド軍最高司令官 モイラ伯	1804年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	5人揃い組（ファイヴ・オールズ）	1788年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	富豪 カランダーのウィリアム・フォーブス	1797年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	バグパイパー ジョーディ・サイミ	1789年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	エディンバラ大学教授 ジョン・レズリー	1817年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	煙突掃除夫（トロン・マン）	制作年不明	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	フランスの画家 ドゥ・ラトゥール	1813年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	サザerland国防軍 サミュエル・マクドナルド	1796年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	グリーンの大將 アレクサンダー・マケラー	1803年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	女房天下（ペチコート・ガヴァメント）	1795年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	ピット首相と盟友ヘンリー・ダンダス	1798年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	ロイヤル・ハイランダーズ隊下士官 ウィリアム・ダフ	1816年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	競歩（ベデストリアン・マッチ）	1792年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	尋問されるケイ	1792年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	軍服の散歩（プロムナード）	1795年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	牡蠣売り	1812年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	バグパイパー アーチボルド・マッカーサー	1810年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	和みのひと摘み（ソーシャル・ピンチ）	1789年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	バーズ嬢	1788年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
ジョン・ケイ	植物学者 ジョン・ホープ	1786年	紙／銅版	26.4×20.8	京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
	少年用ハイランド衣装一式	1910年頃	ウール、その他		神戸ファッション美術館 （くろすとしゆき氏寄贈）

	子ども用ハイランド衣装一式	1868年頃	ウール、その他	神戸ファッション美術館
作者不明	第4代ラウン伯爵ジョン・キャンベル	1757年頃	紙/エングレーヴィング	20.2×11.4
ジョージ・クルックジャンク	ボニー・ウィリー	1822年	紙/エッチング、手彩色	33.5×23.8
作者不明	猫のバカ騒ぎ—ハイランドリール	1833年	紙/リトグラフ	21×27
作者不明	ジェイムズ・マクドナルド	1830年	紙/リトグラフ	23×14.8
作者不明	ヘンリー・マクロフラン	1830年頃	紙/リトグラフ	22×15
作者不明	アレクサンダー・ファーガソン	1830年頃	紙/リトグラフ	24.5×15.8
ヘンリー・マクベス=レイバーン (原画:ジョージ・サンダース)	第5代ゴードン公爵	1929年	紙/メゾチント、シン コレ技法による彩色	66×47.5
ポール・ガヴァルニ	ハイランドのバグパイプ吹き	1849年	紙/リトグラフ	41×28
	ロキャロン・オブ・スコットランド			

4. 多様化するタータン *の作品は展示期間が限られています。

	『ル・サロン・ドゥ・ラ・モード』 XV No. 28_985 *12/14-1/27	1876-1940年	紙/エングレーヴィング、手彩色	25×35	ポーラ文化研究所
	『ル・サロン・ドゥ・ラ・モード』 XVII No. 9_1070 *12/14-1/27	1876-1940年	紙/エングレーヴィング、手彩色	34.5×23.5	ポーラ文化研究所
	『ル・サロン・ドゥ・ラ・モード』 XV No. 13_970 *1/28-3/1	1876-1940年	紙/エングレーヴィング、手彩色	31.5×21.5	ポーラ文化研究所
ジョルジュ・ルパーブ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 収穫—チェック柄の平織り地のドレス	1921年	紙/ポショワール	22.3×16.8	神戸ファッション美術館
アンドレ・エドゥアル・マルティ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 田園にて—ポール・ボワレのドレス	1923年	紙/ポショワール	22.5×17.3	神戸ファッション美術館
シャルル・マルタン	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 郊外の散歩—ルロワの毛皮のコート	1924年	紙/ポショワール	22.5×17	神戸ファッション美術館
	『ジュナル・デ・ドモアゼル(令嬢のための雑誌)』 no. 5313 *12/14-1/27	1903年	紙/エングレーヴィング、手彩色	29.3×41	ポーラ文化研究所
ジョルジュ・バルビエ	『ラ・ギルランド・デ・モア』より 幸福をもたらすもの *1/28-3/1	1919年	紙/ポショワール	12×8	ポーラ文化研究所
オラース・ヴェルネ	『アンクローワイヤブル・エ・メルヴェイユーズ』より no. 2 ライトベージュのパーケール(目の細かい平織り 綿布)のキャポネット(顎紐付きボンネット帽)、フィシュ (三角形の肩掛け)とタータンの編み上げ靴、パーケール の小さな日傘*12/14-1/15	1810-18年	紙/エングレーヴィング、手彩色	42.2×28.4	鹿島茂コレクション (練馬区立美術館寄託)
オラース・ヴェルネ	『アンクローワイヤブル・エ・メルヴェイユーズ』より no. 13 イタリア麦わら帽。タータンの肩掛け。車輪模様 の刺繍*1/16-2/10	1810-18年	紙/エングレーヴィング、手彩色	42.2×28.4	鹿島茂コレクション (練馬区立美術館寄託)
オラース・ヴェルネ	『アンクローワイヤブル・エ・メルヴェイユーズ』より no. 22 タータン地のヴィエルジュ(未婚のまま神に仕え る修道女)風ドレス *2/11-3/1	1810-18年	紙/エングレーヴィング、手彩色	42.2×28.4	鹿島茂コレクション (練馬区立美術館寄託)
ジョイス・ヤング	イブニングドレス	2018年	シルク、その他		
ジョイス・ヤング	ウェディングドレス	2018年	シルク		
ヴィヴィアン・ウエストウッド	タータン・スーツ	1993年	ウール		神戸ファッション美術館
ヴィヴィアン・ウエストウッド	タータン・ジャケット	1993年	ウール、フェイクファー		神戸ファッション美術館
アリソン・ハーム	トップ、スカート(緑、紫)	2018年	ウール、その他		
アリソン・ハーム	トップ、スカート(ピンク、緑)	2018年	ウール、その他		
ハウイー・ニコルスピー	男性用キルト一式	2018年	ウール、その他		
ハウイー・ニコルスピー	男性用キルト一式	2018年	ウール、デニム、その他		
ジュディ・R. クラーク	フロックコート	2018年	ウール、その他		
サマンサ・マッコーチ	キルトスカート	2018年	ウール、その他		
サマンサ・マッコーチ	キルトスカート	2018年	ウール、その他		
シヴォーン・マッケンジー	セーター、キルトスカート	2018年	ウール、その他		
シヴォーン・マッケンジー	セーター、キルトスカート	2018年	ウール、その他		

5. タータンと日本					
	鼠地格子模様毛織男児マント	1926年頃	毛皮付、ウール、サテン	身丈71	豪商の館 田中本家博物館
毎日新聞社	『サンデー毎日』昭和10年11月17日号	1935年		38×26	アドミュージアム東京
毎日新聞社	『サンデー毎日』昭和10年12月1日号	1935年		38×26	アドミュージアム東京
毎日新聞社	『サンデー毎日』昭和11年10月11日号	1936年		38×26	アドミュージアム東京
高島屋	『プレスアルト』第11号 作品No.2 [タック案内] 東洋編物工業株式会社	1937年		21.2×10.6	アドミュージアム東京
大阪佐々木営業部	『プレスアルト』第6号 作品No.4 [冬物紳士用品発表会案内] 紳士用品秋冬のモード 大阪佐々木営業部	1937年		内側20.2×10.4	アドミュージアム東京
田村駒商店	『プレスアルト』第8号 作品No.7 [問屋の秋物案内] 田村駒ニュース 田村駒商店	1937年		26.3×12.3	アドミュージアム東京
阪急百貨店	『プレスアルト』第12号 作品No.19 [阪急の婦人子供服案内] 阪急百貨店	1937年		14.6×11.5	アドミュージアム東京
浅倉商事	『プレスアルト』No.139 作品No.13 [新倉商事ネクタイ案内No.7] ASAKURA SPRING ORGAN	1955年		30.3×22.6	アドミュージアム東京
帝国人絹	ハモンドタータン 帝国人絹 (雑誌広告)	1956年			
帝国人絹	ハモンドタータン 帝国人絹 (雑誌広告)	1956年			
東邦レーヨン株式会社	トービスウーリータータン 東邦レーヨン株式会社 (雑誌広告)	1956年			
全国銀行協会連合会	銀行の自動支払制度 (雑誌広告)	1969年			アドミュージアム東京
レナウン株式会社	キャシャレル ブランド広告	1976-90年代中頃			アドミュージアム東京
日産自動車	『くるまの手帖』No.13 表紙	1965年		20×18.2	アドミュージアム東京
日産自動車	『くるまの手帖』No.48 表紙	1967年		20×18.2	アドミュージアム東京
東洋工業	『モータリゼーション (MOTORIZATION)』通巻127号 表紙	1969年		20×21	アドミュージアム東京
日産プリンス自動車販売	『CAR TOPICS』通巻202号 表紙	1971年		21×14.8	アドミュージアム東京
婦人画報社	『TAKE IVY』	1965年			株式会社リーガルコーポレーション
婦人画報社	『MEN'S CLUB』33号 (表紙)	1963年			株式会社リーガルコーポレーション
婦人画報社	『MEN'S CLUB』34号 (表紙)	1963年			株式会社リーガルコーポレーション
婦人画報社	『MEN'S CLUB』200号 (表紙)	1977年			株式会社リーガルコーポレーション
海外書籍貿易商会	『CLAN TARTAN OF SCOTLAND』VOL. 1、2	昭和30年代		36×40×5	フクゾー洋品店
東芝EMI	ベイ・シティ・ローラーズ/サタデー・ナイト EPLレコード	1976年		20×20	
東芝EMI	ベイ・シティ・ローラーズ/イェスタデイ・ヒーロー EPLレコード	1976年		20×20	
東芝EMI	ベイ・シティ・ローラーズ/恋のゲーム EPLレコード	1977年		20×20	
東芝EMI	ベイ・シティ・ローラーズ/青春に捧げるメロディー LPLレコード	1976年		31.5×31.5	
東芝EMI	ベイ・シティ・ローラーズ/ニューベス ROLLERS COLLECTION LPLレコード	1976年		31.5×31.5	
	ベイ・シティ・ローラーズ特大ポスター	1970年代		62×92	
VAN、ラルフ・ローレン、株式会社リーガルコーポレーションほか	男性アイビニー式	1960年代			株式会社リーガルコーポレーション (一部除く)
KENT	男性用スラックス	1967年	ウール		神戸ファッション美術館 (くろすとしゆき氏寄贈)
VAN	男性用スタジアム・ジャンパー	年代不詳	ウール、牛革、その他		神戸ファッション美術館 (くろすとしゆき氏寄贈)
CROSS&SIMON	男性用ジョージ・ブーツ	1970年代初期	スウェード		神戸ファッション美術館 (くろすとしゆき氏寄贈)
株式会社リーガルコーポレーション	REGAL社製 チロリアン・シューズ	1980-90年代			株式会社リーガルコーポレーション
ミハマ商会	ミハマ製シューズ	1970年代			株式会社リーガルコーポレーション
株式会社リーガルコーポレーション	KAMAKURA REGAL シューケース	1980年代			株式会社リーガルコーポレーション
フクゾー洋品店	FUKUZOU製オーダーメイド女兒ワンピース	昭和30年代		肩巾29cm身丈79cm	フクゾー洋品店
フクゾー洋品店	FUKUZOU製女性服一式	2018年			フクゾー洋品店
フクゾー洋品店	FUKUZOU製女性服一式	2018年			フクゾー洋品店
トンボ学生服	女子学生服一式	2016年			トンボ学生服
トンボ学生服	男子学生服一式	2016年			トンボ学生服
高田喜佐	シューズ	1990-2002年 (制作年不明を除く)			神戸ファッション美術館 (高田邦雄氏寄贈)
ANTA	小物一式				
特別展示					
長岡造形大学の学生によるトキタータンプロジェクト	十祈 / 桃花 / HonoH	2019年			協力:長岡造形大学、浅記株式会社、第一ニットマーケティング



THE ドラえもん展 NIIGATA 2020

新型コロナウイルス感染症拡大により3月20日(金・祝)から3月31日(火)まで臨時休館したため、展覧会会期を翌年度に変更。これにより、令和2年度年報に掲載。

【趣 旨】

1970年の連載開始以来、日本中に夢を届けてきたドラえもん。展覧会では、国内外で活躍する28組のアーティストたちに、「あなたのドラえもんをつくってください」と依頼し、様々な発想や技法によって生み出された作品を紹介する。

【当初予定した開催日・その他】

=2020年3月20日(金・祝)～3月31日(火) (11日間)=

※全体会期は3月20日(金・祝)～5月17日(日) (55日間)

休館日：3月23日(月)

主 催：新潟県立万代島美術館 / UX新潟テレビ21 / THE
ドラえもん展 NIIGATA 2020 実行委員会

特別協力：藤子プロ

企画・制作：THE ドラえもん展 TOKYO 2017 実行委員会
(テレビ朝日 / 朝日新聞社 / ADK EM / 小学館
/ シンエイ動画 / 小学館集英社プロダクション /
乃村工藝社)

後 援：新潟市 / 新潟市教育委員会 / 新潟日報社 / 読売新聞
新潟支局 / 産経新聞新潟支局 / ケーブルテレビNCV
/ エフエムラジオ新潟 / FM PORT 79.0 / FM
KENTO / ラジオチャット・エフエム新津 / エフエ
ム角田山ぽかぽかラジオ / エフエムしばた / 燕三条
エフエム放送株式会社

観覧料：一般……………1,400円(1,200円)

大学・高校生……………1,200円(1,000円)

※中学生以下無料

※ () 内は有料20名以上の団体料金

※ < > 内は前売券料金

担当 澤田佳三

イベント

講演会 会場：講堂

開催日	時間	関連展覧会名	演題	講師	内容	参加者数
10月26日(土)	①11:00~12:00 ②14:00~15:30	第21回亀倉雄策賞受賞記念展・JAGDA新人賞展2019	開催記念講演会	①赤沼夏希、小林一毅 ②色部義昭	亀倉雄策賞受賞記念展及び新人賞展JAGDA新人賞展2019の開催に合わせた記念講演会。	①119 ②99

計218名

美術鑑賞講座 会場：講堂

開催日	時間	関連展覧会名	講座名	講師	内容	参加者数
9月28日(土)	14:00~15:10	コレクション展第1期	新潟の地域と美術	松矢国憲 (当館専門学芸員)	新潟県各地域の美術史で特筆すべき例を紹介。	20
11月30日(土)	14:00~15:30	コレクション展第1期	大光コレクションの岸田劉生	松本奈穂子 (当館美術学芸員)	展示中の《冬枯れの道路 原宿附近写生》について北方ルネサンスからの影響の他、来歴や展覧会史を紹介。	22
12月7日(土)	14:00~15:30	コレクション展第1期	ナビ派に親しむ	平石昌子 (当館専門学芸員)	世紀末パリで結成された前衛芸術家グループ「ナビ派」。ナビ派が登場し、活躍した時代についてスライドで代表作品を見ながら紹介。	17
1月18日(土)	14:00~15:30	コレクション展第2期	彫刻台座 奥深き世界	伊澤朋美 (当館主任学芸員)	彫刻作品を安置するための「台座」。日本の近代彫刻を彩った、様々な台座に注目して紹介。	26
2月1日(土)	14:00~15:35	1964年 東京—新潟	1964年—現代美術の背景	藤田裕彦 (当館学芸課長)	1963年に起こったジョン・F・ケネディ大統領の暗殺事件からベトナム戦争終結までのアメリカ史と当時の日本の状況について紹介。	40
2月15日(土)	14:00~15:40	1964年 東京—新潟	長岡現代美術館賞と同時代美術	濱田真由美 (当館主任学芸員)	長岡現代美術館賞展が開催された1964-68年を中心に、1960年代を中心とする同時代美術の動きの中で同館賞の果たした役割を振り返る。	48

計173名

ワークショップ

開催日	時間	関連展覧会名	ワークショップ名	講師	会場	内容	参加者数
10月5日(土)	14:00~14:40	コレクション展第1期	野外彫刻探検ツアー 〈一般向け〉	伊澤朋美 (当館主任学芸員)	屋外彫刻 周辺	野外に設置された彫刻作品を見ながら、美術館のまわりを学芸員と一緒に回る。	5
10月19日(日)	14:00~14:40	コレクション展第1期	野外彫刻探検ツアー 〈親子向け〉	伊澤朋美 (当館主任学芸員)	屋外彫刻 周辺	野外に設置された彫刻作品を見ながら、美術館のまわりを学芸員と一緒に回る。	5
12月21日(日)	14:00~16:00	コレクション展第2期	大理石(?)を磨く	村山裕之 (当館学芸課長代理)	講座室	素材がもつ質感に着目しながら、自分の手で大理石の表面を磨く。	10

計20名

映画鑑賞会 会場：講堂

開催日	時間	関連展覧会名	タイトル	内容	参加者数
9月21日(土)	14:00~16:00	コレクション展第1期	天心	2013年/日本/122分	32
12月14日(土)	14:00~16:00	コレクション展第2期	グレン・ミラー物語	1954年/アメリカ/115分	25
1月11日(土)	14:00~16:00	コレクション展第2期	いわさきちひろ~27歳の旅立ち	2012年/日本/96分	37
2月22日(土)	14:00~16:00	1964年 東京—新潟	シャレード	1963年/アメリカ/113分	66

計160名

コンサート 会場：講堂

開催日	時間	関連展覧会名	演題	講師	内容	参加者数
11月1日(金)	15:00~ 16:00	PIXARのひみつ展	東京フィル コミュニティコンサート弦楽八重奏	東京フィル交響楽団より8名	隣接する長岡リリックホールが東京フィルと提携して行っているコミュニティコンサートの一環として企画されたクラシックコンサート。	200

計200名

その他

開催日	時間	関連展覧会名	演題	担当/講師	会場	内容	参加者数
8月3日(土)	11:30~ 15:30	リニューアル・オープン PIXARのひみつ展	サイコロゲーム	学芸職員9名	長岡まつり わんぱくおまつり 広場	大・中・小の3つのサイコロを振って、目の数をそろえたら、景品をプレゼントするサイコロゲーム。	420
9月14日(土)	14:00~ 15:30	リニューアル・オープン コレクション展第1期	トークセッション「新潟県立近代美術館 スタートに立ち戻って、そしてリスタート」	1部：松沢寿重（新潟市美術館学芸員・副参事）、藤田裕彦（当館学芸課長） 2部：星野立子（新潟市美術館学芸員）、松矢国憲（当館専門学芸員） 司会：濱田真由美（当館主任学芸員）	企画展示室	当館のリニューアル・オープンを記念して、新潟市美術館から二人を招待してのトークセッション。	35

計455名

展覧会

開催日	時間	関連展覧会名	イベント名	共催	会場	内容	参加者数
9月21日(土)	9:30~ 16:00	第33回国民文化祭	「第1回国民文化祭」ポスター展	近代美術館・長岡造形大学共済事業	長岡造形大学	オープンキャンパス・長岡アートフェスティバル時にポスター13点を展覧した。	2,500

計2,500名

再開館関連事業

・サイコロゲーム

日時：8月3日(土) 11:30~15:30

会場：長岡まつり わんぱくおまつり広場

参加者数：約420名

その他、ブースにて展覧会チラシおよびうちわを配布した。

・再開館セレモニー

日時：9月13日(金) 14:00~15:30

会場：当館

参加者：報道関係者、友の会会員

・改修工事箇所の説明

日時：9月13日(金)

・トークセッション「新潟県立近代美術館 スタートに立ち戻って、そしてリスタート」

日時：9月14日(土) 14:00~15:30

会場：当館企画展示室

パネリスト：松沢寿重（新潟市美術館副参事・学芸員）、星野立子（新潟市美術館学芸員）、藤田裕彦（当館学芸課長）、松矢国憲（当館専門学芸員）

司会：濱田真由美（当館主任学芸員）

主催：NIIGATAアートリンク

参加者数：35名

・オリジナルミニトートバッグプレゼント

日時：9月14日(土)~16日(月・祝)

提供：新潟県立美術館友の会

各日コレクション展観覧先着100名に再開館を記念して制作したオリジナルミニトートバッグをプレゼントした。

・パネル展示

日時：9月13日(金)~21日(土)

会場：当館エントランスロビー、企画展示室、コレクション展示室

改修工事箇所を説明するパネル展示を実施した。

・その他広報

-アオーレ長岡、長岡大手通交差点ビジョンでの再開館CM放映

-再開館チラシ



館外活動・地域との連携

巡回ミュージアム

【趣旨及び総括】

巡回ミュージアムは、所蔵作品の中から作品を選定し、県内を巡回展示するもので、広く県民に美術鑑賞の機会を提供し、文化振興を図ることを目的としている。

本年度は、上越市での開催となった。改修工事の期間がずれ込んだことが影響し、会場の設定が遅れたため上越市側の予算措置に間に合わず、本来であれば制作するポスター・チラシは制作できなかったが、先方の厚意により手作りのポスター・チラシに対応した。同じ理由で監視を置くことができなかったため、アクリルの入った額装絵画作品のみを選定し、機械による監視となった。

しかし会場の設備は整っており、壁付の展示ケースが備わっていたため、通常の巡回ミュージアムでは出品できない軸や屏風作品を出品することができた。

会場では通常通り一般向けの作品解説会を実施したが、そのほかに、上越教育大学との連携により参加していた「ヨリ・ミチ図工室」(63ページ参照)の会場とすることで、子どもたちの鑑賞教育にも寄与することができた。

【開催地・開催期日・その他】

会場：ミュゼ雪小町（上越市 あすとびあ高田5F）

会期：12月1日(日)～14日(土)

観覧時間：9:00～22:00

主催：新潟県立近代美術館、上越市

テーマ：キテ、ミテ！絵画

観覧料：無料

出品点数：25点

入場者数：871名

【関連行事】

・12月7日(土)

11:00～/14:00～ 作品解説会

解説 宮下東子

・12月4日(水)

「ヨリ・ミチ図工室」

講師 伊澤朋美/宮下東子/村山裕之

・12月11日(水)

「ヨリ・ミチ図工室」

講師 伊澤朋美/宮下東子/村山裕之

【関連記事】

・新聞

新潟日報（12/13）

担当 宮下東子

【出品リスト】

No.	作家名	作品名	制作年
1	佐伯 祐三	バンテオン寺院	1928年
2	須田 国太郎	水辺の草（杜若）	不明
3	棟方 志功	一乗寺裏山	1942年
4	山口 薫	或る海の網	1959年
5	田崎 広助	箱根の富士	不明
6	富岡 惣一郎	富士雪景	不明
7	牧野 虎雄	サンルーム	1929年
8	脇田 和	鳥を呼ぶ人	1958年
9	地主 悌助	石	1966年
10	佐藤 敬	作品	1959年
11	三芳 悌吉	オルガンの上	1977年
12	斎藤 義重	作品（Blue）	1961年
13	原 雅幸	霧と残雪	1985年
14	川合 清	白粧	1983年
15	岩田 正巳	母と子	不明
16	横尾 深林人	鶴	不明
17	加山 又造	白菜と小鳥	1961年
18	麻田 鷹司	東尋坊	1962年
19	三浦 文治	浜	1973年
20	三輪 晁勢	蓬莱山	不明
21	小林 古径	紅梅	1927年頃
22	土田 麦僊	山茶花	大正中期
23	中島 萬木	長岡悠久山の松林	1971年
24	尾竹 越堂	桃太郎	1922年
25	長井 亮之	秋景色	昭和20～30年代

出前講座

昨年度、保育園・幼稚園・こども園向けのプログラムについて、館の近隣にのみ周知し実施したところ好評だったことから、本年度は旧長岡市内に範囲を広げ周知したところ、複数の依頼があった。その一方で学校には周知活動を行わなかったため、学校からの依頼は少なかった。

No.		月 日	時 間	対 象	内 容	コマ数	受講者数	担当者
1	一般	5月23日(木)	10:00~11:00	燕市立吉田図書館 歴史講座	亀倉雄策のグラフィックデザインについて	1	51	濱田
2	学校	5月31日(金)	9:35~10:20 10:40~11:25 11:30~12:15	長岡市立上組小学校 6年生82名	学芸員のお仕事	3	82	伊澤
3	幼・保	6月14日(金)	9:30~10:15 10:30~11:15	社会福祉法人 浄英会 長生保育園 年長児46名(2クラス)	たのしい かたちを ならべてみよう	2	46	宮下 村山
4	一般	7月9日(火)	14:00~15:30	三条市栄公民館 生涯塾いちい大学 第3回(会場:三条市栄体育館) 高齢者約50人	大人の印象派入門	1	31	平石
5	幼・保	7月11日(木)	9:30~10:15 10:25~11:10	社会福祉法人 長岡三古老人福祉会 こどもけやき苑 年長児11名、年中児14名	たのしい かたちを ならべてみよう	2	25	伊澤 山本
6	幼・保	7月17日(水)	10:00~10:45 10:55~11:40	社会福祉法人 瀧谷福祉会 岡南保育園 年長児26名	たのしい かたちを ならべてみよう	2	26	宮下 村山
7	幼・保	8月8日(木)	9:30~10:15 10:20~11:05 11:10~11:55	社会福祉法人 浄英会 恵和こども園 年長児77名(3クラス)	たのしい かたちを ならべてみよう	3	77	宮下 村山
		8月9日(金)	9:30~10:15 10:20~11:05 11:10~11:55			3		宮下 山本
8	幼・保	8月23日(金)	10:00~10:45	長岡市立新組保育園 年長児11名+年中児9名	たのしい かたちを ならべてみよう	1	20	宮下 山本
9	学校	10月11日(金)	9:35~10:20 10:40~11:25 11:30~12:15	長岡市立上組小学校 6年生82名	作品を「話そう」	3	82	伊澤
10	幼・保	12月19日(木)	10:00~10:45 10:55~11:40	社会福祉法人 王神福祉会 蔵王のもりこども園 年長児28名、年中児30名	たのしい かたちを ならべてみよう	2	58	宮下 山本
		12月20日(金)	10:00~10:45 10:55~11:40			2		宮下 村山
11	幼・保	2020年 1月22日(水)	9:45~10:30 10:40~11:25	長岡市立宮内保育園 年長児21名、年中児18名	たのしい かたちを ならべてみよう	2	39	伊澤 村山
12	学校	2020年 1月14日(火)	9:40~10:25 10:35~11:20	新潟大学教育学部附属長岡中学校 2年生 119名(3クラス・2・3組/1組)	ライバル美術館に差をつける!私は敏腕キュレーター「展覧会をつくる」	2	119	宮下

合計29コマ 656名

こどもものづくり大学校

子どもたちに日常生活ではできない創るよるこびを体験してもらうため、隣接する長岡造形大学が平成23年度から毎年「こどもものづくり大学校」を主催している。年間を通しておこなわれる10回の講座のうち、1回を新潟県立近代美術館が受け持っている。

本年は、当館コレクション展第2期・展示室2「夜景」に展示されている日本画作品に注目し、これをもとに〈盛り上げ〉と〈研ぎ出し〉の技法を用いたプログラムを開発し、講座を実施した。実施当日は、コレクション展の当該作品を中心に、企画展「1964年 東京-新潟」での展示作品を鑑賞することでイメージを高め、制作に臨んだ。また、メディウムの乾燥を待つ時間を利用して、コレクション展示室でクイズラリーを実施。鑑賞の時間を多くとることができて、美術館ならではのプログラムを実施することができた。

主 催：長岡造形大学

テ ー マ：〈夜の色〉で筆あとと研究！

日 時：2月2日(日) 10:00～16:00
2月16日(日) 10:00～16:00

講 師：宮下東子（当館専門学芸員）
村山裕之（当館学芸課長代理）

参加者数：50名／51名（合計104名）

担当 宮下東子

長岡造形大学「市民オープンキャンパス2019：第33回国民文化祭の関連事業」

第33回国民文化祭の関連事業として、長岡造形大学での「市民のためのオープンキャンパス2019」で第1回国民文化祭の各催事用ポスターを13点展覧した。来場者の往来が多い廊下の壁に、アクリルパネルで展示し、作品の存在感を示しながらたくさんの方々に文化・芸術を親しんでもらえた。

主 催 長岡造形大学
日 時 令和元年9月21日(土) ※参加無料
展示内容 第1回国民文化祭の各催事用ポスター展示13点
展示場所 長岡造形大学 1階 講義室前廊下
来 場 者 約2,500人

担当 村山裕之



上越教育大学「ヨリミチ図工室」

【趣旨】

上越教育大学五十嵐史帆准教授の研究室と、小林古径美術館が2017年度に開始した活動で、放課後を利用し、子どもが主体的に造形活動や鑑賞を楽しむ場を提供する。平成30年度から、年間全15回行われる講座のうち2回を当館が行うことになった。

本年は、上越での巡回ミュージアム開催と会期が重なったことから、巡回ミュージアム（60ページ参照）を活用したプログラム「きんぴアートカードで、アートなかるた」を実施。巡回ミュージアム出品作品の鑑賞や、アートカードゲーム等を導入として行った後、出品作品を題材にしたかるたづくりを各自行った。プログラム実施にあたっては、研究室の学生にサポートに入ってもらった。

主催：上越教育大学

協力：小林古径記念美術館、新潟県立近代美術館

テーマ：きんぴアートカードで、アートなかるた

日時、実施場所：12月4日(水) 15:50～17:30

ミュゼ雪小町

12月11日(水) 15:50～17:30

ミュゼ雪小町

参加者数：26名/19名（合計45名）

【関連記事】

・新聞

上越タイムス（12/6）

新潟日報（12/13）

・テレビ

JCV（上越ケーブルテレビジョン）（12/5）

・WEBサイト

上越妙高タウン情報（12/15）

担当 伊澤朋美

新潟アートリンク

NIIGATAアートリンク2019

■「新潟県立近代美術館 スタートに立ち戻って、そしてリスタート」を開催

第1部：松沢寿重（新潟市美術館学芸員・副参事）

藤田裕彦（当館学芸課長）

第2部：星野立子（新潟市美術館学芸員）

松矢国憲（当館専門学芸員）

司会：濱田真由美（当館主任学芸員）

日時：9月14日(土) 14:00～15:30

会場：新潟県立近代美術館 展示室

参加者数：35人

■会議の開催

第一回：2019年6月25日(火) 14:00 新潟市美術館

第二回：2019年10月17日(木) 14:00 新潟県立近代美術館

第三回：2020年1月30日(木) 14:00 新潟市新津美術館

■普及部会

第一回：2019年11月20日(水) 14:00

新潟市美術館

担当 松本奈穂子



刊行物・鑑賞資料

刊行物名	概要	仕様	発行部数	発行日	内容
平成31年度 年間スケジュール	平成31年度の企画展とコレクション展の日程及び内容、年間のイベントなどをまとめたもの	A4判 2つ折り（展開サイズ210×376mm） 蛇腹4つ折り	35,000部	2019年 4月1日	
新潟県立近代美術館だより「雪椿通信」52号	美術館からの情報発信として一般来場者向けに編集したもの	A5判 蛇腹4つ折り	5,000部	2019年 10月30日	美術館リニューアル／1964年展 東京―新潟／館長所感／編集部からのひとこと
平成30年度年報	平成30年度の活動報告	A4判 108頁	350部	2019年 12月20日	
企画展「1964年 東京―新潟」図録	「1964年 東京―新潟」の公式図録	B5判 60頁	500部	2020年 1月23日	ごあいさつ／第1章 東京オリンピックと美術／〈コラム〉オリンピック開催記念催事のさまざま／第2章 同時代美術の諸相／第3章 新潟の新しい美術館：長岡現代美術館とBSN新潟美術館／第4章 ドキュメント・長岡現代美術館／〈コラム〉齋藤義重の《大智浄光》について／1964年のキーワード／1964年の美術：地方からの逆襲／「1964年」という年／年表／作家略歴／出品リスト

作品解説会

来館者サービスの一環として、展覧会への理解を深め、より充実した鑑賞の機会となるように、学芸員による作品解説会を行った。参加者がなかった解説会及び新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止にした解説会については、記録から除いた。

企画展(日曜日 14:00～)	人数
コレクション展(土曜日 11:00～)	
企画展 展覧会名 期日	人数
PIXARのひみつ展 いのちを生だすサイエンス ※体験型展示という性質から実施せず	
1964年 東京-新潟	
1月26日	5
2月9日	12
2月23日	23
小計	40
企画展合計	40
コレクション展 展覧会名 期日	人数
国民文化祭関連展示 新潟の美術 小特集 横山操 近代美術館の名品	
9月14日	10
9月21日	2
11月30日	2
12月7日	4
第1期小計	18
平成29・30年度の新収蔵品 夜景 彫刻～素材の魅力～	
12月14日	6
1月4日	4
1月11日	2
1月18日	20
1月25日	8
2月8日	1
2月15日	2
2月22日	2
第2期小計	45
近代美術館の名品 バード・サンクチュアリ -鳥たちの造形- 静謐- 蕪木研爾の世界 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	
第3期小計	0
コレクション展合計	63

団体の受入れ

団体の来館者を受入れ、希望があった団体には作品解説等を行った。

2019年度団体観覧対応実施一覧。(申請があった団体のみ記載)

*印は解説等を行った団体

●一般団体		
コレクション展 第1期		
9月18日(水)	出雲崎総合大学	* 30名
9月19日(木)	長野県・山ノ内中央公民館	* 38名
9月22日(日)	胎内市教育委員会	14名
9月29日(日)	紫雲寺商工会女性部	14名
10月2日(水)	糸魚川市第4民児協	* 11名
10月2日(水)	東京美術クラブ	8名
10月12日(土)	魚沼更生福祉会 湯之谷工芸	26名
計7団体	小計	141名
PIXARのひみつ展		
10月27日(日)	両津北親会	19名
10月30日(水)	豊かな老後を歩む柏崎女性の会	* 23名
10月30日(水)	新潟教弘友の会	* 38名
10月31日(木)	新潟教弘友の会	* 35名
11月10日(日)	大和ハウス工業(株)	26名
11月10日(日)	斎藤清美術館友の会	10名
11月16日(土)	長岡福祉協会 ワークセンター千秋	20名
11月16日(土)	野いちご工房	24名
11月16日(土)	工房ゆきわり	14名
計8団体	小計	209名
コレクション展 第2期		
12月6日(金)	長岡市社会福祉協議会身体障害者デイサービス	16名
12月14日(土)	東和薬品 長岡営業所	10名
12月26日(水)	(有)はにわ	10名
計3団体	小計	36名
●大学		
PIXARのひみつ展		
11月9日(土)	上越教育大学	* 20名
11月21日(水)	長岡ビジネス専門学校	11名
計2団体	小計	31名
●幼稚園・保育園		
PIXARのひみつ展 (引率)		
10月31日(水)	みしま中央こども園	5歳 40名 (5名)
11月6日(水)	西部保育園	年少～年長 48名 (7名)
11月8日(金)	みしま中央こども園	3歳 57名 (9名)
11月8日(金)	第一幼稚園	年少～年長 41名 (6名)
11月8日(金)	みしま中央こども園	4歳 56名 (9名)
11月12日(火)	中島幼稚園・わくわく保育園	年少～年長 91名 (14名)
11月15日(金)	長岡・鵬幼稚園	年少～年長 63名 (14名)
計5団体	小計	460名
総合計	25団体	877名

学校教育との連携

●**図工・美術、および部活動での利用**
 学校のカリキュラムで来館した学校等団体に展覧会鑑賞の機会を提供した。
 「PIXARのひみつ展」は科学的な内容の展覧会でありながら多くの人が鑑賞体験のある3Dアニメーション映画で、多くの学校団体が来館したが、できる限り状況を見ながらコレクション展での対話型鑑賞の実施も勧め、実施した。

[対話型鑑賞の実施]

(児童・生徒496名+引率47名)

10月16日(水)	長岡市立上組小学校	小6	82名(4名)
10月4日(木)	十日町市にこやかルーム(適応)	小3~中3	8名(3名)
10月29日(火)	小千谷市立小千谷小学校	小5	34名(3名)
11月1日(金)	小千谷市立東小千谷小学校	小5	48名(4名)
11月1日(金)	小千谷市立東山小学校	小5	6名(2名)
11月1日(金)	十日町市立水沢小学校	小3	34名(3名)
11月6日(水)	小千谷市立吉谷小学校	小5	10名(1名)
11月6日(水)	小千谷市立和泉小学校	小5	16名(3名)
11月7日(木)	小千谷市立小千谷小学校	小5	71名(4名)
11月8日(金)	小千谷市立片貝小学校	小5	26名(2名)
11月13日(水)	長岡市立堤岡中学校	特支1~3年	5名(3名)
11月13日(水)	小千谷市立小千谷小学校	小5	71名(3名)
11月15日(金)	小千谷市立南小学校	小5	12名(1名)
11月15日(金)	長岡市立栃尾南小学校	小5	50名(3名)
11月19日(火)	長岡市立小国小・中学校	特支小1~中3	18名(7名)
12月4日(水)	長岡市立大島中学校	2年	5名(1名)

[展覧会解説の実施]

PIXARのひみつ展 ※概要のみ

(生徒181名+引率11名)

11月12日(火)	新潟県立長岡商業高等学校	2年	39名(2名)
11月13日(水)	新潟県立長岡商業高等学校	2年	37名(3名)
11月14日(木)	新潟県立長岡商業高等学校	2年	36名(2名)
11月14日(木)	新潟県立長岡商業高等学校	2年	37名(2名)
11月15日(金)	新潟県立長岡商業高等学校	2年	32名(2名)

[展覧会鑑賞のみ]

(児童・生徒472名+引率126名)

コレクション展 第1期

9月19日(木) 見附・見附特別支援学校 中学部1年 4名(3名)

PIXARのひみつ展

10月18日(金)	小千谷市立総合支援学校	小1~6	8名(6名)
10月18日(金)	新潟県立小千谷西高校	高3	133名(10名)
10月19日(土)	上越市立直江津東中学校	中1~2	5名(1名)
10月24日(木)	見附市立新潟小学校	小2	13名(3名)
10月24日(木)	長岡市立高等総合支援学校	重複	5名(6名)
10月25日(金)	小千谷市立総合支援学校	中学部	10名(6名)

11月1日(金)	長岡市立与板小学校	特支1~6年	19名(6名)
11月1日(金)	十日町市立ふれあいの丘支援学校	中学部	24名(9名)
11月1日(金)	柏崎市立北鱈石小学校	小5	18名(2名)
11月1日(金)	長岡市立高等総合支援学校	高等部	53名(24名)
11月8日(金)	長岡市立総合支援学校	中学部	5名(8名)
11月12日(火)	三条・栄中央小学校	6年	49名(2名)
11月14日(木)	長岡市立浦瀬小学校	特支1~3年	4名(2名)
11月19日(火)	県立柏崎特別支援学校のまぐ分校	中学部	10名(6名)
11月19日(火)	県立長岡豊学校	小1・2	5名(2名)
11月20日(水)	見附市立西中学校	特支1~3年	6名(6名)
11月20日(水)	見附市立見附中学校	特支1~3年	8名(4名)
11月21日(木)	長岡市立宮内小学校	特支	21名(6名)
11月21日(木)	上越市立城北中学校	特支1~3年	20名(8名)
11月23日(土)	魚沼市立堀之内中学校	美術部	10名(2名)

コレクション展 第2期

1月11日(土) 魚沼市立小出中学校 11名(1名)

1964年 東京-新潟

1月31日(金) 長岡市立高等総合支援学校 高等部1年 5名(1名)
 2月8日(土) 創進高等学校 高1・2 26名(2名)

●職場訪問

学校からの要望に応じて、職場訪問を受け入れ、生徒が予め用意してきた質問に学芸員が回答した。

10月30日(水) 長岡市立刈谷田中学校 2年 6名

●職場体験

学校からの要望に応じて、職場体験を受け入れた。(1日日程)

10月3日(木) 長岡市立江陽中学校 2年 1名

●教員研修会の受入れ

要望があった場合、学校教員の研修会の会場として館の施設を提供。研修会の講師および展覧会の解説等を行った。(館外で実施した研修会3件については、「調査・研究」の「講演・講義等」項を参照のこと)

11月7日(木) 長岡市三島郡美術教育研究会 23名

観覧料免除

新潟県立近代美術館規則第13条の規定に基づき、学校教育活動として観覧する場合の生徒及び小中学校・特別支援学校・高等学校の引率者、心身障がい者及びその介助者等に対し、観覧料を免除した。なお、改修工事による休館のため、夏休み期間の観覧料免除は実施していない。

また、学校からの要請があった場合、その内容に応じて解説・案内・レクチャーなどを行った。

月	期間	日数	開催企画展名称	企 画 展									コレクション展									月計													
				学 校 等						障がい者	介助	合計	学 校 等						障がい者	介助	合計														
				小中			高校						小中			高校																			
				校数	児童・生徒	引率	校数	生徒	引率				校数	児童・生徒	引率	校数	生徒	引率																	
9	14~29	14																							0	1	(4)	3	0	0	0	64	12	79	79
10	1~11	10																							0	0	0	0	0	0	0	13	10	23	697
	12~31	17	PIXARのひみつ展	6	(152)	22	2	138	15	380	117	672	0	0	0	0	0	0	2		2														
11	1~24	21		25	(566)	99	5	234	29	659	211	1,232	0	0	0	0	0	0	3	2	5	1,237													
	26~30	5																0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
12	1~8	7																0	0	0	1	0	0	0	15	9	25	33							
	12~28	15																0	0	0	0	0	0	0	8	0	8								
1	4~24	18																0	0	0	0	0	0	0	30	5	35	58							
	25~31	6					1	5	1	10	6	22	0	0	0	0	0	0	1	0	1														
2	1~29	25	1964年 東京—新潟展				1	26	2	53	17	98	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98								
3	1~22	19								2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3								
	26~31	5										0														0									
合 計			162				31	(718)	121	9	403	47	1,104	352	2,027	1	(4)	4	0	0	0	0	136	38	178	2,205									

* 小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒は観覧料無料のため、免除者数には含まない。(表中カッコ書きの数値)

* 10/13は台風19号の影響による河川増水のため、午後臨時休館。

* 3/2~3/31は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館。

博物館実習

【趣 旨】

学芸員資格取得を目指す学生等のための博物館実習を実施し、2名の実習生を受け入れた。美術館学芸員の諸業務に関する講義のほか、各分野の作品の取り扱いについて実習を行った。後半には「展覧会計画」として、展覧会を計画・立案、図面や要項の作成を体験する演習を行った。学芸業務を実際に体験させることに重点をおいた。

【実習期間】

12月12日(木)～12月20日(金) ※土・日・祝日を除く

【実習生の所属および受け入れ人数】

明治大学 1名

長岡造形大学 1名

【カリキュラム】

月日	時限	内 容	担 当
12月12日(木)	1	開講式／オリエンテーション／展覧会見学	館長・副館長／松本
	2	バックヤード見学	松本
	3	講義：博物館運営に関わる法律・現在の博物館を取り巻く状況	藤田
	4	講義：美術館の改修について	藤田
12月13日(金)	1	講義：学芸課の業務 展覧会の企画から	藤田
	2	実習：展覧会計画(1) テーマ検討	松本・伊澤・藤田
	3	実習：作品の取り扱い・点検(平面作品)	松矢・松本
	4		
12月16日(月) 休館日	1	講義：ミュージアムエデュケーション	宮下
	2	実習：作品の取り扱い・展示(平面作品・展示室)	松矢・松本
	3		
	4	講義：作品の保存・修復	松矢
12月17日(火)	1	実習：作品の取り扱い・展示(軸・屏風)	宮下
	2		
	3	実習：作品の取り扱い・展示(彫刻)	伊澤
	4	講義：総務課の業務(含館内で働く人々)／嘱託員の仕事	後藤／嘱託員
12月18日(水)	1	講義：美術館の広報／地域との連携 友の会	村山／山本
	2	実習：作品の取り扱い・展示(工芸)	藤田
	3	実習：展覧会計画(2) 要項作成	松本・伊澤・平石・藤田
	4		
12月19日(木)	1	講義：作品の調査研究	松矢
	2	講義：作品の収集・分類・保管／データベース管理	平石／濱田
	3	実習：展覧会計画(3) リスト確定・図面作成	松本・伊澤・平石・藤田
	4		
12月20日(金)	1	実習：展覧会計画(4) 発表準備	松本・伊澤・平石・藤田
	2		
	3	実習：展覧会計画(5) 発表・講評／閉講式	学芸課／館長・副館長
	4		

8時50分出勤 実習場所は会議室を基本とする

①9:00～10:20 (80分) ②10:40～12:00 (80分)

③13:10～14:30 (80分) ④14:50～16:10 (80分)

担当 松本奈穂子

イベント

講演会等

開催日	時間	関連展覧会名	演題等	講師等	内容	対象等	会場	参加者数
10月5日(土)	14:00~ 15:30	乙女のデザイン 大正イマジユリ の世界	ギャラリートーク	山田俊幸氏(元帝塚 山学院大学教授・日 本絵葉書会会長)	展覧会監修者が、展覧会担当者の 質問に応じる形で出品作品につい て解説した。	一般 要観覧券	展示室	50
10月22日 (火・祝)	14:00~ 16:00	乙女のデザイン 大正イマジユリ の世界	『新潟日報』連載 「押し入れの中の 文化財」あれこれ —絵はがきの楽し み—	山田俊幸氏(元帝塚 山学院大学教授・日 本絵葉書会会長)	展覧会監修者が、展覧会担当者の 質問に応じる形で絵はがきの歴史 と魅力を紹介した。その後、参加 者が持参した絵はがきを鑑定し た。	一般 聴講無料	NICOプラザ会議室 (万代島ビル11階)	30

計80名

ワークショップ

開催日	時間	関連展覧会名	演題等	講師等	内容	対象等	会場	参加者数
6月1日(土)	13:00~ 15:00	コロナ!びじゅつ	カラダで描こう— 星野真吾の〈人拓〉 体験	宮下東子(近代美術 館専門学芸員) 村山裕之(近代美術 館学芸課長代理)	展覧会出品作家・星野真吾の人拓 技法にならい、参加者が手足など にでんぷん糊を塗り、紙に押しあ て、色砂を振りかけて作品を制作 した。	一般 要観覧券	美術館ロビー・ 展示室	7
10月26日(土)	11:00~ / 14:30~	乙女のデザイン 大正イマジユリ の世界	にいがたもよう ワークショップ	にいがたもよう研究所	新潟をモチーフにした色とりどりの 用紙を使用して、ガーランドを 作成した。	一般 参加無料	美術館ロビー	21
12月15日(日)	11:00~	タータン展 伝統 と革新のデザイン	パーソナルカラー で自分に似合うター タンを知ろう!	パーソナルカラー& 専属スタイリストサ ロンAlice	講師の説明後、セルフカラー診断 チャートを用いて、参加者自身が 似合う色彩タイプを知る。	一般 要観覧券	展示室	110
1月19日(日)	100							
2月16日(日)	118							
12月22日(日)	12:00~ 16:00	タータン展 伝統 と革新のデザイン	タータン風プロ チを作ろう!	桐原浩(当館業務課 長) 池田珠緒(当館主任 学芸員)	参加者がお好みのリボンを選び、 縦横に配置して格子柄の缶バッヂ (プロチ)を作成した。	一般 参加無料	美術館ロビー	110
1月5日(日)	111							

計577名

その他のイベント

開催日	時間	関連展覧会名	演題等	講師等	内容	対象等	会場	参加者数
7月20日(土)	13:00~ / 15:30~	MOE 40th Anniversary 人気 絵本のひみつ展	島田ゆかサイン会	島田ゆか氏 (出品作家)	展覧会出品作家によるイラスト入 りのサイン会。	一般	美術館ロビー	100
8月25日(日)	14:00~ 16:40	MOE 40th Anniversary 人気 絵本のひみつ展	なかやみわ ト ーク&サイン会	なかやみわ氏 (出品作家)	展覧会出品作家が、展覧会担当者 の質問に応じる形でトークを行っ た。その後、サイン会を実施した。	一般 参加無料 (トーク) 要申込 (サイン会)	美術館ロビー	80 (トーク) 50 (サイン会)
7月28日(日)	14:00~ 14:40	MOE 40th Anniversary 人気 絵本のひみつ展	絵本の読み聞かせ	久保田紗也加氏 (TeNYテレビ新潟アナウンサー)	展示室内の絵本コーナーを会場と した、絵本の読み聞かせ。	一般 要観覧券	展示室	80
7月31日(水)	11:00~ 11:30			ほんぽーと新潟市立 中央図書館司書				25
9月15日(日)	11:00~ 11:30			ほんぽーと新潟市立 中央図書館司書				70

小計405名

総合計1,062名

刊行物

刊行物名	概要	仕様	発行部数	発行日	内容
令和元年度年間スケジュール	令和元年度の企画展と所蔵品展の日程及び内容などをまとめたもの。	A4判 観音四つ折り	55,000部	2019年 4月1日	展覧会予定／開館カレンダー／新潟県立近代美術館の企画展／美術鑑賞講座・講演会など／観覧料免除／乳幼児・障害者向け施設案内／サポートメンバー募集／ミュージアムショップ案内／友の会案内／新潟市内の美術館・博物館案内／駐車場案内／交通案内
新潟県立万代島美術館たより「B.island」No.18	美術館からの情報発信として一般来館者向けに編集したものを。	A3判二つ折り (A4判) 4頁	5,000部	2019年 4月1日	2019年度の企画展／研究ノート「土田麦僊《蔬菜》と新潟の支援者たち」、「恩田耕作《佐渡海府風景》の取材地について」／昨年度の展覧会から「みんなのレオ・レオー二展」、「特集展示 15歳のバンビー—新潟県立万代島美術館の歩み」、[NIIGATAアートリンク共催 開館15年記念トークセッション]／今年度の展覧会から「タータン」を知っていますか？／NIIGATAアートリンク／ミュージアムショップBANBI／サポートメンバーを募集しています／新潟県立近代美術館の企画展／館基本情報、交通案内
新潟県立近代美術館 研究紀要 第18号	学芸員による研究報告	A4判 46頁	400部	2020年 3月13日	・澤田佳三「萬籟五郎の「原人」一禅を視点とする解釈」 ・伊澤朋美「丸井今井邸武石弘三郎作品調査報告と平成30年度受贈今井藤七像について」 ・松矢国憲「江口草玄における初期書学期の鈴木鳴鐸『碧樹』・『蒼穹』の影響についての考察」 ・英文要旨

作品解説会

来館者サービスの一環として、展覧会の会期中に展覧会への理解を深め、より充実した鑑賞の機会となるよう学芸員による作品解説会等を行った。
*印は近代美術館の学芸員が担当した。

所蔵品展	企画展	企画展
コレナニ!?びじゅつ	写真家 ソール・ライター展	乙女のデザイン 大正イマジユリィの世界
期日 5月26日(日)* 6月16日(日)* 6月30日(日)* (3回)	期日 4月14日(日) 4月28日(日) (2回)	期日 11月10日(日) (1回)
人数 20名 12名 21名	人数 33名 20名	人数 35名
小計 53名	小計 53名	小計 35名
		総合計 6回 141名

団体の受入れ

団体来館のうち、希望に応じて作品解説や施設紹介等を行った。一覧は把握した団体のみを記載。

*印は解説等を行った団体

●一般団体

ソール・ライター展

4月19日(金)	胎内市教育委員会	11名
計1団体	小計	11名

所蔵品展 コレナニ!?びじゅつ

6月11日(火)	柏崎シニア合唱団	46名
6月13日(木)	夢工房しばくさ	15名
6月15日(土)	五泉市教育委員会	15名
6月22日(土)	ハートワーク高浜	19名
計4団体	小計	95名

人気絵本のひみつ展

7月18日(木)	チャレンジ夢クラブ	25名
8月4日(日)	新潟県腎臓病患者友の会	10名
8月17日(土)	ワーキングサポートセンター スタンバイ	22名
8月29日(木)	地域活動支援センター フリースペースみのり	21名
9月4日(水)	おはなしお母さんの会	11名
9月7日(土)	放課後等デイサービス オハナ魁	12名
9月10日(火)	日本紀行	25名
9月15日(日)	見附市図書館	23名
9月15日(日)	ひこうきぐもサークル	7名
9月22日(日)	胎内市教育委員会	14名
9月22日(日)	胎内市ふたば保育園	12名
計11団体	小計	182名

乙女のデザイン

10月15日(火)	三条市立図書館 蛍光会	* 21名
10月18日(金)	十日町障害福祉センター	22名
10月19日(土)	新潟県立美術館友の会	14名
11月9日(土)	放課後等デイサービス みいむ	11名
11月16日(土)	NPO法人 ころろ楽楽	7名
11月19日(火)	万代、ガブリエル	22名
計6団体	小計	97名

タータン展

12月26日(木)	放課後等デイサービス みいむ	10名
1月10日(金)	大洲コミュニティセンター	27名
1月25日(土)	NPO法人 ころろ楽楽	11名
2月1日(土)	NPO法人 ころろ楽楽	6名
2月11日(火)	NPO法人 らびすらすり	13名
2月13日(木)	新潟日報カルチャースクール	12名
2月19日(水)	新潟県立生涯学習推進センター	11名
計7団体	小計	90名

●幼稚園・保育園

人気絵本のひみつ展		(引率)
9月12日(木)	みどり幼稚園	27名(6名)
9月20日(金)	エンジェル保育園	19名(1名)
計2団体	小計	53名

合計 31団体 528名

学校教育との連携

●**図工・美術の授業及び部活動での利用－展覧会の鑑賞**
 学校のカリキュラム等で来館した学校団体に展覧会の鑑賞の機会を提供した。
 特に希望のあった学校団体に関しては、学芸員による作品解説を行った。

[学芸員による作品解説を行った学校] 782名
 (児童・生徒735名+引率者47名)

コレナニ!? びじゅつ

- 6月14日(金) 新潟市立本丸中学校 (1～3年) 28名(3名)
- 6月19日(水) 新潟市立東新潟中学校 (1、2年) 22名(2名)
- 6月25日(火) 新潟市立宮浦中学校 (1～3年) 8名(3名)

MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展

- 7月17日(水) 新潟市立東新潟中学校 (1年) 169名(10名)
- 8月1日(水) 五泉市立五泉中学校 (1～3年) 13名(1名)
- 8月2日(金) 新潟市横越中学校 (1～3年) 11名(1名)
- 8月27日(火) 新潟県立新潟商業高等学校 (2年) 113名(3名)
- 8月28日(水) 新潟県立新潟商業高等学校 (2年) 161名(4名)
- 8月29日(木) 新潟県立新潟商業高等学校 (2年) 78名(3名)
- 9月5日(水) 日本マンガ・アニメ専門学校 16名
- 9月18日(水) 新潟市立川東中学校 30名(10名)
- 9月19日(木) 新潟市立両川小学校 (2年) 21名(3名)

乙女のデザイン 大正イマジユリの世界

- 11月13日(水) ヒューマンキャンパス高等学校 65名(4名)

[展覧会鑑賞のみの学校] 444名
 (児童・生徒386名+引率者58名)

写真家 ソール・ライター展

- 4月27日(土) 新潟県立新潟向陽高等学校 18名(2名)
- 5月7日(火) 国際トータルファッション専門学校 19名(1名)

コレナニ!? びじゅつ

- 6月7日(金) 新潟市立明鏡高等学校 (定時制課程) 20名(4名)
- 6月9日(日) 南魚沼市立大和中学校 (1～3年) 19名(1名)
- 6月27日(水) 喜多方市立山都中学校 (2年) 5名
- 6月28日(金) 会津坂下市立坂下中学校 (2年) 6名
- 6月29日(土) 新潟市立横越中学校 (1年) 4名(2名)
- 6月30日(日) 新潟大学 7名

MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展

- 7月13日(土) 三条市立大崎学園 (2、3年) 10名(1名)
- 7月17日(水) 新潟県立江南高等特別支援学校 (3年) 20名(3名)
- 7月17日(水) 新潟大学教育学部付属特別支援学校 (1～3年) 24名(8名)
- 7月18日(木) 新潟市立万代長嶺小学校 (4～6年) 7名(1名)
- 8月2日(金) 新潟市立大江山中学校 (1、3年) 4名(1名)
- 8月2日(金) 新潟市立黒崎中学校 (1～3年) 24名(2名)
- 8月7日(水) 村上市立荒川中学校 21名(2名)
- 8月7日(水) 加茂市立桑中学校 (1年) 7名(1名)
- 8月7日(水) 長岡市立岡南中学校 (1～3年) 21名(2名)
- 8月8日(木) 燕市立燕中学校 (1、2年) 12名(1名)
- 8月8日(木) 新潟県立新潟向陽高等学校 8名(1名)
- 8月12日(月) 新潟県立新発田南高等学校 (1～3年) 6名(1名)
- 9月4日(水) 開志学園高等学校 (1～3年) 27名(3名)
- 9月10日(火) 新潟県立はまぐみ特別支援学校 1名(4名)
- 9月11日(水) つくば開成学園高等学校新潟 8名(2名)
- 9月20日(金) 日本マンガ・アニメ専門学校 21名(1名)

乙女のデザイン 大正イマジユリの世界

- 10月15日(火) 日本マンガ・アニメ専門学校 16名
- 10月17日(木) 新潟県立東新潟特別支援学校 (高等部1年) 11名(10名)
- 10月24日(水) 新潟市立猿橋中学校 13名
- 10月24日(水) 新潟市立五十嵐中学校 (1年) 10名

タータン展 伝統と革新のデザイン

- 12月17日(火) 精華学園高等学校新潟中央校 (2年) 3名(2名)
- 12月19日(木) 新潟県立長岡商業高等学校 (1、2年) 14名(2名)

●**校外学習・総合学習**
 学校教育、特に中学校の校外学習及び総合学習での利用に供した。希望のあった場合は目的に応じて施設や職業に関する質問への対応や案内を行った。

[学芸員による解説を行った学校] 4名
 (生徒4名+引率者0名)

MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展

- 7月18日(水) 新潟市立鳥屋野中学校 (2年) 4名

[展覧会鑑賞のみの学校] 6名
 (生徒5名+引率者1名)

写真家 ソール・ライター展

- 4月26日(金) 新潟市立岩室中学校 (2年) 5名(1名)

観覧料免除

新潟県立近代美術館規則第13条の規定に基づき、学校教育活動として観覧する場合の生徒及び小中学校・特別支援学校・高等学校の引率者、心身障害者及びその介助者等に対し、観覧料を免除した。

また、学校からの要請があった場合、その内容に応じて解説・案内・レクチャーなどを行った。

展覧会名	会期	日数	学 校 等						障害者	介助	合 計
			小中・特			高校					
			校数	児童・生徒	引率	校数	生徒	引率			
写真家 ソール・ライター展	4月1日～5月9日	37	1	(5)	1	1	18	2	298	49	368
コロナニ!? びじゅつ	5月25日～6月30日	34	7	(92)	11	1	20	4	206	56	297
MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展	7月13日～9月23日	69	15	(355)	40	19	464	26	870	246	1,646
乙女のデザイン 大正イマジユリィの世界	10月5日～11月24日	48	2	(23)	0	2	76	14	264	57	411
タータン展 伝統と革新のデザイン	12月14日～3月1日	67	0	(0)	0	2	17	4	556	125	702
合 計		255	25	(475)	52	25	595	50	2,194	533	3,424

*小中学校、中学校及び特別支援学校（初等部・中等部）の児童生徒は観覧料無料のため、合計には含まない。（表中カッコ書きの数値）

夏休み期間 観覧料免除者数（再掲）

展覧会名	期間	日数	校数	生徒
MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展	7月13日～9月23日	69	11	27

サポートメンバー (新潟県立万代島美術館ボランティア組織)

新潟県立万代島美術館では、美術館と県民とをより親しく結びつけることを目的として、新潟県立万代島美術館サポートメンバーを組織している。本年度は下記のとおり活動を行った。

【ねらい】

- 1 来館者に生涯学習の機会と場を提供する。
- 2 美術館の活動を共有し、美術館への関心と関わりを深めることにより、美術館の愛好者を増大する。

【登録人数】 (R2年3月現在)

10名

【活動内容】

展覧会に付随するイベントへの協力、万代島美術館の活動や展覧会業務に必要な活動への協力

- ・各展覧会広報活動（ポスター、チラシ発送）への協力
- ・書籍整理
- ・「MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展」トーク&サイン会補助
- ・「タータン展」ワークショップ補助

【課題】

活動の機会を増やせるよう、各メンバーの希望や資質を踏まえながら検討する。

博物館実習

【趣旨】

学芸員資格取得を目指す学生のために博物館実習を実施し、8名の実習生を受け入れた。各分野についての講義の他、作品の点検・取扱いの指導も行った。研究課題として所蔵品を使った展覧会企画を各グループで発表し、学芸員の仕事について学んだ実習の総まとめとした。

【実習期間】

11月6日(水)～13日(水) ※土・日を除く計6日間

【実習生の所属および受入人数】

新潟大学 3名
長岡造形大学 2名
専修大学 1名
八洲学園大学 1名
群馬県立女子大学 1名 合計8名

【カリキュラム】

月日	曜日	時限	内 容	担 当
11月6日	水	1	開校式／館長挨拶／オリエンテーション／施設案内	館長・長嶋(課員)
		2	万代島美術館の現状と課題	館長・桐原
		3	展示室内・企画展見学	池田
		4	研究課題(課題説明、テーマ・作品決定)	長嶋(池田)
11月7日	木	1	展覧会の企画・運営／総論	桐原
		2	調査研究／作品収集／保存・修復	澤田
		3	作品の点検・取扱い(平面)	澤田
		4	研究課題(資料作成)	長嶋(池田)
11月8日	金	1	連携・協働(アートリンク)／広報／所蔵品貸出	長嶋
		2	ギャラリートーク準備	池田
		3	作品の点検・取扱い(日本画)	長嶋
		4	研究課題(資料作成)	長嶋(池田)
11月11日	月	1	教育普及事業／刊行物／ホームページ／データベース	今井
		2	友の会・サポートメンバー／作家資料の保管	池田
		3	ギャラリートーク	館長・学芸
		4	研究課題(資料作成)	長嶋(池田)
11月12日	火	1	受付・監視の仕事	嘱託員
		2	総務担当の業務について(予算・人事等)	和田
		3	作品の点検・取扱い(立体・写真)	桐原
		4	研究課題(資料作成)	長嶋(池田)
11月13日	水	1	研究課題(発表準備)	長嶋・池田
		2	研究課題(配付資料準備)	長嶋・池田
		3	課題発表・講評	館長・学芸
		4	閉校式	館長・長嶋

※10:10出勤 実習場所：準備室

①10:10～11:30(80分) ②11:50～13:10(80分)

③14:15～15:35(80分) ④15:55～17:15(80分)

担当：長嶋圭哉、池田珠緒

新潟県立近代美術館

【調査】

展覧会関連

- 濱田真由美 久保田成子展聞き取り調査・イメージフォーラム
4月16日
- 松本奈穂子・藤田裕彦
PIXARのひみつ展及びウィリアム・モリス展作
品調査等・六本木森ビル他 4月21～23日
- 平石昌子・重高優子
PIXARのひみつ展作品調査・六本木森ビル 5
月9日
- 濱田真由美 久保田成子展作品調査・金沢21世紀美術館、富
山県美術館 6月6～7日
- 伊澤朋美・藤田裕彦・松本奈穂子・濱田真由美
教育普及施設調査及び三沢厚彦展打合せ・富山県
美術館 6月7日
- 宮下東子 橋本龍美展作品調査・都内 6月18日
- 伊澤朋美・藤田裕彦
三沢厚彦展打合せ・神奈川県茅ヶ崎市 6月19日
- 濱田真由美 久保田成子展調査・国立国際美術館、大阪府 7
月1日
- 濱田真由美 久保田成子展聞き取り調査・東京都現代美術館
7月22～23日
- 濱田真由美 1964年展作品調査・新潟市美術館 9月19日
- 濱田真由美 久保田成子展作品調査・ニューヨーク、アメリカ
10月9～20日
- 伊澤朋美・藤田裕彦
三沢厚彦展聞き取り調査・神奈川県茅ヶ崎市
11月21日
- 松本奈穂子 田畑あきら子作品調査・都内 1月27日
- 松本奈穂子 田畑あきら子作品調査・都内 2月14日
- 藤田裕彦 中村忠二作品調査・練馬区立美術館 2月27日
- 伊澤朋美・藤田裕彦
三沢厚彦コレクション作品調査・神奈川県茅ヶ崎
市 2月28日

作品・作家調査

- 水野敬三郎 (当館名誉館長)・松矢国憲・伊澤朋美
仏像調査・新潟県歴史博物館、南魚沼市、長福寺
4月26～27日
- 藤田裕彦 亀倉雄策旧蔵作品調査・東京ステーションギャラ
リー 6月10日
- 宮下東子・長嶋圭哉 (万代島美術館主任学芸員)
田村豪湖作品調査・南魚沼市個人宅 7月26日
- 藤田裕彦 二代宮川香山作品調査・新潟市個人宅 11月5日
- 平石昌子 堀口大學及び小林ドンゲ作品調査・創形美術学校
1月17日

【図録執筆】

- 「1964年東京-新潟」図録 1月23日
- 濱田真由美 エッセイ「1964年の美術：地方からの逆襲」、
扉解説「第1章 東京オリンピックと美術」「第2
章 同時代美術の諸相」「第3章 新潟の新しい美
術館：長岡現代美術館とBSN新潟美術館」「第4
章 ドキュメント・長岡現代美術館」及び作家略
歴

- 藤田裕彦 エッセイ「「1964年」という年」、コラム「オリ
ンピック開催記念催事のさまざま」、「斎藤義重の
《大智浄光》について」及び1964年のキーワ
ード、作家略歴
- 松矢国憲 年表(1960年-1968年)及び作家略歴
- 伊澤朋美 作家略歴

【研究紀要】

- 新潟県立近代美術館研究紀要 第18号 2020年3月13日
- 伊澤朋美 「丸井今井邸武石弘三郎作品調査報告と平成30
年受贈今井藤七像について」
- 松矢国憲 「江口草玄における初期書学期の鈴木鳴鐘「碧樹」・
「蒼穹」の影響についての考察」

【寄稿】

- 新聞
企画展関連
- 平石昌子 新潟日報「アニメ支えるCGを体験 ピクサーの
ひみつ展～いのちを生みだすサイエンス～来月
12日～11月24日 県立近代美術館 みどころ
完璧な技術 感動に深み」 9月8日
- 上記以外
- 濱田真由美 新潟日報・展覧会へようこそ「霜鳥健二一鉄の彫
刻展-」(5/21～6/9) 豊栄地区公民館 5月
21日
- 藤田裕彦 新潟日報・展覧会へようこそ「坂爪勝幸 陶展」
(6/22～8/18) 胎内市美術館 7月24日

【講演・講義等】

- 新潟大学人文学部 (美術史概説A)
- 濱田真由美 ①「イントロ 全体の流れと方法論等」10月2日
- 松本奈穂子 ②「ゴシック イタリア」10月9日
- 松本奈穂子 ③「初期ルネサンス(1400年代まで) イタリア」10月16日
- 平石昌子 ④「近代美術 18世紀フランス美術」11月20日
- 平石昌子 ⑤「近代美術 ロマン主義」12月4日
- 平石昌子 ⑥「近代美術 レアリスム」12月11日
- 平石昌子 ⑦「近代美術 世紀末美術家」12月18日
- 濱田真由美 ⑧「20世紀美術1 世紀前半の欧米美術」1月15日
- 藤田裕彦 ⑨「20世紀美術4 戦後・現代」2月5日

まちなかキャンパス長岡「県立近代美術館を新しい角度から眺
めてみる」(5回連続講座)

各回19:00～20:30 ※当館では4回分を担当

- 濱田真由美 第1回・学芸員おススメの美術館 6月19日
- 藤田裕彦 第2回・今日の「美術館」に関わるいくつかの事
情 6月26日
- 松矢国憲 第3回・近代美術館の改修の秘密 7月3日
- 宮下東子 第4回・鑑賞ってムスカシイ?～美術館の鑑賞教
育～ 7月10日

一般関係

濱田真由美 「近代美術館の魅力」長岡ロータリークラブ卓話
講師・長岡グランドホテル 11月5日

学校関係

宮下東子 燕市西蒲原郡小学校教育研究会講演会講師・燕市
分水北小学校 6月5日
宮下東子 魚沼市教育振興会図工部研修会講師・魚沼市立伊
米ヶ崎小学校 8月1日
宮下東子 村上市岩船郡中学校教育研究会美術部研修会講
師・村上市立村上中学校 11月6日
宮下東子 長岡市三島郡美術教育研究会美術館賞研修会講
師・近代美術館 11月7日

【研修】

藤田裕彦・松矢国憲・濱田真由美・松本奈穂子
新潟県博物館協議会学芸員研修会・北方文化博物
館 6月27日
松本奈穂子 保存担当学芸員研修・東京文化財研究所 7月8
～12日、7月16～19日

【審査等】

藤田裕彦 新潟市美術館美術資料購入候補作品額評価・新潟
市美術館 1月15日
松矢国憲 小林古径記念美術館収集委員会・上越市歴史博物
館 2月17日

【会議等】

藤田裕彦 公開承認施設担当者会議及び国宝重要文化財（美
術工芸品）防災・防犯研修会 6月20～21日
木村哲郎・藤田裕彦
2019年度美術館連絡協議会総会 10月31日
宮下東子・村山裕之・松本奈穂子
アートリンク2019普及部会 11月20日
藤田裕彦 「大災害時発生時における対策等に関する要項」
などにおける連絡網組織（ブロック本部館、副本
部館）会議・国立西洋美術館 11月21日
宮下東子 全国障害者芸術・文化祭企画会議・新潟県庁
1月29日

NIIGATAアートリンク2019 連絡会議

藤田裕彦・村山裕之・濱田真由美・松本奈穂子
第1回 新潟市美術館 6月25日
第2回 近代美術館 10月17日
第3回 新潟市新津美術館 1月30日

新潟県立万代島美術館

【調査】

展覧会関連

池田珠緒 大正イマジユリイ展関連調査
東京国立近代美術館 5月12日
石川県七尾美術館 8月2～3日

池田珠緒 岡本太郎展関連調査
太陽の塔 2月28日
高島屋資料館TOKYO 2月29日

作品調査

長嶋圭哉 天井画・仏像調査
三条市・長岡市・南魚沼市 4月26～27日
作品調査 近代美術館 9月14日
収集作品関連調査
東京文化財研究所 1月8日
長岡市立中央図書館 1月9日

池田珠緒 収集作品関連調査
新潟県立図書館 1月16日
長岡市立中央図書館 1月24日

池田珠緒・長嶋圭哉 収集作品関連調査
新潟市新津美術館 10月29日

桐原浩・澤田佳三・今井有・長嶋圭哉
寄贈作品関連調査
新潟市内 1月22日

作家調査

澤田佳三 萬鐵五郎関連調査
新潟県立図書館 6月19日、9月3日

長嶋圭哉 田村豪湖作品調査
南魚沼市内個人宅 7月26日
南魚沼市図書館、同市内個人宅 8月27日
竹内蘆風作品調査
長岡市長谷川邸 9月13日

桐原浩 佐々木林風関連調査
新潟県立図書館 1月8日
水島爾保布関連調査
新潟県立図書館 9月6日、1月8日、2月20日

池田珠緒 板谷波山関連調査
県立図書館 1月16日
長岡市立中央図書館 1月24日

【研究紀要】

新潟県立近代美術館研究紀要 第18号 2020年3月13日
澤田佳三 「萬鐵五郎の「原人」——禪を視点とする解釈」

【寄稿】

池田珠緒 新潟日報 「展覧会へようこそ 乙女のデザイン
大正イマジユリイの世界 大衆文化漂う印刷物、
版画」 11月13日

桐原浩 新潟日報 「展覧会へようこそ タータン展 多
種多様な柄、歴史追う」 1月30日

【講演・講義等】

新潟大学人文学部（美術史概説A）
桐原浩 ④「盛期ルネサンス（1400年代後半以降）イタリア」
10月23日
⑤「北方ルネサンス ネーデルラント・ドイツ」
10月30日
⑥「マニエリスム・バロック イタリア」
11月6日

今井有 ⑦「バロック オランダ・フランドル美術」
11月8日

桐原浩 ⑬「20世紀美術2 ドイツ表現主義を中心に」
1月22日

今井有 ⑭「20世紀美術3 バウハウスを中心に」
1月29日

澤田佳三 明治美術学会第4回例会「萬鐵五郎の雲と自画像」
明治美術学会 東京国立近代美術館 11月9日

【研修】

長嶋圭哉 新潟県博物館協議会学芸員研修会
北方文化博物館 6月27日
階層別研修 主査研修 新潟県自治研修所 11
月26日

池田珠緒 階層別研修 主査研修 新潟県自治研修所 11
月15日

【審査】

今井有 新潟デザイン専門学校卒業・修了制作展審査員
新潟市民芸術文化会館「りゅーとぴあ」4階ギャ
ラリー 2月8日

【会議等】

今井有 人気絵本のひみつ展打ち合わせ 銀座松屋本展
4月4日

齋藤今日子・桐原浩 第61回北信越博物館協議会 ホテルハイマー
ト、上越市 5月30日

桐原浩 タータン展打ち合わせ 浅記株式会社、見附 7
月2日

池田珠緒 乙女のデザイン展他会場視察 石川県七尾美術館
8月2日から8月4日

桐原浩 タータン展関連 学生試作審査立ち合い トキと
自然の学習館、長岡 8月7日

池田珠緒 乙女のデザイン展関連打ち合わせ キュレイター
ズ、東京 8月20日

齋藤今日子 美術館連絡協議会総会 よみうり大手町ホール
10月31日

桐原浩 タータン展打ち合わせ 長岡造形大学 11月
19日

長嶋圭哉 企画展打ち合わせ 近代美術館 11月22日

今井有 ルート・ブリュック展打ち合わせ ブルーシープ
事務所（武蔵野市） 2月12日

池田珠緒 岡本太郎展打ち合わせ 川崎市岡本太郎美術館
2月27日

NIIGATAアートリンク2019 連絡会議

今井有・長嶋圭哉
第1回 新潟市美術館 6月25日
第2回 近代美術館 10月17日
第3回 新潟市新津美術館 1月30日

【その他】

澤田佳三 1950年代展研究会 埼玉県立近代美術館
第7回 6月13日
第8回 9月18日
第9回 2月18日

美術品の収集

平成31・令和元年度 収集作品一覧

分野	各領域点数	合計点数
新潟の美術	資料1	1
日本の美術	日本画4 工芸2 版画8 素描3 資料22	39
世界の美術		0
総合計	日本画4 工芸2 版画8 素描3 資料23	40

●各作品データの記載順序は、下記の通り。

- 作者名 (和文・欧文)
- 生没年 (西暦・和暦)
- 作品名 (和文・欧文)
- 制作年 (西暦・和暦)
- 技法・素材・形状 (和文・欧文)
- 寸法
- 署名・落款・年紀・その他の記載事項
- 収蔵の年度・経緯
- 所蔵品番号

●寸法については、特に但し書きのない限り下記の通りに記載した。

- 平面作品…画面の縦×横(cm)
- (版画の場合はイメージサイズ、屏風の場合は例外を除き一隻の寸法)
- 立体作品…高さ×幅×奥行(cm)

新潟の美術



資料
久保田成子 KUBOTA, Shigeko
1937～2015 (昭和12～平成27)

『マルセル・デュシャンとジョン・ケージ』
Marcel Duchamp and John Cage
1970年 (昭和45)
インク、紙、ソノシート paper, ink, flexi disc
冊子
15.5×21.5×1.7cm
2019年度 (令和元)
久保田成子氏 寄贈
MA363

日本の美術



日本画
木村武山 (信太郎) KIMURA, Buzan (Shintaro)
1876～1942 (明治9～昭和17)

巣立 *Fledging*
1933年 (昭和8) 頃
日本画 Japanese-style painting
絹本彩色 color on silk
軸装
141.0×49.5
画面右下に署名「武山」、朱文方印「武山」
2019年度 (令和元)
寄贈 (高島博氏旧蔵)
JP552



日本画
下村観山 (晴三郎) SHIMOMURA, Kanzan (Seizaburo)
1873～1930 (明治6～昭和5)

普賢文殊 *Samantabhadra and Manjusri*
1909年 (明治42) 頃
日本画 Japanese-style painting
絹本 (金襴地) 彩色 color on gold brocade
軸装
各134.7×52.3
普賢:画面中央右寄り下に署名「観山」、朱文方印「観山」
文殊:画面中央下に署名「観山」、朱文方印「観山」
2019年度 (令和元)
寄贈 (高島博氏旧蔵)
JP553



日本画
寺崎廣業 (忠太郎) TERASAKI, Kogyo (Chutaro)
1866~1919 (慶応2~大正8)

白牡丹 *White Peony*
1905-6年 (明治38-9) 頃
日本画 Japanese-style painting
絹本彩色 color on silk
軸装
126.8×50.4
画面右下に署名「廣業」、朱文印「廣業」
2019年度 (令和元)
寄贈 (高島博氏旧蔵)
JP554



日本画
山元春拳 (金右衛門) YAMAMOTO, Shunkyo (Kinemon)
1871~1933 (明治4~昭和8)

峡谷清流図・深山風雪図
Clear Stream in the Gorge, Wind and Snow in the Deep Mountain
1932年 (昭和7)
日本画 Japanese-style painting
絹本彩色 color on silk
軸装
各136.7×42.5
右幅：画面右下に署名「春拳」、白文方印「山元寛」、朱文方印「古徹」／左幅：画面左下に署名「春拳」、白文方印「山元寛」、朱文方印「古徹」
2019年度 (令和元)
寄贈 (高島博氏旧蔵)
JP555



工芸
板谷波山 (嘉七) ITAYA, Hazan (Kashichi)
1872~1963 (明治5~昭和38)

青磁竹節香炉
Incense burner, incised bamboo joint design, celadon glaze
大正末-昭和初期
青磁 celadon
径9.0×高7.5
作品裏に印章
2019年度 (令和元)
寄贈 (高島博氏旧蔵)
CR210



工芸
二代 宮川香山 MIYAGAWA, Kozan II
1859~1940 (安政6~昭和15)

八幡古瓦
Ceramic Ornament: Pigeon on the Tile
1920年 (大正9) 頃
陶 ceramics
全長21×高22×幅9
作品瓦部分裏に印章
2019年度 (令和元)
清水大助氏 寄贈
CR211



版画
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

堀口大學像 (堀口大學詩集『夕の虹』試作)
Image of Daigaku Horiguchi (Poetry Book by Daigaku Horiguchi: Yube no niji)
1957年 (昭和32)
スピットバイト、紙、インク spit bite, paper, ink
シート
5.7×4.8
画面右下に署名「Donge. K.」紙右下に書き込み「自家用」
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
PR806



版画
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

堀口大學像 (堀口大學詩集『夕の虹』所収)
Image of Daigaku Horiguchi (Poetry Book by Daigaku Horiguchi: Yube no niji)
1957年 (昭和32)
エングレーヴィング、紙、インク
engraving, paper, ink
シート
5.7×4.8
画面下に書き込み「H.C.」「DONGE. K.」紙右下に「大學先生」
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
PR807



版画
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

マスク (堀口大學詩集『夕の虹』所収)
Mask (Poetry Book by Daigaku Horiguchi: Yube no niji)
1957年 (昭和32)
エングレーヴィング、エッチング、紙、インク
engraving, etching, paper, ink
シート
8.6×9.8
画面右下に署名「Donge K.」
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
PR808



版画
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

くも (堀口大學詩集『夕の虹』所収)
Spider (Poetry Book by Daigaku Horiguchi: Yube no niji)
1957年 (昭和32)
エングレーヴィング、エッチング、紙、インク
engraving, etching, paper, ink
シート
9.8×8.6
画面下に書き込み「9/20」 「DONGE K」 紙右下に「くも」
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
PR809



版画
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

月 (堀口大學詩集『夕の虹』所収)
Moon (Poetry Book by Daigaku Horiguchi: Yube no niji)
1957年 (昭和32)
エングレーヴィング、アクアチント、紙、インク
engraving, aquatint, paper, ink
シート
8.5×9.7
画面左下に書き込み「局紙」 「NO-1」
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
PR810



版画
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

花 (堀口大學詩集『夕の虹』所収)
Flower (Poetry Book by Daigaku Horiguchi: Yube no niji)
1957年 (昭和32)
エングレーヴィング、エッチング、アクアチント、紙、インク
engraving, etching, aquatint, paper, ink
シート
9.8×8.7
画面右下に署名「Donge K.」 紙右下に「自家用」
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
PR811



版画
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

銅版画集『小林ドンゲ蔵書票作品集』
Collection of Copperplate Prints: Collection of Donge Kobayashi's Bookplates Works
1979年 (昭和54)
エングレーヴィング、エッチング、アクアチント、紙、インク
engraving, etching, aquatint, paper, ink
シート
23.7×16.8 (紙寸)
各葉画面下に書き込み「1/75」 「DONGE K」
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
PR812



素描
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

スケッチブック (『沖に立つ虹』下絵)
Sketchbook for the Poetry Book: Oki ni tatsu niji
1974年 (昭和49)
紙、鉛筆、インク paper, pencil, ink
冊子
22.5×16.5
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
DR765



素描
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

スケッチブック (『小林ドンゲ蔵書票作品集』
下絵)
*Sketchbook for Collection of Donge
Kobayashi's Bookplate Works*
1979年 (昭和54)
紙、鉛筆 paper, pencil
冊子
16.9×24.6
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
DR766



素描
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

堀口大學詩文集『秋黄昏』表紙原画
*Original Drawing for Front Cover of
Daigaku Horiguchi's Poetry Collection:
Aki kokon*
1980年 (昭和55) 頃
紙、鉛筆 paper, pencil
シート
24.7×33.4
画面左下に頭文字「D.K」
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
DR767



資料
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

堀口大學像 (堀口大學詩集『夕の虹』銅版原版)
*Image of Daigaku Horiguchi
(Copperplate of Engraving for the
Poetry Book: Yube no niji)*
1957年 (昭和32)
銅 (スミ版)
copperplate
5.9×4.9
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA364



資料
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

マスク (堀口大學詩集『夕の虹』銅版原版)
*Mask (Copperplate of Engraving for
the Poetry Book: Yube no niji)*
1957年 (昭和32)
銅 (スミ版)
copperplate
8.8×10.0
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA365



資料
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

くも (堀口大學詩集『夕の虹』銅版原版)
*Spider (Copperplate of Engraving for
the Poetry Book: Yube no niji)*
1957年 (昭和32)
銅 (スミ版)
copperplate
10.0×8.9
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA366



資料
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

月 (堀口大學詩集『夕の虹』銅版原版)
*Moon (Copperplate of Engraving for
the Poetry Book: Yube no niji)*
1957年 (昭和32)
銅 (スミ版)
copperplate
8.8×9.9
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA367



資料
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

花 (堀口大學詩集『夕の虹』銅版原版)
Flower (Copperplate of Engraving for the Poetry Book: Yube no niji)
1957年 (昭和32)
銅 (スミ版) copperplate
10.0×8.9
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA368



資料
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

堀口大學詩集『沖に立つ虹』銅版原版 試作
Copperplate of Engraving for the Poetry Book: Oki ni tatsu niji (prototype)
1974年 (昭和49)
銅 (スミ版)
copperplate
6.9×6.9
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA369



資料
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

堀口大學詩集『沖に立つ虹』銅版原版 1
Copperplate of Engraving for the Poetry Book: Oki ni tatsu niji 1
1974年 (昭和49)
銅 (スミ版、メッキ)
copperplate
6.9×6.9
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA370



資料
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

堀口大學詩集『沖に立つ虹』銅版原版 2
Copperplate of Engraving for the Poetry Book: Oki ni tatsu niji 2
1974年 (昭和49)
銅 (スミ版、メッキ)
copperplate
9.9×6.9
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA371



資料
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

堀口大學詩集『沖に立つ虹』銅版原版 3
Copperplate of Engraving for the Poetry Book: Oki ni tatsu niji 3
1974年 (昭和49)
銅 (スミ版、メッキ)
copperplate
10.0×6.9
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA372



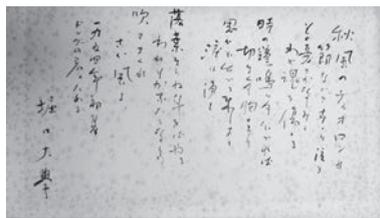
資料
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

堀口大學詩集『沖に立つ虹』銅版原版 4
Copperplate of Engraving for the Poetry Book: Oki ni tatsu niji 4
1974年 (昭和49)
銅 (スミ版、メッキ)
copperplate
9.9×6.9
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA373



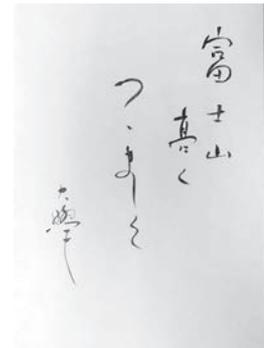
資料
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

堀口大學詩集『沖に立つ虹』銅版原版 5
Copperplate of Engraving for the Poetry Book: Oki ni tatsu niji 5
1974年 (昭和49)
銅 (スミ版、メッキ)
copperplate
9.9×6.9
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA374



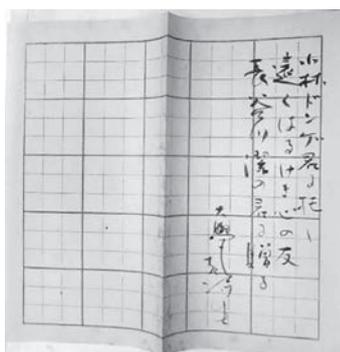
資料
堀口大學 HORIGUCHI, Daigaku
1892~1981 (明治25~昭和56)

「秋の歌」
Poem by Paul Verlaine: Autumn Song, translated by Daigaku Horiguchi
1954年 (昭和29)
紙、墨
paper, ink
33.5×55.5
末尾に年紀「一九五四年初夏」
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA375



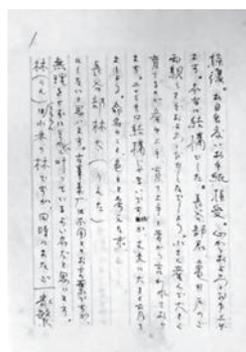
資料
堀口大學 HORIGUCHI, Daigaku
1892~1981 (明治25~昭和56)

「富士山高くつゝましく」
Poem by Daigaku Horiguchi: Fujisan takaku tsutsumashiku
不明
紙、墨
paper, ink
28.4×20.1
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA376



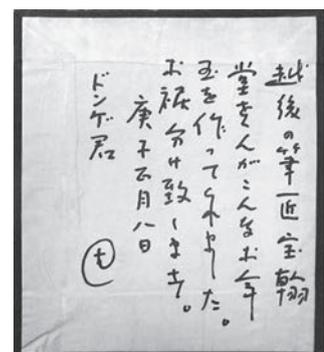
資料
堀口大學 HORIGUCHI, Daigaku
1892~1981 (明治25~昭和56)

長谷川潔宛添え状
Covering Letter to Kiyoshi Hasegawa
不明
紙、墨
paper, ink
29.0×31.1
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA377



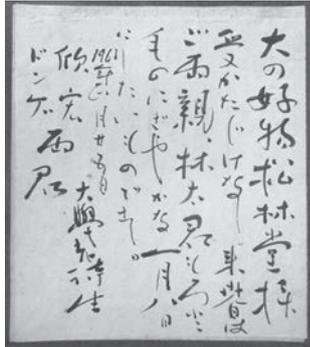
資料
堀口大學 HORIGUCHI, Daigaku
1892~1981 (明治25~昭和56)

長谷部欣宏・小林ドンゲ宛書簡
Letter to Hasebe Yoshihiro and Donge Kobayashi
1960年 (昭和35)
便箋3枚、インク
letter paper, ink
25.3×17.8
1960年9月28日付
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA378



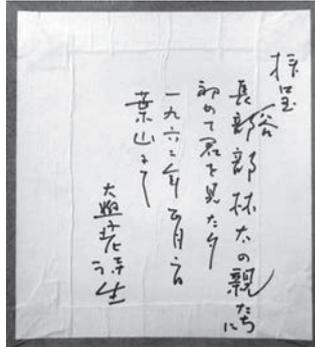
資料
堀口大學 HORIGUCHI, Daigaku
1892~1981 (明治25~昭和56)

小林ドンゲ宛書簡
Letter to Donge Kobayashi
1960年 (昭和35)
紙、インク
paper, ink
27.1×24.1
「庚子正月八日」
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA379



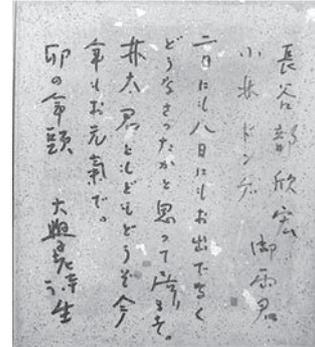
資料
堀口大學 HORIGUCHI, Daigaku
1892~1981 (明治25~昭和56)

長谷部欣宏・小林ドンゲ宛書簡
Letter to Hasebe Yoshihiro and Donge Kobayashi
1961年 (昭和36)
紙、墨
paper, ink
27.4×24.0
「1961年正月廿五日」
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA380



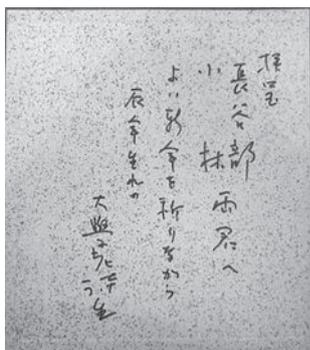
資料
堀口大學 HORIGUCHI, Daigaku
1892~1981 (明治25~昭和56)

長谷部欣宏・小林ドンゲ宛書簡
Letter to Hasebe Yoshihiro and Donge Kobayashi
1962年 (昭和37)
紙、インク
paper, ink
27.2×24.1
「一九六二年正月二日」
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA381



資料
堀口大學 HORIGUCHI, Daigaku
1892~1981 (明治25~昭和56)

長谷部欣宏・小林ドンゲ宛書簡
Letter to Hasebe Yoshihiro and Donge Kobayashi
1963年 (昭和38)
色紙、インク
large square card, ink
27.1×23.8
「卯の年頭」
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA382



資料
堀口大學 HORIGUCHI, Daigaku
1892~1981 (明治25~昭和56)

長谷部欣宏・小林ドンゲ宛書簡
Letter to Hasebe Yoshihiro and Donge Kobayashi
1964年 (昭和39)
色紙、インク
large square card, ink
26.9×23.5
「辰年生れの大學老詩生」
2019年度 (令和元)
長谷部林太氏 寄贈
MA383



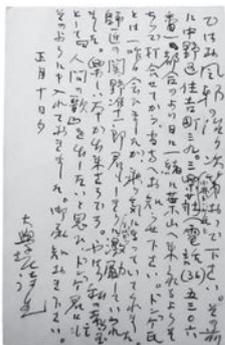
版画
小林ドンゲ KOBAYASHI, Donge
1926~ (大正15~)

銅版画集『雨月物語』(8点組)
Collection of Copperplate Prints: Tales of Moonlight and Rain
1970年 (昭和45)
エングレーヴィング、エッチング、アクアチント、紙、インク
engraving, etching, aquatint, paper, ink
シート
44.3×34.3×1.4 (外寸)
扉頁と奥付頁を除く各葉にエディション番号「5/75」と署名
2019年度 (令和元)
長岡★堀口大學を語る会 寄贈
PR813



資料
堀口大學 HORIGUCHI, Daigaku
1892~1981 (明治25~昭和56)

詩集『沖に立つ虹』特別特装本
Special Edition of the Poetry Book: Oki ni tatsu niji
1974年 (昭和49)
エングレーヴィング、エッチング、アクアチント 紙、インク
engraving, etching, aquatint, paper, ink
冊子
22.6×15.2×1.8
見返しに署名「堀口大學」／挿絵各頁のイメージ下に鉛筆で署名「DONGE K.」
2019年度 (令和元)
長岡★堀口大學を語る会 寄贈
MA384



資料
堀口大學 HORIGUCHI, Daigaku
1892~1981 (明治25~昭和56)

森谷均宛て はがき
Postcard addressed to Hitoshi Moriya
1957年 (昭和32)
はがき、インク
postcard, ink
13.9×9.0
2019年度 (令和元)
長岡★堀口大學を語る会 寄贈
MA385

美術品の修復

分野	作家名	作品名	制作年	修復内容	修復者	修復期間
油彩画他	ポール＝エリー・ランソン	《収穫する7人の女性》	1895年	通常光・紫外線・赤外線・透過光による観察と記録、実体顕微鏡の調査、溶剤反応・剥離止め試験	森絵画保存修復工房	令和元年8月20日～ 令和元年8月22日
油彩画他	田畑あきら子	《作品》	1966-67年	額装	有限会社はにわ (長岡市)	令和2年3月30日
版画	小林ドンゲ	《上田秋成『雨月物語』扉》	1970年	マット装	有限会社はにわ (長岡市)	令和2年3月30日
版画	小林ドンゲ	《上田秋成『雨月物語』死は見つめる 浅茅が宿》	1970年	マット装	有限会社はにわ (長岡市)	令和2年3月30日
版画	小林ドンゲ	《上田秋成『雨月物語』よみがえる花 浅茅が宿》	1970年	マット装	有限会社はにわ (長岡市)	令和2年3月30日
版画	小林ドンゲ	《上田秋成『雨月物語』餌の香ばしきに眯む 夢応の鯉魚》	1970年	マット装	有限会社はにわ (長岡市)	令和2年3月30日
版画	小林ドンゲ	《上田秋成『雨月物語』風のようにそれはやってくる 吉備津の釜》	1970年	マット装	有限会社はにわ (長岡市)	令和2年3月30日
版画	小林ドンゲ	《上田秋成『雨月物語』蛇性の姪》	1970年	マット装	有限会社はにわ (長岡市)	令和2年3月30日
版画	小林ドンゲ	《上田秋成『雨月物語』いとしいお前よ さあ一緒にいこう 青頭巾》	1970年	マット装	有限会社はにわ (長岡市)	令和2年3月30日
版画	小林ドンゲ	《上田秋成『雨月物語』奥付》	1970年	マット装	有限会社はにわ (長岡市)	令和2年3月30日

美術品の燻蒸

平成30年度の収蔵品等を燻蒸し、収蔵庫に収めた。

分野	作家名	作 品 名
日本画	横山操	野の川
日本画	堅山南風	鮮鯛
日本画	広川松五郎	春秋軸
日本画	広川松五郎	蔬菜屏風
日本画	広川松五郎	花
工芸	広川松五郎	双鷺
洋画	高村真夫	倦怠
版画	佐藤哲三 他	『土塊』創刊号～第7号（7冊）
書	江口草玄	釋處默詩「聖果寺」
書	江口草玄	作品No.4
書	江口草玄	作品No.7
書	江口草玄	関
書	江口草玄	帰
書	江口草玄	てまりつく
書	江口草玄	花のあわれ
書	江口草玄	坐睡
書	江口草玄	還愚
書	江口草玄	喫茶去
書	江口草玄	露の世は露の世ながらさりながら
書	江口草玄	怒を恕にす（る）ころ
書	江口草玄	人が人を殺す戦、戦はいや
書	江口草玄	真っ赤だ真っ赤だななかまどてんてんと実をつける
デザイン	中村至男	個展の告知・出品ポスター「中村至男展」
資料	堀口大學	詩集『堀口大學詩集』
資料	堀口大學	自筆原稿「コクトオ口伝」
資料	堀口大學	詩集『山巔の気』
資料	堀口大學	詩集『あまい囁き』
資料	堀口大學	詩集『夕の虹』限定版
資料	堀口大學	詩集『堀口大學詩集 ユモレスク』
資料	堀口大學	堀口久萬一著／堀口大學訳『長城詩抄』
資料	堀口大學	米寿記念詩集『富士山』
資料	堀口大學	アボリネール著／堀口大學訳 短編小説『オノレ・シュブラック滅形』

燻蒸者	株式会社サニーサニター（新潟県）
実施期間	令和元年7月22日～25日
使用薬剤	エキヒュームS
燻蒸方法	包み込み燻蒸処理

美術品の貸出

平成31・令和元年度 作品貸出 (近代美術館所管作品)

展覧会名	貸出先	会期	作家名	作品名
「黄昏の絵画たち—近代絵画に描かれた夕日・夕景」展	島根県立美術館	令和元年9月4日～11月4日	下村観山	入日
	神戸市立小磯記念美術館	令和元年11月16日～令和2年1月26日	佐藤哲三	帰路
池山阿有展	雪梁舎美術館	令和元年9月21日～11月10日	池山阿有	炉ばた
没後90年記念 岸田劉生展 孤高なる絵画への道	名古屋市美術館	令和2年1月8日～3月1日	岸田劉生	冬枯れの道路 (原宿附近写生)
長沢明展 オワリノナイハナシ	横須賀美術館	令和2年2月8日～4月12日 ※会期中で閉幕	長沢明	BOOKBOARD-Blue
			長沢明	Melodical Note

※改修工事に伴い、工事期間中は貸出を一時停止した。

平成31・令和元年度 作品貸出 (万代島美術館所管作品)

展覧会名	貸出先	会期	作家名	作品名
みつめる—一見ることの不思議と向き合う作家たち—	群馬県立館林美術館	令和元年7月13日～9月16日	日高理恵子	空との距離Ⅱ
速水御舟、吉田善彦の系譜と郷土の日本画家 林功展	茂原市立美術館・郷土資料館	令和元年9月13日～10月7日	林功	綱引き
DOMANI・明日2020 日本博スペシャル展 文化庁芸術家在外研修制度の成果	国立新美術館	令和2年1月11日～2月16日	日高理恵子	空との距離Ⅱ

管 理 ・ 運 営



新潟県立近代美術館

コレクション展観覧者数

期 間 (企画展名)	第1期			第2期		第3期	合 計 (年間162日)	
	9/14~12/8 (74日間)			12/12~3/22 (83日間) ※実質65日間		3/26~3/31 (5日間) ※実質0日間		
	9/4~10/11 24日間 (コレクション展のみ)	10/12~11/24 38日間 (PIXARのみみつ展)	11/26~12/8 12日間 (コレクション展のみ)	12/12~1/24 33日間 (コレクション展のみ)	1/25~3/22 50日間 (1964年 東京-新潟)	3/26~3/31 5日間 (コレクション展のみ)		
個 人	一 般	794	214	174	402	58	0	1,642
	大学・高校生	40	8	13	23	9	0	93
小 計		834	222	187	425	67	0	1,735
		1,243			492		0	
団 体	一 般	97	5	1	0	0	0	103
	大学・高校生	0	1	0	0	0	0	1
小 計		97	6	1	0	0	0	104
		104			0		0	
無 料		188	536	40	93	13	0	870
免 除		102	7	25	43	1	0	178
企画展チケット			7,343			916	0	8,259
合 計		1,221	8,114	253	561	997	0	11,146
		9,588			1,558		0	11,146
コレクション展のみ 合計(再掲)		1,221	771	253	561	81	0	2,887
		2,245			642		0	

※10/13は台風19号の影響による河川増水のため、午後臨時休館。
 ※10/22は即位礼正殿の儀を慶祝し、観覧料無料とした。
 ※3/2~3/31は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館。

*無料には友の会会員を含む。

企画展観覧者数

企画展名	PIXARのみみつ展 10/12~11/24(38日間)	1964年 東京-新潟 1/25~3/22(50日間) ※実質32日間	合 計	
個 人	一 般	24,772	847	25,619
	大学・高校生	1,561	50	1,611
小 計		26,333	897	27,230
団 体	一 般	96	7	103
	大学・高校生	96	6	102
小 計		192	13	205
前 売	15,169		15,169	
無 料	26,453	439	26,892	
免 除	1,934	123	2,057	
合 計	70,081	1,472	71,553	

企 画 展 名	PIXARのみみつ展	1964年 東京-新潟	合 計
図 録 販 売 数 (冊)		65	65
音 声 ガ イ ド 使 用 数 (台)			0

※10/13は台風19号の影響による河川増水のため、午後臨時休館。
 ※3/2~3/31は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館。

共催展

展覧会名	会期	日数	観覧者数
第21回 亀倉雄策賞受賞記念 色部義昭展	10/26～11/4	9	1,626
友の会 第22回作品展	11/26～12/1	6	140
第47回 芸展秀作展	1/4～1/12	8	255
第50回 新潟県ジュニア美術展覧会「長岡展」	1/8～1/16	8	2,879
こどもものづくり大学校	2/2・2/6	2	101
計		33	5,001

巡回ミュージアム

開催地	会場名	会期	日数	観覧者数
上越市	ミュゼ雪小町（あすとびあ高田5階）	12/1～14	14	871
計			14	871

総観覧者数

	常設展	企画展	共催展	巡回ミュージアム	合計
観覧者数	2,887	71,553	5,001	871	80,312

※常設展および企画展どちらも観覧した者を加えた常設展観覧者総数は11,146名

新潟県立万代島美術館

所蔵品展・企画展 観覧者数

展覧会名	写真家 ソール・ライター展	所蔵品展 コレナニ!? びじゅつ	MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展	乙女のデザイン 大正イマジリーの 世界	タータン展 伝統と革新のデザイン	合計	
期間	4/1～5/9 (37日間)	5/19～6/24 (34日間)	7/13～9/23 (69日間)	10/5～11/24 (48日間)	12/14～3/1 (68日間)		
個人	一般	2,807	2,096	16,623	2,784	7,140	31,450
	大高生	210	132	1,695	312	614	2,963
	小計	3,017	2,228	18,318	3,096	7,754	34,413
団体	一般	7	90	75	27	17	216
	大高生	41	0	57	14	39	151
	小計	48	90	132	41	56	367
前売（一般のみ）	214	—	3,666	469	3,386	7,735	
招待	783	458	2,211	924	1,822	6,198	
無料	168	354	8,555	220	749	10,046	
免除	248	389	2,001	429	702	3,769	
合計	4,478	3,519	34,883	5,179	14,469	62,528	

※3/20～3/31は新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館

* 所蔵品展の無料には友の会会員を含む

** 小中学生は無料を含む

*** 招待：封筒、ピラ下、パス、招待券、開場式等

講堂・ギャラリーの貸出

県民の文化活動の促進に資するため、新潟県立近代美術館講堂及びギャラリー使用要項に則り、講堂は1日につき27,100円（10月より27,600円）、ギャラリーは1日につき17,700円（10月より18,000円）で貸し出した。なお、改修工事による休館中は使用停止とした。3/27～3/31は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新規受付を停止した。受付済の場合は、主催者判断で実施した。

講堂使用状況

使用日	日数	行 事 名	内 容	利用者人数
9/14	1日	2019 Piano Concert	清水ピアノ教室発表会	60
9/22	1日	ミュージックスクール合同発表会 2019	音楽教室の発表会	70
9/23	1日	ピアノ発表会	ピアノ発表会	100
9/29	1日	wing of music	発表会（ピアノ、うた、ヴァイオリン）	80
11/27	半日	ピアノ勉強会	外部講師を呼んでのピアノ勉強会	26
12/1	半日	エリーゼの会ピアノ発表会	ピアノ発表会	90
12/1	半日	ドルチェの会発表会	ピアノ発表会	50
12/8	1日	新潟県競書大会	県下の小・中・高校生の書写・書道コンクールの優秀作品の展示	200
12/15	1日	オペラコンサート	オペラコンサート	150
12/21	半日	ピアノ発表会	ピアノ発表会	58
12/22	半日	フォルテ・ピアノ教室 ピアノ発表会	ピアノ発表会	37
12/22	半日	ライトリビング ピアノ発表会	ピアノ発表会	100
2/14	1日	令和元年度中山間地域活性化研修会	研修会	143
2/23	1日	新潟県書き初め大会 新潟県硬筆書き初め大会	県下の小・中・高校生の書写・書道コンクールの優秀作品の展示	200
3/29	1日	おさらい会	ピアノ発表会	30

以上 15件（延べ日数…12日）

合計人数 1,394名

ギャラリー使用状況

期 間	日数	展 示 会 名	内 容	利用者人数
9/19～9/30	10日	和田雄之助彫刻展	個展、彫刻作品の展示	370
12/6～12/8	3日	新潟県競書大会	県下の小・中・高校生の書写・書道コンクールの優秀作品の展示	3,276
2/21～2/23	3日	新潟県書き初め大会 新潟県硬筆書き初め大会	県下の小・中・高校生の書写・書道コンクールの優秀作品の展示	5,864

以上 3件（延べ日数…16日）

合計人数 9,510名

講座室使用状況

期 間	日数	展 示 会 名	内 容	利用者人数
9/19	半日	会社説明会	会社概要・報酬説明	10
9/22	1日	ミュージックスクール合同発表会 2019	音楽教室の発表会	30
10/29	半日	フラワーサークル	フラワーアレンジ	6
11/12	半日	フラワーサークル	フラワーアレンジ	7
11/19	半日	フラワーサークル	フラワーアレンジ	8
11/26	半日	フラワーサークル	フラワーアレンジ	6
12/15	1日	オペラコンサート	オペラコンサート	10
12/17	半日	フラワーサークル	フラワーアレンジ	6
1/28	半日	フラワーサークル	フラワーアレンジ	7
2/18	半日	フラワーサークル	フラワーアレンジ	12

以上 10件（延べ日数…6日）

合計人数 102名

新潟県立近代美術館

展覧会名	展覧会開催期間	入場者数	回答者	回収率
PIXARのひみつ展	9月12日～11月24日	70,081	434	0.62%
1964年展	1月25日～3月1日	1,472	42	2.85%
合計		71,553	476	0.67%

I 企画展覧会の感想

展覧会名	良かった	まあまあ良かった	やや不満	不満	無回答
PIXARのひみつ展	74.9%	13.8%	5.3%	3.9%	2.1%
1964年展	66.7%	28.6%	0.0%	0.0%	4.8%
平均	70.8%	21.2%	2.7%	2.0%	3.5%

II 来館のきっかけ

展覧会名	新聞	テレビ	ラジオ	街頭ポスター	雑誌	当館HP	インターネット	友の会だより	口コミ知人	その他	無回答
PIXARのひみつ展	13.5%	23.5%	2.5%	30.8%	1.8%	2.3%	5.2%	1.2%	8.3%	7.0%	4.0%
1964年展	9.8%	7.8%	0.0%	29.4%	0.0%	17.6%	13.7%	0.0%	7.8%	7.8%	5.9%
平均	11.7%	15.7%	1.3%	30.1%	0.9%	10.0%	9.5%	0.6%	8.1%	7.4%	5.0%

III コレクション展の感想

展覧会名	良かった	まあまあ良かった	やや不満	不満	無回答
PIXARのひみつ展	51.4%	21.4%	3.2%	2.5%	21.4%
1964年展	45.2%	23.8%	0.0%	2.4%	28.6%
平均	48.3%	22.6%	1.6%	2.5%	25.0%

IV 当館への来館回数

展覧会名	初めて	2回以上	5回以上	11回以上	無回答
PIXARのひみつ展	47.0%	29.5%	9.4%	7.1%	6.9%
1964年展	23.8%	21.4%	16.7%	35.7%	2.4%
平均	35.4%	25.5%	13.1%	21.4%	4.6%

(お住まい)

展覧会名	長岡市	新潟市	県内	県外	無回答
PIXARのひみつ展	30.0%	31.1%	25.1%	5.8%	8.1%
1964年展	27.6%	34.5%	27.6%	10.3%	0.0%
平均	28.8%	32.8%	26.4%	8.0%	4.0%

(年代)

展覧会名	小・中学生	高校生	大学生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70才以上	無回答
PIXARのひみつ展	41.9%	2.5%	3.9%	5.8%	6.0%	7.6%	8.1%	4.6%	5.5%	3.0%	11.1%
1964年展	3.4%	0.0%	13.8%	0.0%	3.4%	6.9%	6.9%	41.4%	13.8%	10.3%	0.0%
平均	22.7%	1.3%	8.9%	2.9%	4.7%	7.3%	7.5%	23.0%	9.7%	6.6%	5.5%

新潟県立万代島美術館

展覧会名	会期	入館者数	アンケート回収数	アンケート回収率
写真家 ソール・ライター展	4月1日(3月9日)～5月9日	4,478	149	3.3%
所蔵品展 コレナニ!?びじゅつ	5月25日～6月30日	3,519	147	4.2%
MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展	7月13日～9月23日	34,883	520	1.5%
乙女のデザイン 大正イマジジュリィの世界	10月5日～11月24日	5,179	121	2.3%
タータン展 伝統と革新	12月14日～令和2年3月1日	14,469	616	4.3%
合計		62,528	1,553	2.5%

※全体会期のうち、平成31年度の数
を抽出

※「THEドラえもん展 NIIGATA 2020」(3月20日～3月31日)は新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館(アンケート未実施)

展覧会の感想

展覧会名	良かった	まあまあ良かった	やや不満	不満	無回答
写真家 ソール・ライター展	65.3%	30.0%	1.3%	2.0%	1.3%
所蔵品展 コレナニ!?びじゅつ	43.5%	48.4%	2.7%	2.0%	4.1%
MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展	87.5%	8.1%	1.9%	0.6%	2.1%
乙女のデザイン 大正イマジジュリィの世界	80.2%	14.9%	0.8%	0.0%	3.3%
タータン展 伝統と革新	75.5%	17.9%	2.4%	0.3%	3.9%
平均	70.4%	23.9%	1.8%	1.0%	2.9%

※「写真家 ソール・ライター展」と「所蔵品展 コレナニ!?びじゅつ」では、選択肢を「大変満足」「満足」「やや不満」「不満」として実施したが、ここでは「MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展」以降の選択肢に合わせて分類し全体を集計した

作品や作家についての解説

展覧会名	適度な量である	量が少ない	量が多い	その他	無回答
写真家 ソール・ライター展	73.5%	5.8%	5.8%	11.0%	3.9%
所蔵品展 コレナニ!?びじゅつ	62.6%	21.1%	2.0%	0.0%	15.0%
MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展	73.5%	5.0%	4.6%	0.4%	16.7%
乙女のデザイン 大正イマジジュリィの世界	64.5%	2.5%	14.9%	11.6%	0.8%
タータン展 伝統と革新	70.5%	8.3%	4.4%	0.8%	15.9%
平均	68.9%	8.5%	6.3%	4.8%	10.5%

展覧会名	わかりやすい	難しい	簡単すぎる	無回答
写真家 ソール・ライター展	85.4%	7.9%	0.7%	6.0%
所蔵品展 コレナニ!?びじゅつ	61.9%	22.4%	4.8%	9.5%
MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展	89.0%	2.5%	1.0%	7.5%
乙女のデザイン 大正イマジジュリィの世界	84.3%	9.9%	0.0%	5.8%
タータン展 伝統と革新	78.7%	13.1%	0.8%	7.3%
平均	79.9%	11.2%	1.5%	7.2%

展覧会についてどのようにお知りになりましたか

展覧会名	ポスター・チラシ	新聞	テレビ	ラジオ	雑誌・フリーペーパー	知人	友の会 便り	web	その他	無回答
写真家 ソール・ライター展	37.4%	4.0%	6.3%	0.0%	2.9%	16.1%	0.0%	19.5%	10.9%	2.9%
所蔵品展 コレナニ!?びじゅつ	35.4%	4.8%	10.9%	1.4%	1.4%	12.9%	0.7%	15.6%	27.2%	4.1%
MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展	43.3%	7.9%	26.3%	1.2%	4.2%	12.3%	1.2%	14.4%	13.3%	3.7%
乙女のデザイン 大正イマジジュリィの世界	47.9%	13.2%	3.3%	0.0%	2.5%	10.7%	0.0%	24.7%	7.4%	1.7%
タータン展 伝統と革新	36.5%	31.2%	41.6%	1.6%	4.5%	13.6%	0.3%	8.3%	6.3%	1.5%
平均	40.1%	12.2%	17.7%	0.8%	3.1%	13.1%	0.4%	16.5%	13.0%	2.8%

お客様ご自身について

(1) 性別

展覧会名	男性	女性	回答しない
写真家 ソール・ライター展	43.3%	54.7%	2.0%
所蔵品展 コレナニ!?びじゅつ	37.4%	59.2%	3.4%
MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展	17.7%	78.3%	4.0%
乙女のデザイン 大正イマジユリィの世界	21.5%	76.0%	3.3%
タータン展 伝統と革新	17.9%	78.1%	3.9%
平均	28%	69%	3%

※無回答は「回答しない」に分類し集計した

(2) 年代

展覧会名	中学生以下	高校生	大学生	左記以外の10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
写真家 ソール・ライター展	7.3%	2.7%	7.3%	0.7%	15.3%	10.0%	20.7%	19.3%	11.3%	4.7%	0.7%
所蔵品展 コレナニ!?びじゅつ	23.1%	0.7%	12.9%	2.7%	13.6%	12.2%	12.9%	7.5%	6.8%	4.1%	3.4%
MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展	35.8%	3.1%	6.0%	1.5%	14.2%	11.0%	10.8%	10.4%	3.5%	3.3%	1.5%
乙女のデザイン 大正イマジユリィの世界	6.6%	1.7%	13.2%	3.3%	14.0%	10.7%	11.6%	16.5%	10.7%	9.9%	1.7%
タータン展 伝統と革新	10.9%	3.2%	5.7%	0.6%	8.1%	7.8%	12.2%	16.1%	16.6%	15.1%	4.1%
平均	16.7%	2.3%	9.0%	1.8%	13.0%	10.3%	13.6%	14.0%	9.8%	7.4%	2.3%

(3) お住まい

展覧会名	新潟市内	新潟市以外の下越地区	佐渡地区	中越地区	上越地区	県外・海外	無回答
写真家 ソール・ライター展	47.8%	6.0%	0.7%	17.2%	3.0%	20.9%	4.5%
所蔵品展 コレナニ!?びじゅつ	44.2%	15.6%	0.0%	10.2%	2.7%	20.4%	6.8%
MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展	45.0%	11.2%	2.1%	15.6%	2.3%	17.6%	6.0%
乙女のデザイン 大正イマジユリィの世界	49.6%	13.2%	2.5%	9.9%	3.3%	14.9%	6.6%
タータン展 伝統と革新	49.2%	13.0%	1.3%	19.2%	3.2%	6.4%	6.3%
平均	47.2%	11.8%	1.3%	14.4%	2.9%	16.0%	6.0%

(4) 当館へは主としてどんな交通手段でおいでになりますか

展覧会名	自家用車	徒歩・自転車	バス	タクシー	電車	貸切バス	その他	無回答
写真家 ソール・ライター展	40.2%	14.1%	13.1%	19.6%	10.6%	0.0%	1.5%	1.0%
所蔵品展 コレナニ!?びじゅつ	48.3%	19.0%	23.8%	1.4%	12.9%	2.0%	4.1%	4.8%
MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展	66.7%	8.7%	16.2%	2.7%	6.7%	0.6%	2.5%	4.2%
乙女のデザイン 大正イマジユリィの世界	44.6%	23.1%	27.3%	2.5%	13.2%	0.0%	1.7%	0.8%
タータン展 伝統と革新	63.3%	10.2%	19.2%	3.6%	12.2%	0.3%	1.6%	2.3%
平均	52.6%	15.0%	19.9%	6.0%	11.1%	0.6%	2.3%	2.6%

(5) 万代島美術館に来たのは何回目ですか

展覧会名	初めて	2~4回目	5回以上	無回答
写真家 ソール・ライター展	42.0%	26.0%	31.3%	0.7%
所蔵品展 コレナニ!?びじゅつ	43.5%	34.0%	19.0%	3.4%
MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展	34.0%	38.7%	21.3%	4.6%
乙女のデザイン 大正イマジユリィの世界	24.8%	30.6%	43.0%	1.7%
タータン展 伝統と革新	21.9%	33.0%	41.7%	3.1%
平均	33.2%	32.5%	31.3%	2.7%

(6) 当館に限らず年に何回展覧会に来ますか

展覧会名	1回以下	2～4回目	5回以上	無回答
写真家 ソール・ライター展	11.9%	41.1%	45.7%	1.3%
所蔵品展 コレナニ!?びじゅつ	31.3%	40.1%	26.5%	2.0%
MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展	32.7%	44.8%	15.6%	6.2%
乙女のデザイン 大正イマジユリィの世界	14.0%	53.7%	31.4%	0.8%
タータン展 伝統と革新	20.0%	52.6%	24.7%	2.8%
平均	22.0%	46.5%	28.8%	2.6%

(7) どんなジャンルの展覧会を望みますか

展覧会名	日本画	洋画	西洋洋画	彫刻	版画	工芸	書	写真	デザイン	現代美術	県人作家	アジアの美術	絵本	アニメーションマンガ	その他	無回答
写真家 ソール・ライター展	41.6%	28.9%	54.4%	18.8%	18.8%	18.8%	10.1%	63.8%	31.5%	32.9%	4.7%	11.4%	20.8%	24.2%	4.0%	2.0%
所蔵品展 コレナニ!?びじゅつ	33.3%	23.1%	33.3%	20.4%	17.0%	22.4%	9.5%	32.7%	36.1%	32.0%	6.8%	11.6%	34.0%	40.8%	4.8%	7.5%
MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展	17.9%	15.2%	21.5%	6.7%	8.3%	10.2%	6.7%	22.1%	25.8%	17.3%	4.8%	4.2%	61.7%	48.8%	4.2%	6.7%
乙女のデザイン 大正イマジユリィの世界	43.8%	33.1%	38.8%	9.9%	22.3%	21.5%	9.1%	31.4%	45.5%	27.3%	7.4%	11.6%	40.5%	28.1%	9.1%	1.7%
タータン展 伝統と革新	31.7%	27.3%	36.0%	11.4%	15.9%	22.7%	11.7%	25.6%	33.0%	18.8%	4.7%	7.5%	30.5%	24.4%	7.1%	3.6%
平均	33.7%	25.5%	36.8%	13.4%	16.5%	19.1%	9.4%	35.1%	34.4%	25.7%	5.7%	9.3%	37.5%	33.3%	5.8%	4.3%

組織及び業務

新潟県立美術館の業務【20年4月現在】

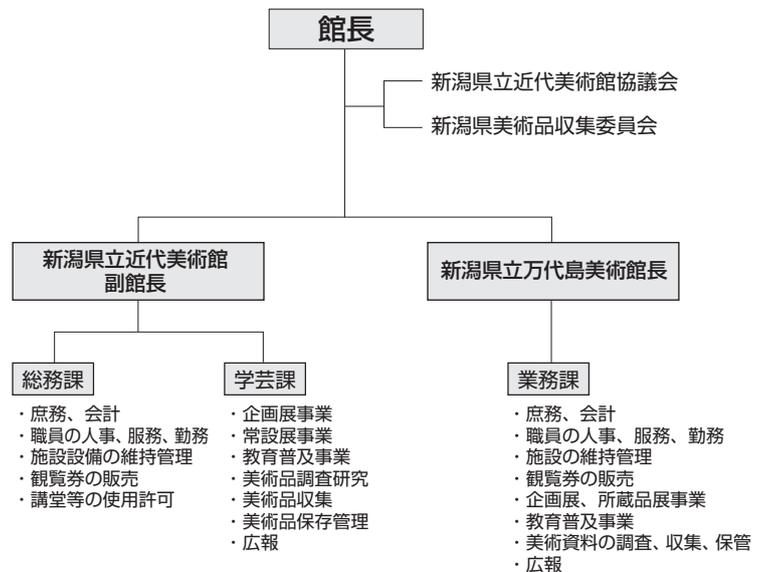
■新潟県立近代美術館条例（平成5年3月31日 新潟県条例第24号）（抜粋）

（設置）第1条 博物館法（昭和26年法律第285号）第18条の規定に基づき、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、新潟県立美術館（以下「美術館」という）を長岡市千秋3丁目に設置する。

2 前項に規定する美術館には、教育委員会の定めるところにより、分館として新潟県立万代島美術館（以下「万代島美術館」という。）を設置する。

（事業）第2条 美術館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術品、美術に関する資料等（以下「美術品等」という）の収集、保管及び展示
- (2) 美術品等の利用に関し必要な説明、助言、指導等
- (3) 美術品等の調査及び研究
- (4) 美術品等に関する講演会、講習会、映写会等の主催及びその開催の援助
- (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の目的を達成するために必要な事業



職員

新潟県立近代美術館

	館長	木村 哲郎
	副館長	伊藤 剛行
●総務課	総務課長	後藤 淳
	主査	重高 優子
	主査	福田 道子
	非常勤職員	藤井 幸子
	非常勤職員	太田 昌子
●学芸課	学芸課長	藤田 裕彦
	専門学芸員	松矢 国憲
	専門学芸員	宮下 東子
	専門学芸員	平石 昌子
	学芸課長代理	村山 裕之
	副参事	山本未知雄
	主任学芸員	濱田真由美
	主任学芸員	伊澤 朋美
	美術学芸員	松本奈穂子
	嘱託員	砂山 冴貴 (R1.9.1～)
	嘱託員	入沢さおり (R1.9.1～)
	嘱託員	小黒 麻理 (R1.9.1～)
	嘱託員	南 景子 (R1.9.1～)
	嘱託員	磯部 玲子 (R1.9.1～)
	嘱託員	丸山 典子 (R1.9.1～)
	嘱託員	江口 朝子 (R1.9.1～)

新潟県立万代島美術館

	近代美術館万代島美術館長	齋藤今日子
●業務課	業務課長	桐原 浩
	課長代理	和田 正樹
	専門学芸員	澤田 佳三
	課長代理	今井 有子
	主査	齋藤 百子
	主任学芸員	池田 珠緒
	主任学芸員	長嶋 圭哉
	嘱託員	佐藤美香子
	嘱託員	田村真珠美
	嘱託員	渡邊 由里 (～R2.1.5)
	嘱託員	河瀬 久代
	嘱託員	中嶋 美幸
	嘱託員	堀越安紀子
	嘱託員	吉澤 碧 (R2.2.1～)

新潟県立近代美術館

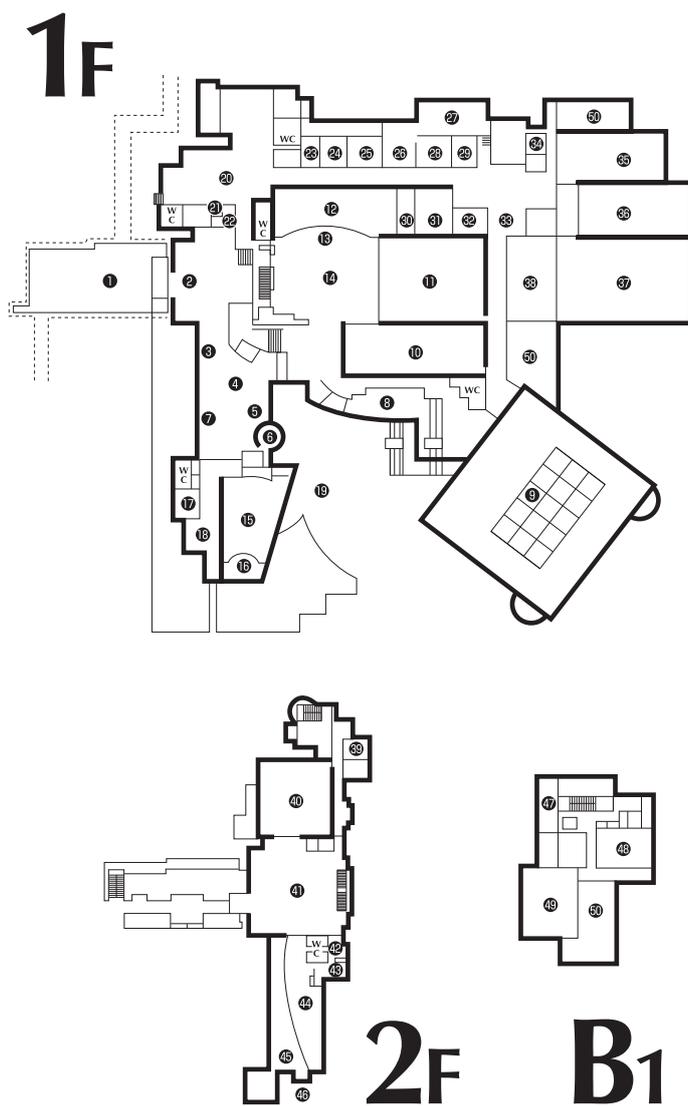
【施設概要】

(名称) 新潟県立近代美術館
 (所在地) 新潟県長岡市千秋3丁目278-14
 (設計) ㈱日本設計
 造園設計 ㈱日本設計・㈱日本造園
 設計期間 1990年9月～1991年2月
 (監理) 新潟県土木部都市整備局営繕課
 ㈱日本設計
 (施工) 大成・吉原・小杉特定共同企業体
 電気工事 六興・大原・長岡特定共同企業体
 空調工事 三建・日立・越後特定共同企業体
 衛生工事 ナカムラ・北陸特定共同企業体
 ガス工事 北陸瓦斯㈱
 昇降機工事 日本オーチスエレベーター
 備品工事 ㈱高島屋
 植栽工事 北陸緑化、ニューガーデン、
 長生園、宮川苑、吉茂造園、
 鈴木造園、新潟造園土木、
 長岡ガーデン、川崎農園、
 グリーン産業、松本造園
 工事期間 1991年7月29日～1993年5月31日
 (総工事費) 9,859,851千円
 支出内訳
 建築工事費 7,442,809千円
 造園工事費 1,216,187千円
 電気工事費 79,654千円
 展示工事費 1,121,201千円
 (改修施工)
 建築工事 ㈱大石組
 電気工事 大原電業㈱
 空調工事 ㈱長岡総合設備
 (改修施工工事費)
 928,909,045千円
 改修期間 2018年7月2日～2019年11月30日
 (主体構造) 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、
 プレストレストコンクリート梁
 基礎・地業 PHC抗
 (規模) 地下1階、地上2階、塔屋1階
 軒高 13.0m
 最高高 19.250m
 主なスパン 3.9m
 階高 5.7m
 (面積) 敷地面積 33,800㎡
 建築面積 9,133㎡
 延床面積 10,723㎡
 地下—機械室・電気室 716㎡
 1階—展示室・収蔵庫・講堂・
 事務室・他 8,873㎡
 2階—レストラン・県民ギャラリー
 1,064㎡
 屋階—ELV機械室
 地域地区 市街化調整区域
 (面積配分)
 導入部門 1,356㎡
 (エントランスホール636㎡、ロビー 576㎡、ほか)
 展示部門 2,674㎡
 (常設展示室391㎡+472㎡+265㎡、
 企画展示室1,332㎡ ほか)
 教育普及部門 384㎡
 (講堂234㎡、講座室53㎡、ハイビジョン67㎡、ほか)
 収蔵部門 1,746㎡
 (収蔵庫第一292㎡、第二575㎡、
 第三267㎡、作業室49㎡、ほか)
 調査研究部門 272㎡
 (研究室83㎡、資料保管室61㎡、書庫128㎡)
 管理事務部門 416㎡
 (事務室133㎡、会議室70㎡、館長室55㎡、ほか)

設備・機械 1,017㎡
 (熱源機械室、電気室、空調機械室、ほか)
 他共用部門 2,858㎡
 (廊下、階段、ほか)
 (展示室の環境)
 室の明るさ 70～150lux+局部照明
 (メンテナンス時：200lux)
 照明方法 全体照明(ダウンライト・間接)
 スポットライトによる局部照明
 光源の種類 LED
 温度・湿度 夏季/26℃・50%
 冬季/22℃・55%
 (主な設備)
 空調方法 個別式(単一ダクト方式・FCU方式)
 熱源：ガス・電気
 熱源機器/ガス冷水発生機2台
 冷房能力/237.5USRT
 暖房能力/52,300kCal/h
 冷却塔/2,810,000kCal/h
 空調機器/全空気方式 空冷ヒート
 ポンプエアコンファン
 給排水衛生 給水/上水直結
 給湯/中央式(ガス)、
 個別式(電気)
 排水/屋内合流、屋外下水道放流
 BIF床上受水槽(FRP40㎡)
 排水槽/有効0.76㎡
 電気 受電/3相3線 50Hz 6.6kV
 660kW
 発電機/3φ3W 50Hz 6.6kV
 375kVA
 非常保安動力/300kVA
 非常保安電灯(スコット)/50kVA
 変圧器/1,400kVA7台
 防災 消火/屋内消火栓、屋外消火栓、
 ハロゲン化物消火
 排煙/自然排煙
 屋内消火栓 粉末消火器 ハロン
 消火設備 ハロン消火器 連結散
 水設備 屋外消火栓
 昇降機 乗用ELV/750kg積
 (30m/分) 1台
 人荷用ELV/3,000kg積
 (30m/分) 1台
 駐車場 屋内2台、屋外165台
 (主な外部仕上)
 屋根 アルミクラッド鋼板立ハゼ葺
 外壁 四丁掛精拓器質タイル(割肌)
 二丁掛精拓器質タイル
 建具 アルミサッシュ電解二次着色
 ステンレスサッシュH.L.仕上
 外構 御影石ブロック+陶製ブロック舗装
 (主な内部仕上)
 エントランスホール
 天井/コンクリート打放し
 壁/御影石こぶ出し仕上
 床/御影石ジェットバーナー仕上
 展示室 天井/P.B.E.P
 壁/ガラスクロスE.P
 床/タイルカーベット
 収蔵庫 天井・壁/スプルス
 床/ナラ縁甲板張
 講堂 天井/
 壁/四丁掛精拓器質タイル+P.B.E.P
 床/カーベット
 研究室・事務室
 天井/岩綿吸音板
 壁/ビニールクロス貼
 床/タイルカーベット

【施設の配置】

- | | |
|---------------|-------------|
| ① キャンपी | ②⑥ 研究室 |
| ② エントランスホール | ②⑦ 書庫 |
| ③ ロビー | ②⑧ 資料保管室 |
| ④ ミュージアムショップ | ②⑨ 倉庫 |
| ⑤ データベース室 | ②⑩ フィルム保管室 |
| ⑥ ハイビジョンギャラリー | ②⑪ 撮影室 |
| ⑦ レファレンス | ②⑫ 作業室 |
| ⑧ 企画展示室ロビー | ②⑬ 荷解室 |
| ⑨ 企画展示室 | ②⑭ 燻蒸室 |
| ⑩ 展示室 1 | ②⑮ 収蔵室 1 |
| ⑪ 展示室 2 | ②⑯ 収蔵室 3 |
| ⑫ 展示室 3 | ②⑰ 収蔵室 2 |
| ⑬ 常設展示室ロビー | ②⑱ 展示備品倉庫 |
| ⑭ 中庭 | ②⑲ ガラリー控室 |
| ⑮ 講堂 | ②⑳ ガラリー |
| ⑯ ステージ | ②㉑ アトリウム上部 |
| ⑰ 講座室 | ②㉒ レストラン事務室 |
| ⑱ 講堂ロビー | ②㉓ 厨房 |
| ⑲ 屋外展示スペース | ②㉔ レストラン |
| ⑳ 事務室 | ②㉕ 吹抜 |
| ㉑ 乳児室 | ②㉖ テラス |
| ㉒ ロッカー室 | ②㉗ ドライエリア |
| ㉓ 応接室 | ②㉘ 電気室 |
| ㉔ 館長室 | ②㉙ 熱源機械室 |
| ㉕ 会議室 | ②㉚ 空調機械室 |



新潟県立万代島美術館

【施設概要】

〈機能別延床面積〉

	内訳	用途等	面積
展示室		美術品等の企画展示	1,433.09㎡
収蔵	収蔵庫	美術品等の保管	102.05㎡
	収蔵庫前室	収蔵庫の室温度を安定させる	28.15㎡
専用エレベーター		地下1階より美術品を搬入	27.59㎡
管理	事務室	学芸員、一般事務の執務室	72.66㎡
	資材倉庫	文書・書籍カタログ等の収納	32.75㎡
	準備室	展示作業用の作品移動ケース置場等	95.56㎡
	荷解室	美術品の開梱・点検場所	107.58㎡
	休憩室	嘱託員の休憩場所	10.04㎡
	応接室	来賓等の応接	13.99㎡
	トイレ	職員・来館者用	92.58㎡
	空調機械室	美術館専用の空調機械設置	120.15㎡
共通	ポンペ庫	ハロン消火設備用ポンペ庫(予)	28.63㎡
	ロビー	来館者の導入、休憩及びインフォメーション等	279.63㎡
	廊下等	来館者の通路、避難経路など	321.84㎡
	乳児室	乳児のために使用	6.35㎡
B1F	ロッカー・ルーム	来館者の利便のために手荷物を保管	22.62㎡
	専用エレベーター(B1F)	美術品の搬入用	26.23㎡
	専用エレベーター機械室	専用エレベーター用の機械設置	13.42㎡
合計		美術品の荷捌スペース	124.54㎡
合計			2,959.45㎡

〈建築概要〉

1. 全体概要

種別／複合ビル内包型 公立美術館
 所在地／新潟県新潟市万代島5番1号
 工事期間／平成12年10月3日～平成15年3月30日
 敷地面積／103,128.93㎡ (万代島一団地認定敷地全体)
 建築面積／6,017.37㎡
 延床面積／52,585.54㎡ (うち、美術館2,959.45㎡)
 構造種別／鉄骨鉄筋コンクリート造
 階高／美術館フロア6.3m

2. 建築主体

設計／鹿島建設株式会社一級建築士事務所
 監理／鹿島建設株式会社一級建築士事務所
 施工／鹿島・大成・福田・五洋・本間・東亜共同企業体

3. 仕上げ (美術館部分のみ)

屋根／鉄筋コンクリート下地断熱アスファルト防水押え、
 コンクリート鋼製根太組天然スレート敷
 外壁／プレキャストコンクリート下地アルミスバンドレル張り、アルミカーテンウォールふっ素樹脂焼付
 塗装、プレキャストコンクリートカーテンウォールふっ素樹脂乾塗装
 内装／(設備概要を参照のこと)

4. 電気設備

電力引込／3相3線6.6Kv50Hz
 2回線受電、地中引込
 受変電／1階サブ変電所、キュービクル式受変電設備
 非常用電源／発電機1台、ディーゼル1000KVA、
 蓄電池400AH
 電話設備／電話配管(機器、配線は別)
 放送設備／非常放送兼用アンブ1160W、130回線、
 美術館業務用アンブ80W、5回線

5. 空調設備

熱源／全体熱源：冷温水発生器(ガス焚)
 240RT×2台
 収蔵庫：空冷ヒートポンプ
 空調機／コンパクトエアハン7台
 単一ダクト
 換気／個別換気
 給気ファン1台、排気ファン15台
 制御機構／24時間中央温湿度管理システム

6. 昇降機

乗用／ロープ式 210m/分 定員20名1,350kg
 4基(うち、車椅子仕様1基)
 荷物用／油圧式
 15m/分 3,000kg 1基
 テーブルリフター／
 リフト 0.9m
 テーブル 2.0m×2.0m 3,000kg

〈設備概要〉

1. 展示室概要

壁仕上／不燃プラスチックボード、ガラスクロス表面仕上げ
 床仕上／フローリング(ダグラスファー)
 可動壁／不燃プラスチックボード、ガラスクロス表面仕上げ
 L4.0m×H4.5m：30枚、L2.0m×H4.5m：26枚、
 L2.4m×H4.5m：4枚
 固定展示ケース／2箇所
 (外側) スチール製・高透過ガラススチール製・アクリル焼付
 塗装、高透過ガラス・重量キャスター・アジャスター付、
 シリンダー錠付
 (内側) 低ホルマリン合板、クロス張り、エアタイト、寸法
 D18.0m、W1.2m、H4.5m
 照明／全て美術館用UV/IRカットフィルター付
 ベース照明：ハロゲンウォールウォッシャー
 200W
 展示照明：ローボルトハロゲン(12V50W)
 ケース内照明：高効率照明器具(32W)及びローボルトハロゲン(12V50W)
 設定温湿度／春・夏期：23℃、60%
 秋・冬期：20℃、50%
 (変動率±3℃、±10%以内)

2. 収蔵庫概要

- 床 仕 上 / フローリング
- 壁 仕 上 / ゼオライトパネル (天井共)
- 内部寸法 / L11.5m、W7.5m、天井H3.5m
- 入口寸法 / H3.0m、W3.0m
- 収蔵庫内作品固定方法 / 収蔵棚
- 収蔵庫扉の構造及び仕様 / スチール製
耐火2時間扉
- 照 明 / 高効率照明器具 (32W)
美術館用UV/IRカットフィルター付
- 空 調 / 恒温恒湿パッケージ2台 単一ダクト (VAV)
- 設定温湿度 / 春・夏期 : 20℃、60%
秋・冬期 : 20℃、60%
(変動率±2℃、±5%以内)

3. 搬入口関連概要

- 専用搬入口寸法 / H3.8m、W5.0m
- 高位置の接岸ドック / 地上からの高さ0.7m
- 可動接岸ドック / 0～0.9mレベルまで
- 油圧式リフト / 最大重量3,000kg
- クレーン / 最大重量3,000kg
- 搬入可能なクレーンの最大サイズ /
H3.0m、W3.0m、D3.0m
- セキュリティ / 画像センサー機械警備
- 荷解室への立入管理 / カードリーダー方式電気錠

昇降機内部寸法 / L3.0m、W3.0m、
天井H3.0m

4. 防災設備

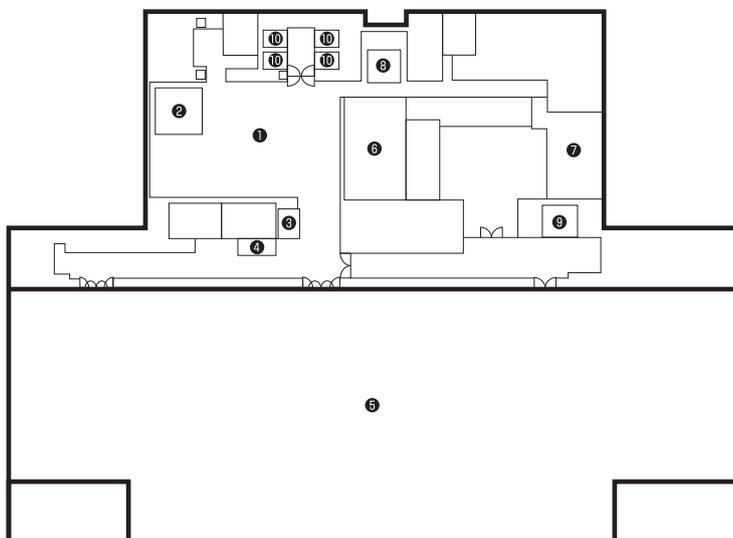
- 消火設備 / 湿式スプリンクラー
展示室、準備室、荷解室及び収蔵庫はハロン消火
- 感知器の種類 / 自動煙感知
- 火災警報への伝達 / 発信機、非常電話
- 補助消火栓 / 搬入場所1基、その他4基
- 連結送水管 / その他2基
- 消 火 器 / 搬入場所 : 粉末ABC
展示室 : ハロンガス
その他 : 粉末ABC及びハロンガス

5. 防犯設備

- 監視設備 / ITVモニター、ITVカメラ15台
(美術館14台、EV1台)
- 機械警備設備 / 画像センサー+スピーカ
- 警備会社 / SECOM株式会社
- 使用警報機の種類 / 画像センサー及び
水銀スイッチ
- 警報入電場所 / 館内中央監視盤及び
美術館事務室
- 盗難防止ケースの種類 /
ガラス・ケース及び壁面固定ケース全てにシ
リンダー錠付

【施設の配置】

- ① エントランスホール
- ② ミュージアムショップ
- ③ 情報検索コーナー
- ④ 乳児室
- ⑤ 展示室
- ⑥ 収蔵庫
- ⑦ 事務室
- ⑧ ロッカー・自販機
- ⑨ 作品専用エレベーター
- ⑩ エレベーター



新潟県立近代美術館協議会

【委員】(依囑当時)

(平成30年8月1日から平成32年7月31日まで)

●学識経験者

- 丹治 嘉彦 (新潟大学教育学部教授)
- 岡塚 章子 (東京都江戸東京博物館展示企画係長)
- 松本 健義 (上越教育大学大学院学校教育研究科教授)
- 丸山恵理子 (新潟県美術家連盟事務局次長)
- 西條和佳子 (特定非営利法人ワーキングウイメンズアソシエーション常任理事)

●社会教育関係者

- 竹内 伊澄 (歯科衛生士/上越市社会教育委員/上越市公民館運営審議会委員/上越市民芸能祭協議会副会長/いずみジャズダンス代表)

●学校教育関係者

- 渡邊 敏尚 (新潟市立木戸中学校教頭/新潟県美術教育連盟理事/新潟市水と土の芸術祭こどもプロジェクトコーディネーター)
- 田中 幸男 (新潟県立小千谷西高等学校教諭/新潟県高等学校文化連盟・工芸専門部門顧問)

●一般公募

- 村田 利紀
- 早川由香吏

※○は会長 ○は副会長

【日程及び内容】

第1回新潟県立近代美術館協議会

日程：令和元年5月26日(日) 13:30~15:30

会場：新潟県立万代島美術館

- 内容：(1) 「平成30年度新潟県立近代美術館協議会評価報告書」の作成について
- (2) 令和元年度事業について

第2回新潟県立近代美術館協議会

日程：令和元年10月14日(月・祝) 13:30~15:30

会場：新潟県立近代美術館

- 内容：(1) 「平成30年度新潟県立近代美術館協議会評価報告書」について
- (2) 令和元年度「事業目標・取組に対する達成状況」の中間報告について
- (3) 近代美術館の改修工事について

第3回新潟県立近代美術館協議会

日程：令和2年2月15日(土) 13:30~15:30

会場：新潟県立万代島美術館

- 内容：(1) 令和元年度事業の中間報告②
- (2) 令和元年度評価の分野と執筆担当
- (3) 作成手順及びスケジュール
- (4) 次年度評価に向けた意見交換

令和元年度

新潟県立近代美術館協議会評価報告書 美術館の自己評価に対する委員評価

第1章 県立近代美術館の自己評価に対する総括的所見

(1) 美術館運営の全般に関して

本年度、美術館が掲げる使命の一つ「未来に継承すべきコレクションの充実と研究、活用、普及を通じて、多様な美術館活動を開発、提供し、創造力溢れる人材の育成に取り組み、地域の人々と協働しながら、県民の誇りとなる新潟県の文化を発信する」について着実な成果が認められた。また、万代島美術館においては「北東アジア、現代の美術に目配りした事業を行う」という使命に本年度もしっかりとした成果をあげたと言える。

現代社会において美術館が時代に沿った形で機能しているかが問われている。特に、日本の美術館は今まで定まった鑑賞者のみが美術館に足を運ぶことが当たり前とされてきた。金銭的に余裕のある層、あるいはアートの素養をもった市民がこれにあたり、それによって美術館が敷居の高い場所として認識されていたことも事実である。しかしながら、様々な階層の人々を美術館に招き入れ楽しんでもらう、所謂社会包摂が今後何より重要になってくると思う。

また、現在新型コロナウイルス感染拡大の影響により、観覧会への入場制限あるいはワークショップ等の接触行為を伴う展示の中止等の影響が出ている。これらの縛りによって今までのように作品鑑賞等を通して個人の記憶を飛び越え、未来を想像する開かれた美術館像をイメージし難くなった。これに対して、美術館が単独で思考し、どのように行動するかだけでは解決しないだろう。美術館が広い意味での「招く、招かれる」と言った一対一の構造を脱却し、今まで以上に市民に近い、そして市民とともに歩むことが強く求められるのではないだろうか。

(2) 目標設定のあり方について

それぞれの美術館の各分野で設定された目標は、成果をあげることを目的として活動のあり方を検証してきた。具体的には、展覧会、教育普及、収集保存、学芸員による調査研究、美術館の環境、友の会、そして他館との連携等である。これらの項目に対してそれぞれの美術館が目標値を定め、課題を解き明かすために日々全力を尽くしている。また、この目標値だけに留まらず、新たな美術館像を模索するために他分野の方々からの意見を積極的に受け入れる弾力的な改善も望まれる。

(3) 目標に対する達成状況について

今年度の企画展について、両館とも意欲的な展覧会を実施できたことは丁寧に準備を行い、また調査・研究、他の研究機関等との協力があっての結果であり、大いに評価できる。特に、本県に関係ある芸術家の作品や活動に光をあてたことはとても意義がある。「1964年 東京-新潟」展は2020年開催予定だった東京オリ

ンピックと連動して、芸術と社会を繋ぐ物語を含んでおり、着眼の鋭さを感じた。また、この展覧会が企業等との協力関係に発展したことは日頃の練磨の成果である。

教育普及等関連分野については、企画展ごとに様々な鑑賞プログラムを用意しそれをしっかりと実践したといえるのではないだろうか。特に、今年度は幼児教育へ積極的にアプローチしたことは大いに評価できる。しかしながら、新型コロナウイルスの影響で学校行事の精選、感染症対策の観点から各学校と連携した取り組みに制限がかかることが大いに予想される。ゆっくりと時間をかけた継続可能な取り組みの構築が必要になるだろう。

調査・研究・収集・保存・発信の分野では、関係者への調査等を綿密に行っていることから、これらの展覧会の開催が待ち遠しく感じる。また、新潟県ゆかりの作家の調査・研究は特に重要なのでしっかりと取り組んでいただき、展覧会の開催有無にかかわらず、この調査・研究を継続して欲しい。

環境・施設に関しては、近代美術館の第1次改修が無事終了したことは評価できる。今後、第2・3次計画についても予算が厳しい状況にはあるが、引き続き協議を行い美術館として新たな指標を組み立ててほしい。

協働組織の分野では、協働・連携は、開かれた美術館を認知してもらうため、大学、自治体との協働を推進し、巡回ミュージアム等の開催を実施できたことは意義がある。このことが地域との新たな繋がりを生んでおり、今後も継続を強く望む。また、万代島美術館において開催されたタータン展では、長岡造形大・地元企業と協働することが試みられた。展覧会の内容に即して「オリジナルタータン」を作成するというアイデアは、造形大との話し合いから始まり、地元企業の協力へと発展していき、地域や企業との連携が強化されたことは、これからの地域が求める美術館に値する事柄である。

第2章 分野別に見た自己評価に対する委員評価

【1 展覧会に関する評価】

(1) 実施目標に対する達成状況について

新潟県立近代美術館、新潟県立万代島美術館ともに、年間を通して幅広い層の関心に応えられるような様々なジャンルの展覧会を開催した。ポピュラリティーのあるものと研究成果を活かしたものをバランス良く配し、会期も展覧会の内容にふさわしい時期に設定されており、来館者の立場に立った活動が展開できている。巡回展であっても館の独自性を発揮する取組を積極的に行い、美術館に足を運んでもらうための創意工夫が展覧会ごとに行われていることは高く評価できる。これは学芸員を含む職員の努力によるもので賞賛に値するが、一方で実施にあたっては職員の負荷が増大することがないような注意が必要である。

コロナウイルス感染症の影響により「1964年 東京―新潟」展が会期半ばで終了となったことは非常に残念である。今回の展覧会で得られた知見に新たな調査・研究の成果を加え、更新した内容で再び開催することも可能と考える。是非検討していただきたい。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

今年度活動の取組で評価すべきは、調査・研究の成果が展覧会に反映されていることである。「乙女のデザイン 大正イマジユリの世界」展では新発田出身の佐々木林風、長岡ゆかりの水鳥爾保布の特集コーナーを設け、知られざる2作家の紹介を行った。これは日頃から郷土の作家について調査研究が行われている証である。「1964年 東京―新潟」展においても資料整理や調査・研究の成果が存分に活かされ、「長岡現代美術館」が開館した1964年に注目した展覧会は、運営の基本方針にある「新潟県の芸術文化の発掘・保存・発信の場となる」に合致したものである。また2020年3月に解体されることになった「長岡現代美術館(現・長岡商工会議所)」の建物の外観と内部を写真により記録し、また壁面レリーフとして制作された斎藤義重の《大智浄光》についても、移設前の状態を撮影し記録に留めたことは、文化の継承をすべき美術館の活動として賞賛に値する。

新潟県立近代美術館でのコレクション展も見応えがあり、量ともに国内屈指のものであることを示すものであった。収蔵作品・資料を中心とした一人一人の調査・研究の成果が展覧会につながるような取組を今後も続けていってほしい。

(3) 自己評価に対する総括

自己評価については、問題点や実現できなかった事項、そしてその原因などについての的確、かつ客観的に分析できており、極めて妥当である。

【2 教育普及等関連事業に関する評価】

(1) 実施目標に対する達成状況について

近代美術館にて地域団体や学校等と連携を図る事業として行われた「出前授業」については、昨年度の実省から、潜在的なニーズにより応えていくことが実施目標とされた。改修工事のため休館中だった昨年度より実施件数自体は減少したものの、派遣件数・参加人数等を鑑みるとニーズに応じて確実な効果を上げており、目標は達成されたと判断する。教育普及活動の記録やデータの蓄積についても達成することができた。

企画展とタイアップしたイベント、ワークショップは盛況であった。特に万代島美術館の「タータン展」においては十分な成果が得られている。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

今年度力点を置いた幼・保への積極的なアプローチは、出前講座に対する潜在的なニーズに応えた形となっている。幼児教育への社会的関心の中で今後ますますニーズが高まっていくことが予想され、今後も取組を継続・深化させていくことは妥当と思われる。遠方への講座の実施については負担増が考えられるなど、解決すべき課題はあるが、企画展減が案じられる現状を勘案すると、長い目で見た芸術普及の意義の本質に関わる部分であり、今後の強化・発展に期待する。

ワークショップとしての要件を十分に満たした活動が企画・運

営され、教育普及事業として十分に満足できる取組となっている。一方、周知が十分ではなく、参加人数が伸び悩んだ企画もあった。ワークショップの内容について参加者が見通しをもって、参加希望できる告知方法について検討していく必要がある。

過去に教育普及活動として効果的であった活動例をアーカイブとして参照できる体制が整ったことは、今後の活動につながる大変よい環境整備となった。

また、実施目標にはなかったが、広報活動に力を入れたことで、集客数の増加につながっていた。教育普及の根本にある、多くの方から鑑賞していただく状況が整備されたことは喜ばしいことである。対話型鑑賞法による、さらなる鑑賞活動の充実も期待する。

(3) 自己評価に対する総括

両館から提出された令和元年度教育普及事業への自己評価はそれぞれ妥当である。

3 調査・研究、収集・保存、発信に関する評価

(1) 実施目標に対する達成状況について

近代美術館の「久保田成子展」について、丁寧に綿密な調査研究をニューヨークにおいて実施し、借用作品の仮決定まで準備が進んでおり、目標は達成されたといえるだろう。新型コロナウイルス感染症の影響により、今後が見通せない非常に厳しい状況となっているが、展覧会開催のため引き続き準備を進めてほしい。

「橋本龍美展」が中止となったことは大変残念である。しかし、調査・研究を継続していることは評価できる。また、武石弘三郎、江口草玄作品の調査結果を『研究紀要第18号』にまとめたことは高く評価できる。亀倉雄策資料を整理し、重複ポスターを希望館に譲渡したことも、資料の活用方法として非常に有意義であり、素晴らしいことである。

万代島美術館では、「大正イマジユリ展」にて独自に新潟県ゆかりの作家について補足説明を作成するなど、展覧会において研究成果の発表がなされたことは喜ばしい。

県内の仏像調査や、1950年代の美術についての他館との共同での研究会、図書館や個人所蔵家宅での調査等も行われ、着実に目標を達成している。特に、萬鐵二郎の研究成果を『研究紀要第18号』にまとめたことは高く評価できる。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

両館とも、地元ゆかりの作家について調査・研究を行い、その成果を研究紀要にまとめている。これらの論考がホームページで公開され、誰でも閲覧可能となっていることは、館の研究活動を広く一般に知ってもらうために非常に有意義であり高く評価できる。展覧会に直結しないような資料調査であっても、学芸員各自がオリジナリティのある研究活動を行うことは、美術館の役割の一つとしてとても重要である。地道な作業であるが、この積み上げこそが次の時代の芸術の扉を開くキーとなる。今後も展覧会の開催の有無とは関係なく、しっかりと調査・研究に取り組んでもらいたい。

また、他館と共同で研究会を行い、希望館に譲渡可能な資料を提供するなど、他の館と協力して調査・研究や、収集の手助けを行ったことは大変評価できる。これからも館同士の連絡を積極的にとり、互いに有益となるような活動を続けてほしい。

(3) 自己評価に対する総括

両館とも、調査・研究、収集・保存、発信について着実に進められており、また今後の検討課題についても自覚的である。よって両館の自己評価は妥当である。

【4 環境・施設に関する評価】

(1) 実施目標に対する達成状況について

○近代美術館

第一次改修工事が無事に終了した事は評価出来る。

○万代島美術館

厳しい予算の中で、万代島ビルと情報交換をしながら、修繕計画を見直し、適切な予算要求・執行に努めている事は大いに評価出来る。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

○近代美術館

改修後の展示では、さりげなく改修箇所の説明があり、来館者には面白く好感が持てたようだ。一般の方にはなかなか聞けないような側面の話も、美術館を身近に感じてもらう一助になったと思う。第2・3次計画について、予算が厳しい状況ではあるが、引き続き協議して項目を絞って前進していった欲しい。

また、美術館の周辺を見ると、未だ中越地震の爪痕も多く見受けられる。「PIXARのひみつ展」期間中には台風19号にも見舞われた。災害時や立地について考慮し、安心安全な鑑賞環境のためにも、継続した修理、修繕が必要だと思う。

○万代島美術館

今後、感染症対策のための換気など、ビル内オフィスという万代島美術館の特性上、近代美術館以上に来館者の安全性を取った対策が必要と考え、より一層の万代島ビルとの連携・協議が重要と思う。

(3) 自己評価に対する総括

自己評価については客観的に評価されており、妥当である。美術館運営は今後もっと予算が厳しくなっていくと思う。時代に合わせた独自の収入の確保がいずれ必要になるかもしれない。

【5 協働組織に関する評価】

(1) 実施目標に対する達成状況について

○近代美術館

長期の休館があったにも関わらず、リニューアルオープンに当たり、友の会や造形大学をはじめ、長岡市内の様々な組織やメディアと連携できたことを評価する。そのなかでも、国が

らの予算が無くとも造形大学と国民文化祭の関連事業が実施された点はこれまでの協働の蓄積であろう。今後は美術館としての強みや特徴を活かし、「PIXARのひみつ展」のようにネームバリューのある展覧会も含め、多くの場面で魅力的な協働を進めていっていただきたい。

「こどもものづくり大学校」や「ヨリ・ミチ図工室」、長岡造形大学のカリキュラムに組みこまれた「雪椿通信」のリデザイン事業など、美術を核にした教育や人材育成に繋がる協働は県立美術館の役割として非常に重要である。教頭会での広報活動も、子どもたちに美術に親しむ機会を提供する仕組みとして有意義であろう。「ヨリ・ミチ図工室」の協働見直しなど改善すべき課題もあるようだが、コロナウイルス感染予防のために学校現場で導入が進められているオンラインツールの利用など、新たな展開も期待している。

また、巡回ミュージアムは住民が本物の芸術に触れ、学芸員の解説を直接聞くことができる貴重な機会である。上越市の担当者不在というマイナス要因にも関わらず開催できたことを評価する。今回のアクシデントを無駄にせず、県民のために今後も継続をしていただきたい。

○万代島美術館

友の会をはじめ、各団体と継続的かつ互恵的な関係を築けていることを評価する。特に長岡造形大や地元企業と連携をしてオリジナルタータンを創るという「タータン展」の取り組みは、美術館から外への発信という点で非常に素晴らしい。今後も魅力的な成果物を「出口」として設け、「美術館発」の協働を広げていっていただきたい。

また、万代島に立地しているという点も大いに活用し、集客力のあるワークショップなど、メディアや外部機関と連携した活動を通し、美術館のファンを増やすことにも貢献をしていただきたい。

○近代美術館・万代島美術館

新潟アートリンクについては、参加4館の事業内容の共有にとどまらず、教育普及活動について互いに学び合うなど、学芸員の技量向上の場にもなっていることを評価したい。今後も、県内の美術環境をリードする気概をもって協働を進めていただくとともに、民間を含めた他館とも情報交換や学びの場を創ってほしい。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

○近代美術館

「改修期間終了後すぐにスムーズな協働関係が進められるようにする」という目標を見事にクリアし、リニューアルオープン後短期間のうちに、従来から実施してきた定番の協働事業をすべて行ったことは県を代表する美術館として非常に妥当であった。そのうえで、国からの予算の無いなかで実施された国民文化祭関連事業や、学生による「雪椿通信」のリデザインといった造形大学との協働は、年数をかけて協働を重ねる価値を具体的に示すものとして大変効果があったと考える。

○万代島美術館

今年度の協働のなかで最も評価したいのは「タータン展」におけるオリジナルタータンの制作である。この事業は美術館と大学（さらには学生）、地元企業の3者を結びつけ、成果を県民に目に分かる形で示す効果があり、県立の美術館として大変妥当な取り組みであった。

○近代美術館・万代島美術館

アートリンクはイベントを協働するだけでなく、学芸員の技量向上にも資する点で妥当な取り組みであり、今後は他館との協働も視野に入れていただきたい。友の会との協働も、美術館と県民を繋ぐ役割として妥当なものとする。

(3) 自己評価に対する総括

自己評価については、両館とも妥当であると考えている。加えて、近代美術館においては長岡造形大学と協働による国民文化祭と雪椿通信のリデザイン、万代島美術館においては造形大学と地元企業との協働によるオリジナルタータンの制作と、両館共に大きな成果を上げたことを高く評価したい。

新潟県美術品収集委員会

【委員】

前川 公秀 (DIC川村記念美術館 元顧問)
柳原 正樹 (京都国立近代美術館長、富山県水墨美術館顧問) 欠席
◎松本 透 (長野県信濃美術館長)
郷 晃 (新潟大学教育学部 教授)
樋田豊次郎 (東京都庭園美術館長) 欠席
山梨絵美子 (東京文化財研究所 副所長 兼 文化財情報資料部長)
古田 亮 (東京藝術大学大学美術館 准教授)

◎は収集委員長

【日程及び内容】

令和元年度「新潟県美術品収集委員会」

日程：令和2年2月26日(水)

内容：(1) 報告 平成30年度美術品収集について

(2) 令和元年度美術品収集について

①収集候補の全体説明

②収集候補の内覧

③収集候補作品の協議

(3) その他

新潟県立美術館友の会

新潟県立美術館友の会は、新潟県立近代美術館開館の翌年、平成6年4月8日に「新潟県立近代美術館友の会」として発足。平成15年、新潟県立万代島美術館の開館にともない二館共通の友の会組織となり、「新潟県立美術館友の会」と改称した。

広く美術を愛する人達を中心として、美術館の活動及び運営に協力するとともに、美術を通じて教養を豊かにし、会員相互の親睦を深め、芸術文化の普及、向上を図ることを目的として活動している。

【会費・会員の種類】

一般会員	一般	2,000円	240人
	学生他	1,000円	1,065人
ファミリー会員		4,000円	55人
特別会員	個人	30,000円	0人
	法人		24人
計			1,384人

【会員の特典】

- ・会員証による近代美術館コレクション展、万代島美術館所蔵品の無料観覧
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展を観覧できるモニター券の配布（モニター券1枚で一回観覧可）
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展の優待観覧（団体料金）
- ・企画展図録の割引
- ・近代美術館、万代島ビル内の飲食店の割引
- ・友の会だより、美術館パンフレット等の配布
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展開場式への参加

【役員体制】

会 長	丸山 結香	
副 会 長	上松 和義	山本 正明
	宮澤奈緒子	蒲木みゆき
理 事	八木 浩幸	
監 事	海津 博之	保坂 成仁
代 議 員	阿部美恵子	大平 剛
	恩田 里士	星野 佳人
	近藤フジエ	高橋 信雄
	佐藤 守人	羽賀 享
	原 和彦	樋口 栄治
	保坂 太	丸山 智
	宮本 恵子	山梨玲江子
	舛岡 武雄	久島 芳尚
	高石 恒一	中川 アイ
	金子かおる	金子 明子
名誉顧問	豊口 協	
顧 問	平山 征夫	和田 裕
相 談 役	徳永 健一	
事 務 局	佐藤 夏代	

【事業内容】

友の会独自事業および美術館との共催事業

- ◇ 5月14日 代議員会
会場：近代美術館会議室
- ◇ 6月1日 「コロナニ!? びじゅつ」体験コーナー
- ◇ 8月25日 「人気絵本のひみつ展」トーク&サイン会
- ◇ 8月31日 美術鑑賞ツアー「会津」
参加者：28名
- ◇ 10月19日 万美直行バス
参加者：15名
- ◇ 11月9日 美術鑑賞ツアー「雲蝶」
参加者：15名
- ◇ 11月26日～12月1日 作品展
会 場：近代美術館ギャラリー
来場者：140名
- ◇ 10月6日 「大理石?を磨く!」ワークショップ
- ◇ 2月8日 アートカフェin造形大
会 場：長岡造形大学
参加者：21名
- ◇ 友の会だよりの発行（速報4回）
- ◇ webでの情報発信（メルマガ等）

沿革

《新潟県立近代美術館》

昭和63年度予算で美術館建設調査費計上
昭和63年12月
「新潟県美術品収集基金条例」制定
平成元年10月
新潟県美術館建設基本構想を策定
平成2年3月
新潟県美術館建設基本計画を策定
平成2年3月
県立近代美術館建設の設計者選考方式を指名設計競技（コンペ）に決定
平成2年3月
指名設計競技の参加設計事務所5社を決定
平成2年7月
県立近代美術館建設指名設計競技審査会開催
（㈱日本設計の作品が入選）
平成2年8月
設計業務の委託を㈱日本設計と契約
平成3年2月
県立近代美術館建設の実施設計策定
平成3年5月
県立近代美術館建設工事入札
大成・吉原・小杉特定共同企業体等が落札
平成3年7月
県議会で建設工事の契約承認
平成3年7月
新潟県立近代美術館の建設着工
平成4年12月
県立近代美術館建設本体工事完了・引き渡し
平成5年3月
新潟県立近代美術館条例公布
平成5年4月
新潟県立近代美術館発足
平成5年7月
開館
平成30年2月
新潟県立近代美術館改修工事設計業務の委託を㈱日本設計と契約
平成30年6月
新潟県立近代美術館改修工事の実施設計策定
平成30年9月
新潟県立近代美術館建設工事入札
株式会社大石組・大原電業株式会社・株式会社長岡総合設備（株式会社長岡総合設備のみ11月契約）
平成30年9月
新潟県立近代美術館改修工事着工
令和元年9月
新潟県立近代美術館改修工事一部終了・再開館
令和元年11月
新潟県立近代美術館改修工事完了・引き渡し

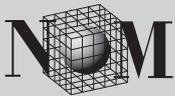
《新潟県立近代美術館万代島美術館》

平成12年8月
新潟県新美術館基本構想を発表
平成13年2月
新潟県新美術館基本計画を策定
平成14年4月
新潟県新美術館開設準備室発足
平成14年8月
新美術館の名称を一般公募により「新潟県立万代島美術館」と決定
平成15年3月
朱鷺メッセ万代島ビル竣工
平成15年4月
新潟県立近代美術館万代島美術館発足
平成15年7月
開館

平成31・令和元年度
新潟県立近代美術館／新潟県立万代島美術館 年報

編集 新潟県立近代美術館／新潟県立万代島美術館

印刷 株式会社滝沢印刷
発行 令和3年2月12日(金)



THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART

新潟県立近代美術館

新潟県立万代島美術館

The Niigata **Bandaijima** Art Museum